Canon

PowerShot SX160 IS

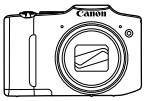
カメラユーザーガイド

- ご使用前に必ず本書および、本書の「安全上のご注意」をお読みください。
- 本書をよく読んで、正しくお使いください。
- 将来いつでも使用できるように大切に保管してください。
- CD-ROM 内の電子マニュアル（PDF 形式）もあわせてご覧ください（📖25）。

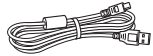
日本語

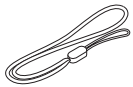
カメラと付属品の確認

お使いになる前に、次のものが入っていることを確認してください。
万が一、不足のものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。


カメラ


単３形アルカリ電池(２本)


インターフェースケーブル
IFC-400PCU


リストストラップ
WS-800


DIGITAL CAMERA
Solution Disk *
(CD-ROM)


使用説明書
（本書）


保証書


サポート
ガイド

＊ ソフトウェアと電子マニュアルが入っています（🕮25）。
- メモリーカードは付属されていません（下記）。

使えるカード（市販品）について

以下のカードが容量に制限なくお使いになれます。
- SD（エスディー）メモリーカード*
- SDHC（エスディーエイチシー）メモリーカード*
- SDXC（エスディーエックスシー）メモリーカード*
- Eye-Fi（アイファイ）カード

＊ SD 規格に準拠したカードです。カードによっては、正しく動作しないことがあります。

Eye-Fi カードについて

本製品は、Eye-Fi カードの機能（無線送信を含む）を保証するものではありません。カードに関する不具合は、カードメーカーにお問いあわせください。
また、Eye-Fi カードの使用には、多くの国や地域で認可が必要であり、認可を取得していないものの使用は認められていません。使用が認められているかご不明の場合は、カードメーカーにご確認ください。

お使いになる前にお読みください

- 必ず事前に試し撮りをし、撮影後は画像を再生して画像が正常に記録されていることを確認してください。万が一、カメラやメモリーカードなどの不具合により、画像の記録やパソコンへの取り込みができなかったときの記録内容の補償については、ご容赦ください。
- このカメラで記録した画像は、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示会などには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限していることがありますのでご注意ください。
- このカメラの保証書は国内に限り有効です。万が一、海外旅行先で故障や不具合が生じたときは、帰国したあと、別紙の修理受付センターへご相談ください。
- 液晶モニターは、非常に精密度の高い技術で作られており 99.99% 以上の有効画素がありますが、画素欠けや、黒や赤の点が現れたままになることがあります。これは故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。
- 液晶モニターに保護シートが貼られているときは、はがしてからご使用ください。
- このカメラは、長い時間お使いになっていると、カメラの温度が高くなることがあります。これは故障ではありません。

カメラの使用説明書について

このカメラの使用説明書は、用途別に以下の内容で構成されています。

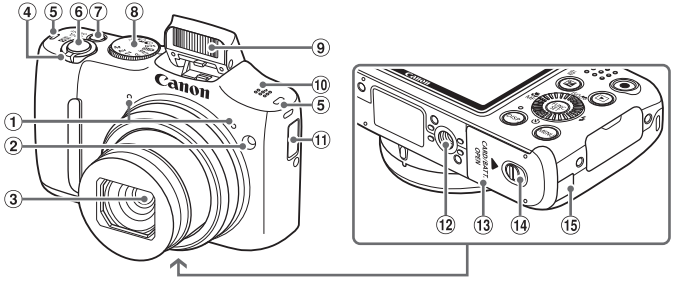
基本編（📖13）

- 準備から、撮影、再生、パソコンへ取り込むまでの説明や、各種の基本情報を掲載しています。

活用編（📖33）

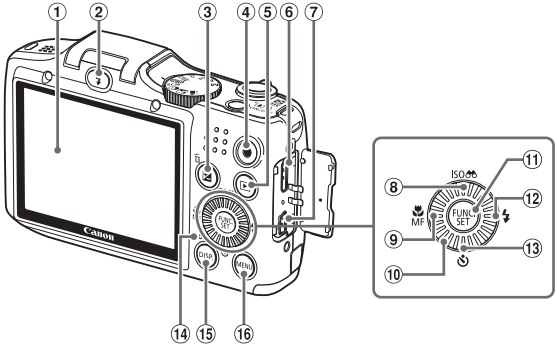
- カメラの基本操作をはじめ各種の撮影や再生の他、カメラを活用するための情報などを内容ごとに章に分けて説明しています。

各部のなまえと記載について

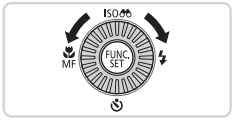


① マイク
② ランプ（前面）
③ レンズ
④ ズームレバー
撮影時：<🔭（望遠）> ／ <▦（広角）>
再生時：<🔍（拡大）> ／ <▩（インデックス）>
⑤ ストラップ取り付け部
⑥ シャッターボタン
⑦ 電源ボタン
⑧ モードダイヤル
⑨ ストロボ
⑩ スピーカー
⑪ 日付／時刻用電池ホルダー
⑫ 三脚ねじ穴
⑬ カード／電池収納部ふた
⑭ ロック解除スイッチ
⑮ DC カプラー用ケーブル通し部

- カメラのボタンやダイヤルは、ボタンやダイヤルに表記されている絵文字を使って示しています。
- 次の操作部材は、絵文字で示しています。
  <▲> 背面 ⑧ 上ボタン
  <◀> 背面 ⑨ 左ボタン
  <▶> 背面 ⑫ 右ボタン
  <▼> 背面 ⑬ 下ボタン
  <◎> 背面 ⑩ コントローラーホイール
- 撮影モード、画面に表示される絵文字や文言は、[ ] つきで示しています。
- ❗：知っておいていただきたい重要事項を示しています。
- 🖉：上手に使うためのヒントや補足事項を示しています。
- 🕮xx：参照ページを示しています。xx はページ数を示しています。
- すべての機能が初期状態になっていることを前提に説明しています。



① 画面（液晶モニター）
② <ϟ（ストロボポップアップ）> ボタン
③ <露出補正）>／<🗑（1 画像消去）> ボタン
④ 動画ボタン
⑤ <▶（再生）> ボタン
⑥ HDMI™ 端子
⑦ DIGITAL（デジタル）端子
⑧ <ISO（ISO 感度）>／<🔭（検索）>／上ボタン
⑨ <🌷（マクロ）>／<MF（マニュアルフォーカス）>／左ボタン
⑩ コントローラーホイール
⑪ FUNC./SET（ファンクション／セット）ボタン
⑫ <ϟ（ストロボ）>／右ボタン
⑬ <⏲（セルフタイマー）>／下ボタン
⑭ ランプ（背面）
⑮ <DISP.（ディスプレイ）> ボタン
⑯ <MENU（メニュー）> ボタン



- ホイールを回すと、項目を選んだり画像の切り換えなどができます。また、一部の操作を除き、<▲>、<▼>、<◀>、<▶> と同じ操作ができます。

- このカメラで使えるメモリーカードのことを「カード」と表記しています。
- タイトルの上にあるタブは、その機能が静止画や動画で使えるかどうかを示しています。

静止画 ：静止画を撮るときや見るときに使える機能を示しています。

動画 ：動画を撮るときや見るときに使える機能を示しています。

目次

カメラと付属品の確認 2
使えるカード（市販品）について 2
お使いになる前にお読みください 3
カメラの使用説明書について 3
各部のなまえと記載について 4
目次 6
やりたいこと目次 8
安全上のご注意 10

基本編 13

準備する 14
使ってみる 20
ソフトウェアと電子マニュアルを使う 25
システムマップ 32

活用編 33

1 **カメラを知る 33**

電源の入れかた／切りかた 34
シャッターボタンの押しかた 35
撮影モードの切り換えかた 36
撮影時の画面表示の切り換えかた 36
FUNC.（ファンク）の表示と操作方法 37
MENU（メニュー）の表示と操作方法 38
ランプの表示 40
時計機能 40

2 **AUTO モード（こだわりオート） 41**

AUTO モードで撮る（こだわりオート） 42
よく使う機能や便利な機能を使う 49
自分好みの画像を撮るための機能を使う 54
撮影の手助けとなる機能を使う 59
自分好みに機能を変える 62

3 **いろいろな撮影モード 65**

かんたんに明るさ、あざやかさ、色あいを変えて撮る（ライブビューコントロール） 66
いろいろなシーンで撮る 67
特殊なモードでいろいろな画像を撮る 69
効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター） 71
マナーモードで撮る 76
いろいろな動画を撮る 77

4 **P モード 79**

プログラム AE で撮る（<P> モード） 80
明るさ（露出）に関する機能を使う 81
色や連続撮影に関する機能を使う 84
撮影範囲やピント合わせに関する機能を使う 90
ストロボに関する機能を使う 98
撮影スタイルにあわせて機能を変える 101

5 **Tv、Av、M モード 103**

シャッタースピードを決めて撮る (<Tv> モード) 104
絞り数値を決めて撮る (<Av> モード) 105
シャッタースピードと絞り数値を決めて撮る (<M> モード) 106

6 **再生モード 109**

見る 110
画像を探したり、特定の画像だけを見る 114
いろいろな方法で画像を見る 117
保護する 120
消す 124
回転する 127
分類する 129
静止画を編集する 133
動画を編集する 139

7 **設定メニュー 141**

カメラの基本機能を変える 142

8 **アクセサリー 155**

日付／時刻用電池を交換する 156
別売アクセサリー 157
別売アクセサリーの使いかた 159
印刷する 166
Eye-Fi カードを使う 179

9 **付録 181**

故障かな？と思ったら 182
画面に表示されるメッセージ一覧 186
画面の表示内容一覧 188
機能／メニュー 一覧 192
日ごろの取り扱いについて 202
主な仕様 203
索引 207

やりたいこと目次

撮　る

● カメラまかせで写真を撮りたい（オートモード）.....42

人を上手に撮りたい

人をきれいに
(📖67)

雪景色で
(📖68)

いろいろなシーンにあわせて撮りたい

暗い場所で
(📖67)

花火
(📖68)

効果をつけて撮りたい

鮮烈な色で
(📖71)

イラスト風に
(📖71)

魚眼レンズのように
(📖72)

ミニチュア模型のように
(📖72)

トイカメラ風に
(📖74)

モノクロで
(📖75)

● マナーモードで撮りたい.....76
● 自分好みに効果をつけて撮りたい（ライブビューコントロール）.....66
● 人の顔を上手に撮りたい.....42、67、93
● 自分も一緒に写りたい（セルフタイマー撮影）.....50、69
● 画像に日付を写し込みたい.....52

見　る

- 画像を見たい……110
- 自動再生で見たい（スライドショー）……118
- テレビで見たい……159
- パソコンで見たい……26
- 画像を素早く探したい……114
- 画像を消したい……124

動画を撮る／見る

- 動画を撮りたい……42、77
- 動画を見たい……110

印刷する

- 写真を印刷したい……166

残　す

- 画像をパソコンに保存したい……26

安全上のご注意

- ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、製品を正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。
- 別売アクセサリーをお持ちのときは、付属の使用説明書もあわせてご確認ください。

⚠ 警告 死亡または重傷を負う可能性がある内容です。

- **ストロボを人の目に近づけて発光しない。**

視力障害の原因となります。特に、乳幼児を撮影するときは 1 m 以上離れてください。

- **お子様や幼児の手の届くところで保管しない。**

ストラップ：誤って首に巻き付けると、窒息することがあります。
日付 / 時刻用電池：誤って飲み込むと危険です。万が一飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。

- **指定外の電源は使わない。**
- **分解、改造したり、加熱しない。**
- **落とすなどして強い衝撃を与えない。**
- **落下などで破損したときは、内部には触れない。**
- **煙が出ている、異臭がするなどの異常が発生したときは使わない。**
- **アルコール、ベンジン、シンナーなどの有機溶剤で手入れしない。**
- **水や海水などの液体で濡らさない。**
- **内部に液体や異物などを入れない。**

感電、火災の原因となります。
万が一、液体や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、その後必ず電池を取り出してください。

- **指定外の電池は使わない。**
- **電池は火に近づけたり、火の中に投げ込まない。**

電池が破裂や液漏れし、けがや周囲を汚す原因となったり、火災、感電の原因となることがあります。万が一、電解液が漏れ、衣服、皮膚、目、口についたときは、ただちに洗い流してください。

- **カメラの使用が禁止されている場所では、カメラの電源を切る。**

カメラが発生する電磁波により、計器や機器に影響を与える恐れがあります。特に飛行機内や医療機関など、電子機器の使用が制限されている場所では十分注意してください。

- **付属の CD-ROM は、CD-ROM 対応ドライブ以外では絶対に再生しない。**

音楽用 CD プレーヤーで再生してヘッドフォンなどを使用したときは、大音量により聴力障害の原因となります。また、音楽用 CD プレーヤーで使用したときは、スピーカーなどの破損の原因となります。

⚠ 注意 傷害を負う可能性がある内容です。

- **ストラップで下げているときは、他のものに引っ掛けたり、強い衝撃や振動を与えない。**
- **レンズを強く押したり、ぶつけたりしない。**

けがやカメラの故障の原因となることがあります。

- **液晶モニターに強い衝撃を与えない。**

液晶モニターが割れると、破片でけがをすることがあります。

- **ストロボを指や布などで覆ったまま、発光させない。**

やけどや故障の原因となることがあります。

次の場所で使用・保管しない。

- **直射日光のあたるところ**
- **40 ℃を超える高温になるところ**
- **湿気やホコリの多いところ**

電池の液漏れ、発熱、破裂により、感電、やけど、けが、火災の原因となることがあります。

- **長時間画面を見ていると、不快感を感じることがありますのでご注意ください。**

注意 物的損害を負う可能性がある内容です。

- **カメラを強い光源（晴天時の太陽など）に向けない。**

撮像素子が損傷することがあります。

- **砂浜や風の強い場所で使うときは、カメラの内部にホコリや砂が入らないようにする。**

故障の原因となることがあります。

- **ストロボに汚れやホコリなどの異物がついたときは、綿棒などで取り除く。**

そのまま発光させると、発光熱により、付着物の発煙や故障の原因となることがあります。

- **使用しないときは、カメラから電池を取り出して保管する。**

カメラに電池を入れたままにしておくと、液漏れにより故障の原因となることがあります。

- **電池を廃却するときは、接点にテープを貼るなどして絶縁する。**

他の金属と接触すると、発火、破裂の原因となることがあります。

- **充電状態の異なる電池、購入時期の異なる電池を混ぜて使わない。**
- **電池の「+」「−」端子を逆にして入れない。**

故障の原因となることがあります。

- **かばんにカメラを入れるときは、硬いものが液晶モニターにあたらないようにする。**
- **ストラップにアクセサリーをつけない。**

硬いものが液晶モニターにあたると破損の原因になります。





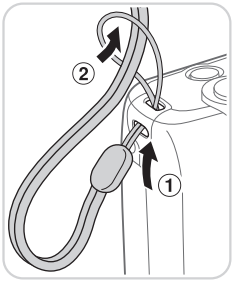
基本編

準備から、撮影、再生、パソコンへ取り込むまでの説明や、各種の基本情報を掲載しています。

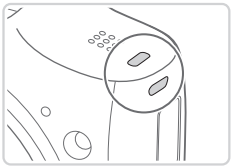
準備する

ここでは、撮影前の準備について説明します。

ストラップを取り付ける



- ①ストラップの先端を取り付け部に通して、②通した先端にストラップを通します。



- ストラップは左手側に取り付けることもできます。

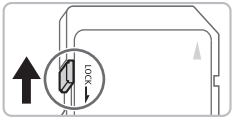
カメラを構える



- ストラップを手首に通します。
- 撮影するときは、脇をしめてカメラが動かないようにしっかりと構え、ストロボを上げているときは、ストロボに指がかからないようにしてください。

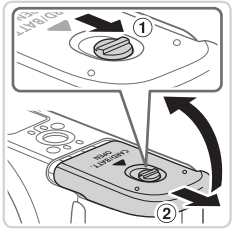
電池とカードを入れる

付属の電池とカード（市販品）をカメラに入れます。
なお、新しく買ったカードや他のカメラやパソコンで初期化したカードは、このカメラで初期化（フォーマット）（🕮 146）することをおすすめします。



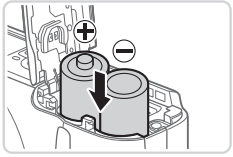
1 カードのスイッチを確認する

- スイッチがあるカードでは、スイッチが下（「LOCK」側）になっていると撮影できません。「カチッ」と音がするまでスイッチを上に動かします。



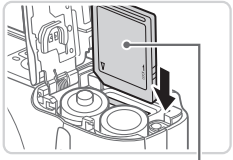
2 ふたを開ける

- ①の方向にスイッチを動かしたまま、②の方向へふたを開けます。



3 電池を入れる

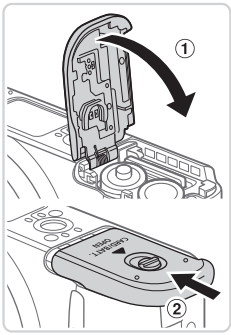
- 電池を図の向きにして入れます。



4 カードを入れる

- カードを図の向きにして、「カチッ」と音がするまで差し込みます。
- カードは、必ず正しい向きで入れてください。間違った向きで入れると、カメラの故障の原因となります。

ラベル面



5 ふたを閉める

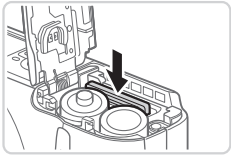
- ふたを①の方向にたおして押さえたまま、②の方向へ「カチッ」と音がするまで動かして閉めます。

使える電池

単３形アルカリ電池と、キヤノン製単３形ニッケル水素電池（別売）（157）です。

- 指定外の電池は性能にばらつきがあるため、指定された電池の使用をおすすめします。
- ニッケル水素電池は、アルカリ電池に比べて、より長時間（特に低温下）カメラが使えます。
- お使いになる電池で撮影できる枚数や時間については、「主な仕様」を参照してください（203）。

カードを取り出す

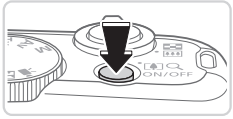


- ふたを開け、「カチッ」と音がするまでカードを押し込み、ゆっくり指を離します。

▶ カードが出てきます。

日付／時刻を設定する

電源を入れたときに［日付／時刻］画面が表示されたときは、現在の日時に正しく設定してください。ここで設定した情報は撮影する画像に記録され、撮影日による管理や、日付を入れて印刷するときなどに使用できます。なお、撮影した日時を画像に写し込むこともできます（🕮52）。



1 電源を入れる

- 電源ボタンを押します。

▶［日付 / 時刻］画面が表示されます。





2 日付／時刻を設定する

- <◀> か <▶> を押して項目を選びます。
- <▲> か <▼> を押すか <◎> を回して設定します。
- すべての項目を設定したら、<(FUNC.SET)> を押します。



3 自宅のエリアを設定する

- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して自宅のあるエリアを選びます。



4 設定を終える

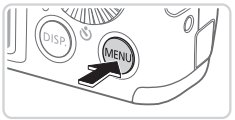
- <(FUNC.SET)> を押すと設定されて、確認画面が表示されたあと、設定画面が消えます。
- 電源ボタンを押すと電源が切れます。

- 日付／時刻や自宅エリアを設定しないと、電源を入れるたびに［日付 / 時刻］画面が表示されます。正しく設定してください。

- 手順 2 で［☀OFF］を選び、<▲> か <▼> を押すか <◎> を回して［☀］にすると、サマータイム（1 時間プラスされます）に設定されます。

日付／時刻を変える

日付／時刻を、現在の設定から変えられます。



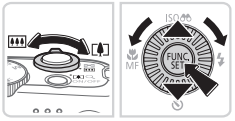
1 メニューを表示する

- <MENU> ボタンを押します。



2 ［日付 / 時刻］を選ぶ

- ズームレバーを動かして、［🔧］タブを選びます。
- <▲> か <▼> を押すか <◎> を回して［日付 / 時刻］を選び、<(FUNC SET)> を押します。



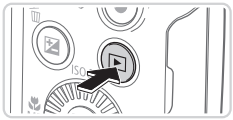
3 日付／時刻を変える

- 📖17 の手順 2 の操作で設定します。
- <MENU> ボタンを押すと、メニュー画面が消えます。

- 日付／時刻用電池がなくなると、カメラの電源を入れたときに［日付 / 時刻］画面が表示されます。📖17 の手順で正しく設定してください。
- 日付／時刻を正しく設定しても、電源を入れるたびに［日付 / 時刻］画面が表示されるときは、日付／時刻用電池を新しい電池に交換してください（📖156）。

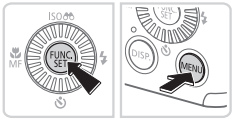
表示言語を選ぶ

画面に表示される言語を変えられます。お買い上げ時は日本語に設定されています。



1 再生モードにする

- <▶> ボタンを押します。



2 設定画面を表示する

- <(FUNC SET)> を押したまま、すぐに <MENU> ボタンを押します。



3 言語を設定する

- <▲><▼><◀><▶> を押すか <◎> を回して言語を選び、<(FUNC SET)> を押します。
- ▶ 表示言語が設定され、設定画面が消えます。



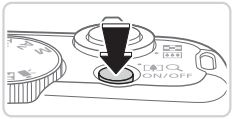
- 手順 2 の操作で <(FUNC SET)> を押してから、<MENU> ボタンを押すまでの間隔が長いと、時計表示になります。時計表示になったときは <(FUNC SET)> を押して時計表示を消して、もう一度手順 2 の操作を行います。
- 言語設定は、<MENU> ボタンを押すと表示されるメニュー画面で、[🔧] タブの［言語］を選んで設定することもできます。

使ってみる

ここでは、電源を入れてから静止画や動画を撮影し、その画像を見るまでの手順について説明しています。

撮る（こだわりオート）

カメラが被写体や撮影状況を判別するため、シーンに最適な設定でカメラまかせの全自動撮影ができます。



1 電源を入れる

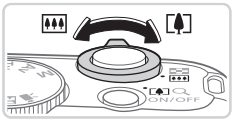
- 電源ボタンを押します。
- ▶ 起動画面が表示されます。



2 <AUTO> モードにする

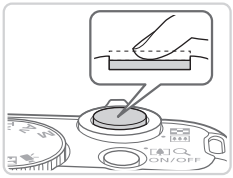
- モードダイヤルを <AUTO> にします。
- カメラを被写体に向けると、シーンを判別するため動作音（カチカチ）がします。
- ▶ 画面の右上にカメラが判別したシーンと手ブレ補正のアイコンが表示されます。
- ▶ 被写体が検出されたときは、枠が表示されてピントを合わせます。





3 撮りたいものの大きさを決める

- ズームレバーを <T> 側に押すと撮りたいものが大きくなり、<W> 側に押すと小さくなります。



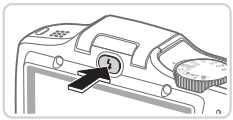


4 撮影する

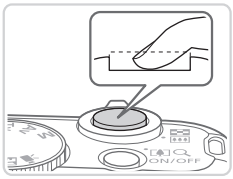
静止画を撮る

①ピントを合わせる

- シャッターボタンを浅く押して、ピントが合うと電子音が「ピピッ」と 2 回鳴り、ピントが合った位置に緑色の枠が表示されます。



- [ストロボを上げてください] のメッセージが表示されたときは、<ϟ> ボタンを押して、ストロボを上げてください。撮影時にストロボが光ります。ストロボを指で押し下げて収納すると、ストロボは光りません。

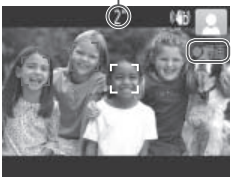


②撮影する

- シャッターボタンを深く押し込みます。
- ▶ シャッター音が鳴り、撮影されます（暗いところでは自動的にストロボが光ります）。
- シャッター音が鳴っている間はカメラをしっかり持ってください。
- ▶ 撮影した画像は、約 2 秒間表示されます。
- 画像が表示されている状態でも、シャッターボタンを押すと、次の撮影ができます。



撮影時間





動画を撮る

①撮影をはじめる

- 動画ボタンを押すと、電子音が「ピッ」と 1 回鳴って撮影がはじまり、[●録画]と撮影時間が表示されます。
- ▶ 画面上下に黒い帯が表示されます。この部分は撮影できません。
- ▶ 人の顔が検出されているときは、枠が表示されてピントを合わせます。
- 撮影が始まったら動画ボタンから指を離します。

②撮影を終える

- もう一度動画ボタンを押すと、電子音が「ピピッ」と 2 回鳴り、撮影が終わります。

見る

撮影した画像を画面で見ることができます。



1 再生モードにする

- <▶> ボタンを押します。
- ▶ 最後に撮影した画像が表示されます。





2 画像を選ぶ

- <◀> を押すか <◎> を反時計方向に回すと前の画像が表示され、<▶> を押すか <◎> を時計方向に回すと次の画像が表示されます。
- <◀> か <▶> を押したままにすると、画像が速く切り換わります。ただし、表示画像は粗くなります。



- <◎> を速く回すと左の画面が表示されます（スクロール再生）。この状態で <◎> を回して画像を選びます。
- <FUNC SET> を押すと 1 枚表示に戻ります。



- 動画では、[SET] が表示されます。動画を再生するときは手順 3 に進みます。



音量

3 動画を再生する

- <(FUNC SET)> を押して動画操作パネルを表示し、<◀> か <▶> を押すか <◎> を回して［▶］を選び、もう一度 <(FUNC SET)> を押します。
- ▶ 動画が再生され、再生が終わると［SET］が表示されます。
- 音量は <▲> か <▼> を押して調節します。

- 再生モードの状態でシャッターボタンを半押しすると撮影モードになります。

消す

不要な画像を 1 枚ずつ選んで消せます。消した画像はもとに戻すことはできません。十分に確認してから消してください。





1 消したい画像を選ぶ

- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して画像を選びます。

2 消す

- <🗑> ボタンを押します。
- ［消去?］が表示されたら、<◀> か <▶> を押すか <◎> を回して［消去］を選び、<(FUNC SET)> を押します。
- ▶ 表示していた画像が消えます。
- 中止するときは、<◀> か <▶> を押すか <◎> を回して［キャンセル］を選び、<(FUNC SET)> を押します。

- 画像をまとめて消すこともできます（📖124）。

ソフトウェアと電子マニュアルを使う

ここでは、付属の DIGITAL CAMERA Solution Disk（CD-ROM）（📖2）に入っているソフトウェアや電子マニュアルの紹介のほか、インストール方法、画像をパソコンに取り込む方法について説明します。

ソフトウェアについて

付属の CD 内のソフトウェアをインストールすると、パソコンで次のようなことができます。

CameraWindow（カメラウィンドウ）

- 画像の取り込みやカメラの各種設定

ImageBrowser EX（イメージブラウザー イーエックス）

- 画像の閲覧をはじめ、検索や整理などの画像管理
- 画像の印刷や各種の編集

オートアップデート機能について

付属のソフトウェアは、最新バージョンへの更新や新しい機能の追加などをインターネットを使って行います（一部のソフトウェアは除く）。そのため、インターネットにつながるパソコンへインストールしてお使いください。

- この機能をお使いいただくためには、インターネットに接続できる環境が必要なため、プロバイダーとの接続料金や通信料金が別途かかります。

電子マニュアルについて

カメラの使用説明書

- カメラを詳しく知って、使いこなしたいときに参照してください。

ソフトウェアの使用説明書

- 付属のソフトウェアを使うときに参照してください。各ソフトウェアのヘルプ機能から参照することができます。（一部のソフトウェアは除く）

パソコンに必要なシステム構成

付属のソフトウェアがお使いになれるパソコンは以下の通りです。また、電子マニュアルをご覧になるには、別途 Adobe Reader が必要です。

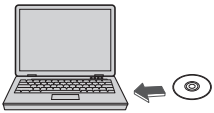
	Windows	Macintosh
OS	Windows 7 SP1 Windows Vista SP2 Windows XP SP3	Mac OS X v10.6 – v10.7
機種	上記 OS がプリインストールされていて、USB ポートが標準装備されていることと、インターネットに接続できること*	
CPU	静止画 1.6 GHz 以上 動画 Core 2 Duo 1.66 GHz 以上	Mac OS X v10.7： Core 2 Duo 以上 Mac OS X v10.6： Core Duo 1.83 GHz 以上
RAM	静止画 Windows 7 (64 bit): 2 GB 以上 Windows 7 (32 bit)、Vista: 1 GB 以上 Windows XP: 512 MB 以上 動画 1 GB 以上	Mac OS X v10.7：2 GB 以上 Mac OS X v10.6：1 GB 以上
インターフェース	USB	
ハードディスク空き容量	440 MB 以上*	550 MB 以上
ディスプレイ	1,024 x 768 ドット以上	

＊Silverlight 4（最大 100MB）以上のインストールと、Windows XP では Microsoft .NET Framework 3.0（最大 500MB）以上のインストールが必要です。そのためお使いの環境によっては、インストールに時間がかかることがあります。

- 最新の OS を含む対応状況については弊社ホームページをご確認ください。

インストールする

ここでは、Windows 7 と Mac OS X v10.6 を使って説明をしています。なお、ソフトウェアはオートアップデート機能により、最新バージョンへの更新や新しい機能の追加などが行われます（一部のソフトウェアは除く）ので、インターネットにつながるパソコンへインストールしてください。



1 CD をパソコンのドライブに入れる

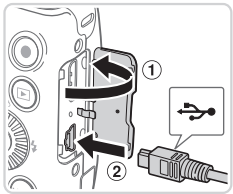
- 付属の CD（DIGITAL CAMERA Solution Disk）（📖2）をパソコンのドライブに入れます。
- Macintosh では、CD を入れるとデスクトップ上に表示される CD アイコンをダブルクリックして開き、表示される［ ］をダブルクリックします。

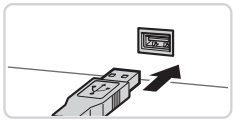


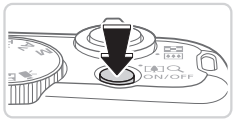
2 インストールをはじめる

- ［おまかせインストール］をクリックし、表示される画面にしたがって操作を進めます。











3 カメラの接続をうながすメッセージが表示されたらカメラをパソコンとつなぐ

- カメラの電源が切れた状態でふたを開き（①）、付属のインターフェースケーブル（📖2）の小さい方のプラグを図の向きにして、カメラの端子にしっかりと差し込みます（②）。
- インターフェースケーブルの大きい方のプラグをパソコンの USB 端子に差し込みます。パソコンの USB 端子については、パソコンの使用説明書を参照してください。

4 インストールする

- カメラの電源を入れて、表示される画面にしたがって必要な操作をおこない、インストールを進めます。

▶最新バージョンへの更新や新しい機能の追加などを行うためインターネットへつながります。そのため、お使いのパソコンやインターネット環境によってはインストールに時間がかかることがあります。

- インストールを終えると表示される画面の[完了]または[再起動]をクリックして、デスクトップ画面が表示されたら CD を取り出します。
- カメラの電源を切ってからケーブルを抜きます。

- インターネットに接続していないときは、次のような制限事項があります。
  - 手順 3 の画面は表示されません。
  - 一部の機能がインストールされないことがあります。
- はじめてカメラとパソコンをつないだときにドライバーがインストールされるため、操作ができるようになるまでに時間がかかることがあります。
- 付属の CD に ImageBrowser EX が入っているカメラを複数お持ちのときは、それぞれのカメラに最適な更新や新しい機能をオートアップデート機能により追加するため、それぞれの CD とカメラを使い、表示される画面にしたがってインストールしてください。

画像をパソコンに取り込む

ここでは、Windows 7 と Mac OS X v10.6 を使って説明をしています。

1 カメラとパソコンをつなぐ

- 28 の手順 3 の操作でカメラとパソコンをつなぎます。



2 電源を入れて CameraWindow（カメラウィンドウ）を表示する

- <▶> ボタンを押して電源を入れます。
- Macintosh では、カメラとパソコンが通信できる状態になると、CameraWindow が表示されます。



- Windows では、以下の操作を行います。
- 表示された画面で［　］のプログラムを変えるためのリンクをクリックします。



- ［画像をキヤノンカメラからダウンロードします］を選び、［OK］をクリックします。



● [ ] をダブルクリックします。

CameraWindow



3 画像を取り込む

● [カメラ内の画像の取り込み] をクリックしたあと、[未転送画像を取り込む] をクリックします。

▶ 画像がパソコンに取り込まれて、「ピクチャ」フォルダ内に撮影日ごとのフォルダに分けられて保存されます。

● 取り込みが完了したら CameraWindow を閉じ、カメラの <▶> ボタンを押して電源を切ってからケーブルを抜きます。

● パソコンで画像を見る操作は、「ソフトウェアの使用説明書」(🕮25) を参照してください。

- Windows 7 で手順 2 の画面が表示されないときは、タスクバーの［ ］をクリックします。
- Windows Vista または Windows XP をお使いのときは、手順 2 でカメラの電源を入れるとパソコンに表示される画面で［画像をキヤノンカメラからダウンロードします］をクリックして、CameraWindow を表示します。この操作で画面が表示されないときは、［スタート］メニュー ▶［すべてのプログラム］▶［Canon Utilities］▶［CameraWindow］▶［CameraWindow］を選びます。
- Macintosh で手順 2 の操作をしても CameraWindow が表示されないときは、Dock（デスクトップ下部に表示されるバー）の［CameraWindow］アイコンをクリックします。
- 付属のソフトウェアの画像取り込み機能を使わなくても、カメラとパソコンをつなぐだけで画像を取り込むことができますが、次のような制限事項があります。
  - カメラとパソコンをつないでから操作できるようになるまで、数分かかることがあります。
  - 縦位置で撮影した画像が横位置になって取り込まれることがあります。
  - 保護した画像が、パソコン側で解除されることがあります。
  - OS のバージョンや使用するソフトウェア、ファイルサイズによっては、画像や画像に付属する情報が正しく取り込まれないことがあります。
  - 動画編集や書き戻しなど、付属のソフトウェアの機能が一部使えなくなることがあります。

電子マニュアルを使う

カメラの使用説明書

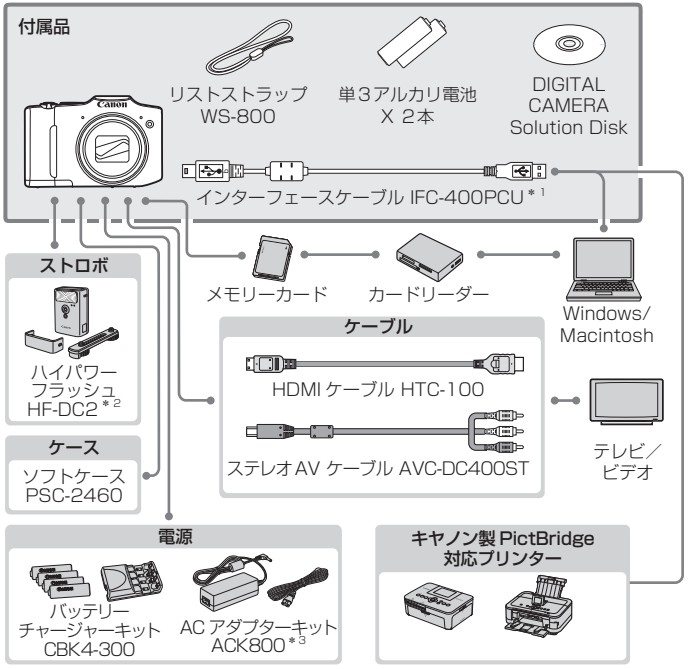
- デスクトップに作成されたショートカットアイコンをダブルクリックすると参照することができます。

ソフトウェアの使用説明書

- 各ソフトウェアのヘルプ機能から参照することができます（一部のソフトウェアは除く）。

- システム構成（📖26）を満たしていないパソコンでは、電子マニュアルがインストールできないことがあります。ただし、Adobe Reader が対応しているパソコンのときは、「カメラの使用説明書」を参照することができますので、そのときは、CD-ROM 内の「Readme」フォルダに保存されている PDF 形式のファイルを直接パソコンにコピーしてご覧ください。

システムマップ



＊1 別売りも用意されています。

＊2 ハイパーフラッシュ HF-DC1 もお使いになれます。

＊3 DC カプラー DR-DC10 が必要です。

アクセサリーはキヤノン純正品のご使用をおすすめします

本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリーと組みあわせてお使いになった場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリーのご使用をおすすめいたします。

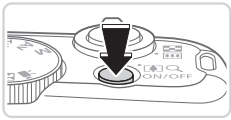
なお、純正品以外のアクセサリーの不具合（例えばバッテリーパックの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

□活用編 1

カメラを知る

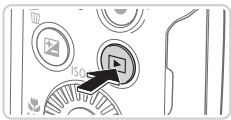
カメラの基本操作をはじめ各種の撮影や再生の他、カメラを活用するための情報などを内容ごとに章分けして説明しています。

電源の入れかた／切りかた



撮影モード

- 電源ボタンを押すと電源が入り、撮影できます。
- 電源ボタンをもう一度押すと、電源が切れます。



再生モード

- <▶> ボタンを押すと電源が入り、撮影した画像を見ることができます。
- <▶> ボタンをもう一度押すと、電源が切れます。

- 撮影モードの状態で <▶> ボタンを押すと、再生モードになります。
- 再生モードの状態でシャッターボタンを半押し（🕮35）すると、撮影モードになります。
- 再生モードでは、約 1 分経過するとレンズが収納されます。レンズが収納されているときは、<▶> ボタンを押すと電源が切れます。

節電機能（オートパワーオフ）

電池の消耗を防ぐため、カメラを操作しない状態で一定の時間がたつと、自動的に画面を消したり（ディスプレイオフ）、電源を切ったりする機能です。

撮影モードでの節電機能

約 1 分間カメラを操作しないと画面が消え、さらに約 2 分たつとレンズが収納されて電源が切れます。画面が消えた状態でもレンズが出ているときは、シャッターボタンを半押し（🕮35）すると画面が表示され、撮影できます。

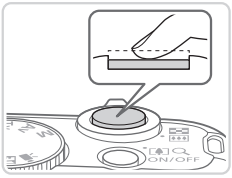
再生モードでの節電機能

約 5 分間カメラを操作しないと、電源が切れます。

- 節電機能を切ったり、画面が消えるまでの時間を変えたりすることができます（🕮149）。
- パソコンとつないでいるとき（🕮28）は、節電機能は働きません。

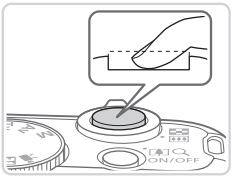
シャッターボタンの押しかた

ピントが合った画像を撮るために、必ずシャッターボタンを浅く押す「半押し」をしてピントを合わせてから、「全押し」して撮影します。
なお、シャッターボタンの操作に関する記載は以降「半押し」、「全押し」と表記しています。



1 半押し（浅く押してピントを合わせる）

- 電子音が「ピピッ」と 2 回鳴り、ピントが合った位置に枠が表示されるまで、浅く押します。



2 全押し（そのまま深く押して撮影する）

- ▶ シャッター音が鳴り、撮影されます。
- シャッター音が鳴っている間は撮影中のため、カメラを動かさないように注意してください。

- シャッターボタンを半押ししないで撮影すると、ピントが合わない画像になることがあります。
- シャッター音は撮影にかかる時間に応じて長さが変わります。そのため、撮影シーンによってはシャッター音が長くなり、シャッター音が鳴っている間にカメラを動かしたり、被写体が動いたりすると、ブレの原因になりますので注意してください。

撮影モードの切り換えかた

撮影モードの切り換えは、モードダイヤルで行います。



ライブビューコントロールモード
かんたんな操作で明るさや色あいを自分好みに設定して撮影できます（🕮66）。

オートモード
カメラまかせの全自動撮影ができます（🕮20、42）。

スペシャルシーンモード
撮影シーンに最適な撮影ができます（🕮67）。

クリエイティブフィルターモード
いろいろな効果をつけた撮影ができます（🕮71）。

P、Tv、Av、M モード
各種機能を設定して、さまざまな撮影ができます（🕮79、103）。

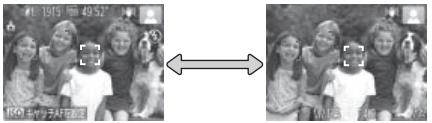
動画モード
動画が撮影できます（🕮77）。
なお、動画モード以外でも動画ボタンを押すだけで動画撮影できます。

マナーモード
ストロボを光らせず、音が鳴らない設定で撮影できます（🕮76）。

- 再生モードのときにモードダイヤルを回すと、撮影モードに切り換わります。

撮影時の画面表示の切り換えかた

画面表示は、<DISP.> ボタンを押して切り換えます。画面に表示される情報の詳細については、🕮188 を参照してください。



情報表示あり　　情報表示なし

- 暗い場所では、自動的に画面が明るくなって構図を確認しやすくなります（ナイトビュー機能）。ただし、撮影される画像の明るさとは異なるほか、粗い感じ、またはややぎこちない表示になることがあります（記録される画像に影響はありません）。
- 再生時の画面表示については、🕮112 を参照してください。

FUNC.（ファンク）の表示と操作方法

よく使う機能は、FUNC. で設定できます。
なお、表示されるメニュー項目や項目は、選んでいる撮影モード（🕮194 ～ 195）によって変わります。



1 FUNC. のメニュー項目を表示する

- <(FUNC. SET)> を押します。



2 メニュー項目を選ぶ

- <▲> か <▼> を押してメニュー項目を選びます。
- ▶ 選んだメニュー項目の項目が、画面の下部に表示されます。



3 項目を選ぶ

- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して項目を選びます。
- [DISP.] が表示される項目では、<**DISP.**> ボタンを押して設定することができます。
- メニュー項目に戻るときは、<**DISP.**> ボタンを押します。



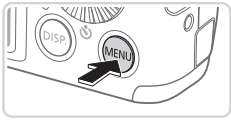
4 設定を終える

- <(FUNC. SET)> を押します。
- ▶ 手順 1 で <(FUNC. SET)> を押す前の画面に戻り、設定した項目が画面に表示されます。

- 設定を誤って変えてしまったときは、初期状態に戻せます（🕮152）。

MENU（メニュー）の表示と操作方法

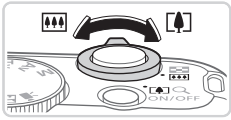
カメラの各種機能をメニューで設定できます。メニュー項目はタブで撮影[📷]や再生[▶]などの系統に分けられています。なお、表示される項目は、選んでいる撮影モードや再生モード（📖196～200）によって変わります。



1 メニューを表示する

- <**MENU**> ボタンを押します。





2 タブを選ぶ

- ズームレバーを動かして、タブを選びます。
- <▲> か <▼> を押してタブが選ばれている状態にしたあと、<◀> か <▶> を押してタブを選ぶこともできます。





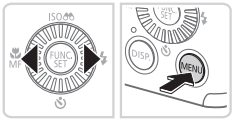
3 項目を選ぶ

- <▲> か <▼> を押すか <◎> を回して項目を選びます。
- 内容が表示されていない項目では、<(FUNC SET)> か <▶> を押して画面を切り換えたあと、さらに <▲> か <▼> を押すか <◎> を回して項目を選びます。
- <**MENU**> ボタンを押すと切り換える前の画面に戻ります。



4 内容を選ぶ

- <◀> か <▶> を押して内容を選びます。



5 設定を終える

- <MENU> ボタンを押すと、手順 1 で <MENU> ボタンを押す前の画面に戻ります。

- 設定を誤って変えてしまったときは、初期状態に戻せます（🕮152）。

ランプの表示

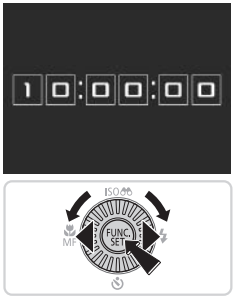
カメラ背面のランプ（🕮5）は、カメラの状態に連動して、点灯／点滅状態が変わります。

色	状態	操作状態
緑	点灯	パソコン接続時（🕮29）、画面消灯時（ディスプレイオフ）（🕮34、149）
	点滅	起動中、カードへの記録／読み出し中、各種通信中

- ランプ（背面）が緑色に点滅しているときは、「電源を切る」、「カード／電池収納部のふたを開ける」、「振動や衝撃を与える」ことは絶対にしないでください。画像が壊れて表示できなくなったり、カメラやカードが故障する原因になります。

時計機能

現在の時刻を確認できます。



- <(FUNC. SET)> を押したままにします。
- ▶ 現在の時刻が表示されます。
- 時刻表示中にカメラを縦にすると縦表示になり、<◀> か <▶> を押すか <◎> を回すと表示色を変えることができます。
- もう一度 <(FUNC. SET)> を押すと時刻表示が消えます。

- <(FUNC. SET)> を押したまま電源を入れることで、時刻表示にすることもできます。

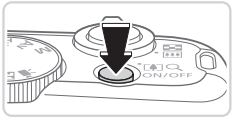
2

AUTO モード（こだわりオート）

かんたん操作で手軽に撮ったり、いろいろな機能を使ってもう少しこだわった画像を撮る

AUTO モードで撮る（こだわりオート）

カメラが被写体や撮影状況を判別するため、シーンに最適な設定でカメラまかせの全自動撮影ができます。



1 電源を入れる

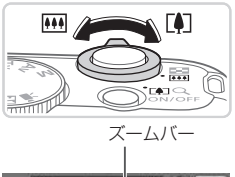
- 電源ボタンを押します。
- ▶ 起動画面が表示されます。





2 <AUTO> モードにする

- モードダイヤルを <AUTO> にします。
- カメラを被写体に向けると、シーンを判別するため動作音（カチカチ）がします。
- ▶ 画面の右上にカメラが判別したシーンと手ブレ補正のアイコンが表示されます（📖46、47）。
- ▶ 被写体が検出されたときは、枠が表示されてピントを合わせます。



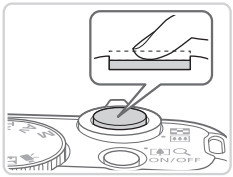
ズームバー

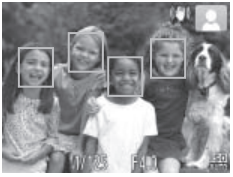


ピントの合う範囲（目安）

3 撮りたいものの大きさを決める

- ズームレバーを <🔭> 側に押すと撮りたいものが大きくなり、<▮▮▮> 側に押すと小さくなります（ズームの位置を示すズームバーが表示されます）。



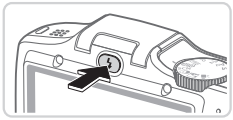


4 撮影する

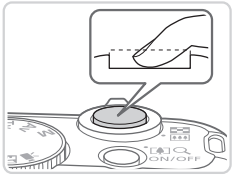
静止画を撮る

①ピントを合わせる

- シャッターボタンを半押しして、ピントが合うと電子音が「ピピッ」と 2 回鳴り、ピントが合った位置に緑色の枠が表示されます。
- ▶ 複数の緑色の枠が表示されたときは、表示されたすべての枠にピントが合っています。

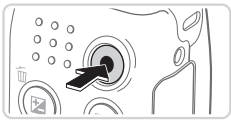


- ［ストロボを上げてください］のメッセージが表示されたときは、<ϟ> ボタンを押して、ストロボを上げてください。撮影時にストロボが光ります。ストロボを指で押し下げて収納すると、ストロボは光りません。

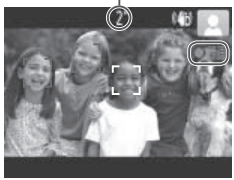


②撮影する

- シャッターボタンを全押しします。
- ▶ シャッター音が鳴り、撮影されます（暗いところでストロボを上げているときは、自動的にストロボが光ります）。
- シャッター音が鳴っている間はカメラをしっかり持ってください。
- ▶ 撮影した画像は、約 2 秒間表示されます。
- 画像が表示されている状態でも、シャッターボタンを押すと、次の撮影ができます。



撮影時間



動画を撮る

①撮影をはじめる

- 動画ボタンを押すと、電子音が「ピッ」と 1 回鳴って撮影がはじまり、[●録画] と撮影時間が表示されます。
  - ▶ 画面上下に黒い帯が表示されます。この部分は撮影できません。
  - ▶ 人の顔が検出されているときは、枠が表示されてピントを合わせます。
- 撮影が始まったら動画ボタンから指を離します。



②撮りたいものの大きさを変えたり、構図を変える

- 撮りたいものの大きさを変えるときは 42 の手順 3 と同じ操作で変えます。ただし、操作音は録音されます。また、倍率が青字く表示されたときは画像が粗くなります。
- 撮影中に構図を変えると、ピント位置、明るさ、色あいが自動的に調整されます。



③撮影を終える

- もう一度動画ボタンを押すと、電子音が「ピピッ」と 2 回鳴り、撮影が終わります。
- カード容量がいっぱいになると、自動的に撮影が終わります。

静止画／動画

- <DISP.> ボタンを押したまま電源を入れると音が鳴らなくなります。音が鳴るようにするには、<MENU> ボタンを押して、[🔧] タブの［消音］を選び、<◀> か <▶> を押して［しない］を選びます。

静止画

- [📷] が点滅表示したときは手ブレしやすいため、カメラが動かないように三脚などでカメラを固定してください。
- ストロボが光ったのに暗い画像になるときは、被写体までの距離が遠すぎます。ストロボ撮影できる範囲については、「主な仕様」（📖203）を参照してください。
- シャッターボタンを半押ししたときに、電子音が「ピッ」と 1 回鳴るときは、撮りたいものが近すぎる可能性があります。ピントが合う範囲（撮影範囲）は、「主な仕様」（📖203）を参照してください。
- 暗いところでシャッターボタンを半押しすると、ピント合わせのためや人の目が赤く写るのを緩和するため、ランプ（前面）が点灯することがあります。
- 撮影しようとしたときに［ストロボ充電中です］が表示されて、[⚡] が点滅表示したときは、ストロボ充電中のため撮影できません。充電が終わると撮影できますので、シャッターボタンを全押ししたまま待つか、一度シャッターボタンを離してもう一度押してください。

動画



- 動画撮影するときは、マイクをふさがないよう注意してください。マイクをふさぐと音声が録音されなかったり、こもった音声で録音されることがあります。
- 動画撮影中に動画ボタン以外を操作すると、操作音が録音されるので、注意してください。

- 音声はステレオで録音されます。

静止画　動画

シーンのアイコン

<AUTO> モードでは、カメラが判別したシーンを示すアイコンが表示され、ピント合わせや被写体の明るさ、色あいが最適になるよう自動設定されます。

被写体 / 背景	人	動いているとき*1	顔の一部が暗いとき*1	人以外の被写体	動いているとき*1	近いとき	背景色
明るい				AUTO			灰色
逆光			–				
青空を含む				AUTO			水色
逆光			–				
夕景	–					–	オレンジ色
スポットライト							紺色
暗い				AUTO			
三脚使用時	*2	–		*2	–		

*1 動画撮影では表示されません。
*2 撮影シーンが暗いときに、三脚などでカメラを固定すると表示されます。

- 撮影シーンによっては、実際のシーンと異なるシーンのアイコンが表示されたり、思いどおりの効果、色あい、明るさで撮影できないことがあります。そのときは、<**P**> モード（📖79）で撮影することをおすすめします。

静止画 動画

手ブレ補正アイコン

撮影状況に最適な手ブレ補正に自動設定（マルチシーン IS）されます。また、<AUTO> モードでは以下のアイコンが表示されます。

	静止画を撮影するときの手ブレを補正		動画を撮影するときの手ブレを補正し、歩きながら撮影するときなどの大きな手ブレも補正（ダイナミック IS）
	静止画を流し撮りで撮るときのブレを補正*		動画を望遠にして撮影するときなどの、ゆっくりとした手ブレを補正（パワード IS）
	マクロ撮影するときの手ブレを補正（ハイブリッド IS）		三脚などでカメラを固定したときは、手ブレ補正が不要なため停止

＊動く被写体をカメラで追いながら撮影（流し撮り）するときに表示されます。左右方向に動く被写体を追うと、上下方向の手ブレだけが補正されて、左右方向の補正は停止します。また、上下方向に動く被写体を追うと、左右方向の手ブレだけが補正されます。

- [手ブレ補正] を [切] に設定 (101) すると、手ブレが補正されなくなり、アイコンも表示されなくなります。

静止画　動画

画面に表示される枠

カメラを被写体に向けて被写体を検出すると、画面上にいろいろな枠が表示されます。

- カメラを被写体に向けると主被写体として検出された顔やものには白の枠、その他の顔には灰色の枠が表示されて、一定の範囲で追尾しピントを合わせ続けます。

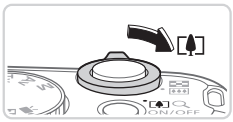
  ただし、被写体が動いていると判別したときは、灰色の枠が消えて、白の枠だけになります。
- シャッターボタンを半押しした状態で被写体が動いていると判別したときは、青色の枠が表示されて、ピントと明るさを合わせ続けます（サーボ AF）。

- 撮影シーンや被写体によっては、「枠が表示されない」、「撮りたい被写体に枠が表示されない」、「背景などに枠が表示される」ことがあります。そのときは、<**P**> モード（🕮79）で撮影することをおすすめします。

静止画　動画

被写体をもっと拡大する（デジタルズーム）

光学ズームで被写体が大きく撮れないときは、デジタルズームを使って最大約 64 倍まで拡大できます。



1 ズームレバーを <[🔍]> 側に押す

- ズームできるところまでレバーを押したままにします。
- ▶画像の粗さが目立たない最大の倍率になるとズームが止まり、ズーム倍率が表示されます。

2 もう一度 <[🔍]> 側に押す

- ▶さらにズームして、被写体が拡大されます。



- ズームレバーを操作するとズーム位置を示すズームバーが表示されて、バーの色はズーム領域によって変わります。
  - 白の領域：画像が粗くならない光学ズーム領域
  - 黄色の領域：画像の粗さが目立たないデジタルズーム領域（プログレッシブファインズーム）
  - 青色の領域：画像が粗くなるデジタルズーム領域

  また、設定した記録画素数（📖55）によっては青色の領域がないため、手順 1 の操作で最大倍率までズームできます。
- 設定した記録画素数（📖55）とデジタルズームの倍率によっては、ズーム倍率が青色で表示されて画像が粗くなります。

- 光学ズームとデジタルズームをあわせた焦点距離は以下のとおりです（35mm フィルム換算）。
  28 - 1792 mm（光学ズーム時は 28 - 448 mm）
- デジタルズームを使わないようにするには、<**MENU**> ボタンを押して、[📷] タブの［デジタルズーム］を選び、［切］を選びます。

静止画 動画

セルフタイマーを使う

集合写真などで撮影する人も一緒に写るときは、シャッターボタンを押してから約 10 秒後に撮影されるセルフタイマーを使って撮影します。



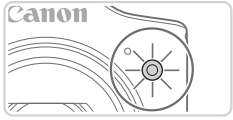


1 設定する

- <▼> を押したあと、<▲> か <▼> を押すか <◎> を回して［⏲10］を選び、<FUNC.SET> を押します。
- ▶ 設定されると［⏲10］が表示されます。

2 撮影する

- 静止画を撮影するときは、シャッターボタンを半押しして被写体にピントを合わせ、シャッターボタンを全押しします。
- 動画を撮影するときは、動画ボタンを押します。



- ▶ タイマーがはじまるとランプ（前面）が点滅して、電子音が鳴ります。
- ▶ 撮影の 2 秒前になると、ランプ（前面）の点滅（ストロボ発光時は点灯）と電子音が速くなります。
- タイマーがはじまったあとに撮影を中止するときは、<**MENU**> ボタンを押します。
- 戻すときは、手順 1 の操作で［⏲OFF］を選びます。

静止画 動画

セルフタイマーを使って手ブレを防ぐ

シャッターボタンを押してから約 2 秒後に撮影するため、シャッターボタンを押すときのカメラのブレを防ぐことができます。



設定する

- 📖50 の手順 1 の操作で [⏲2] を選びます。
- ▶ 設定されると [⏲2] が表示されます。
- 📖50 の手順 2 の操作で撮影します。

静止画 動画

セルフタイマーの時間と撮影枚数を変える

撮影されるまでのタイマー時間（0 - 30 秒）と、撮影枚数（1 - 10 枚）を設定できます。

1 [⏲] を選ぶ

- 📖50 の手順 1 の操作で [⏲] を選び、すぐに <**MENU**> ボタンを押します。





2 設定する

- <▲> か <▼> を押して [時間] または [枚数] を選びます。
- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して数値を選び、<(FUNC SET)> を押します。
- ▶ 設定されると [⏲] が表示されます。
- 📖50 の手順 2 の操作で撮影します。

- 動画ボタンを押して撮影したときは、設定した［時間］で撮影がはじまりますが、［枚数］は反映されません。

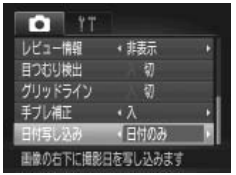
- 撮影枚数を 2 枚以上にしたときは、明るさや色あいは 1 枚目の撮影で固定されます。また、ストロボが光るときや撮影枚数が多いときは撮影間隔が長くなったり、カード容量がいっぱいになると自動的に撮影が終わります。
- タイマー時間を 2 秒以上にしたときは、撮影の 2 秒前にランプの点滅（ストロボ発光時は点灯）と電子音が速くなります。

静止画

日付を写し込む

画像の右下に撮影したときの日付を写し込むことができます。
なお、写し込まれた日付を消したり、修正することはできませんので、あらかじめ日付／時刻が正しく設定されていることを確認してください（🕮17）。





1 設定する

- <MENU> ボタンを押して、［📷］タブの［日付写し込み］を選び、目的の項目を選びます（🕮38）。
- ▶ 設定されると［日付］が表示されます。



2 撮影する

- ▶ 撮影した画像の右下に、撮影日または撮影日時が写し込まれます。
- 戻すときは、手順 1 の操作で［切］を選びます。

- 写し込まれた日付を消したり、修正することはできません。

- 日付を写し込まなかった画像でも、次の方法で画像に撮影日を入れて印刷することができます。ただし、日付を写し込んだ画像を同じ方法で印刷すると、日付が二重に印刷されることがあります。
  - 付属のソフトウェアを使って印刷する
  「ソフトウェアの使用説明書」（🕮25）を参照してください。
  - プリンターの機能を使って印刷する（🕮166）
  - 印刷指定（DPOF）機能を使って印刷する（🕮173）

静止画

ピントを合わせたい被写体を選んで撮る（キャッチ AF）

ピントを合わせたい被写体を選んで、撮影できます。



1 キャッチ AF モードにする

- <▲> を押します。
- ▶ 画面中央に［⌖］が表示されます。



2 ピントを合わせたい被写体を選ぶ

- 被写体に［⌖］が重なるようにカメラを動かしてシャッターボタンを半押しします。
- ▶ 青色の枠が表示され、ピントと明るさを合わせ続けます（サーボ AF）。

3 撮影する

- シャッターボタンを全押しして撮影します。
- キャッチ AF モードを解除するときは、<▲> を押します。

- 被写体が小さすぎる、動きが速い、被写体と背景との明暗差や色の差が小さいときは、追尾できないことがあります。

静止画

縦横比（アスペクト比）を変える

画像の縦横の比率を変えられます。





設定する

- <(FUNC SET)> を押して、メニュー項目の［**4:3**］を選んだあと、目的の項目を選びます（📖37）。
- ▶ 設定されると画面の縦横比が変わります。
- 戻すときは、上記の操作で［**4:3**］を選びます。

16:9	HD（ハイビジョン）対応テレビなどのワイド画面へ表示するときに適しています。
3:2	35mm フィルムと同じ縦横比です。2L 判、はがきなどでの印刷に適しています。
4:3	このカメラの画面と同じ縦横比です。HD（ハイビジョン）非対応テレビなどの画面へ表示するときや、L 判、A 判などでの印刷に適しています。
1:1	正方形です。

静止画

記録画素数（画像の大きさ）を変える

画像の記録画素数を 4 種類から選べます。それぞれの記録画素数で 1 枚のカードに撮影できる枚数については「主な仕様」（🕮203）を参照してください。

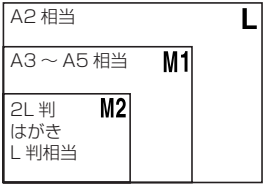




設定する

- <(FUNC SET)> を押して、メニュー項目の［**L**］を選び、目的の項目を選びます（🕮37）。
- ▶ 設定した項目が表示されます。
- 戻すときは、上記の操作で［**L**］を選びます。

用紙の大きさで選ぶときの目安（縦横比 4:3 のとき）



- ［**S**］は、電子メールで画像を送るときなどに適しています。

静止画

赤目自動補正

ストロボ撮影時に目が赤く写る現象を、自動補正して撮影できます。



1 ［ストロボ設定］画面を表示する

- <MENU> ボタンを押して、［📷］タブの［ストロボ設定］を選び、<FUNC SET> を押します（📖38）。





2 設定する

- ［赤目自動補正］を選んだあと、［入］を選びます（📖38）。
- ▶設定されると［◉］が表示されます。
- 戻すときは、上記の操作で［切］を選びます。

- 化粧などで目の周りが赤いときは、目以外を補正することがあります。

- 撮影した画像を補正することもできます（📖138）。
- ストロボを上げているときは、<▶> を押してからすぐに <MENU> ボタンを押すと、手順 2 の画面を表示できます。

動画の画質を変える

2 種類の画質から選べます。それぞれの画質で 1 枚のカードに撮影できる時間については「主な仕様」(🕮203) を参照してください。





設定する

- <(FUNC SET)> を押して、メニュー項目の[1280]を選んだあと、目的の項目を選びます (🕮37)。
- ▶ 設定した項目が表示されます。
- 戻すときは、上記の操作で [1280] を選びます。

画質	記録画素数	フレーム数	内容
1280	1280 x 720 画素	25 フレーム / 秒*	HD (ハイビジョン) 画質で撮影できます。
640	640 x 480 画素	30 フレーム / 秒	SD (スタンダード) 画質で撮影できます。

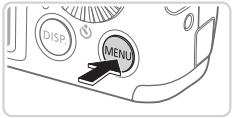
* [🎥] モードでは、30 フレーム / 秒で再生されます。

- [1280] では、画面の上下に黒帯が表示されます。この部分は撮影できません。

動画

ウィンドカットを使う

風が強いときに発生する雑音を低減できます。ただし、風がない場所で録音したときは、不自然な音になることがあります。





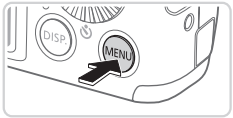
設定する

- <MENU> ボタンを押して、[📷] タブの［ウィンドカット］を選び、［入］を選びます（📖38）。
- 戻すときは、上記の操作で［切］を選びます。

静止画 動画

グリッドラインを表示する

撮影のときに垂直、水平の目安になる格子線を画面上に表示することができます。





設定する

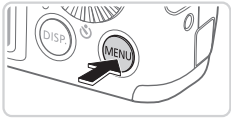
- <MENU> ボタンを押して、[📷] タブの［グリッドライン］を選び、［入］を選びます（📖38）。
- ▶ 設定されると格子線が表示されます。
- 戻すときは、上記の操作で［切］を選びます。

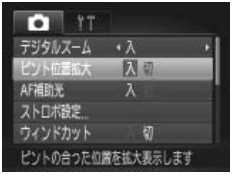
- ●「グリッドライン」は画像に記録されません。

静止画

ピント位置を拡大表示する

シャッターボタンを半押ししたときに、AF フレーム（ピント合わせの枠）の位置を拡大表示してピントを確認することができます。





1 設定する

- <MENU> ボタンを押して、[📷] タブの［ピント位置拡大］を選び、［入］を選びます（📖38）。



2 ピントを確認する

- シャッターボタンを半押しすると、主被写体として検出された顔が、拡大表示されます。
- 戻すときは、手順 1 の操作で［切］を選びます。

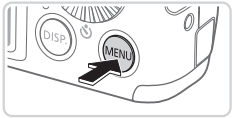
- 顔が検出できないとき、顔がカメラに近すぎて画面に対して大きく表示されているとき、顔が動いていると判別されたときは、シャッターボタンを半押ししても拡大表示されません。

- デジタルズーム（📖49）、キャッチ AF（📖94）では拡大表示されません。

静止画

目をつむった人を確認する

撮影時に目をつむった可能性のある人を検出したときは、[😑] を表示してお知らせします。





1 設定する

- <MENU> ボタンを押して、[📷] タブの［目つむり検出］を選び、［入］を選びます（📖38）。

2 撮影する

▶ 目をつむった人を検出したときは、枠と [😑] が表示されます。

- 戻すときは、手順 1 の操作で［切］を選びます。

- [📸] で撮影枚数を 2 枚以上に設定したときは、最後に撮影した画像でのみ動作します。
- ［撮影の確認］を［クイック］にしているとき（📖63）は、枠は表示されません。

自分好みに機能を変える

<MENU> の［📷］タブで、カメラの撮影機能を好みの設定に変えることができます。
なお、メニュー機能の操作方法は、「MENU（メニュー）の表示と操作方法」（📖38）を参照してください。

静止画

AF 補助光（ランプ）を切る

暗いところでシャッターボタンを半押しすると、ピントを合わせるためにランプ（前面）が点灯します。このランプを点灯しないようにすることができます。



設定する

- <MENU> ボタンを押して、［📷］タブの［AF 補助光］を選び、［切］を選びます（📖38）。
- 戻すときは、上記の操作で［入］を選びます。

静止画

赤目緩和機能（ランプ）を切る

暗いところでのストロボ撮影では、人の目が赤く撮影されることを緩和するため、ランプ（前面）が点灯します。このランプを点灯しないようにすることができます。



1 ［ストロボ設定］画面を表示する

- <MENU> ボタンを押して、［📷］タブの［ストロボ設定］を選び、<FUNC SET> を押します（📖38）。

2 設定する

- ［赤目緩和ランプ］を選んでから、［切］を選びます（📖38）。
- 戻すときは、上記の操作で［入］を選びます。

静止画

撮影直後の画像表示時間を変える

撮影直後に画像が表示される時間を変えられます。



設定する

- <MENU> ボタンを押して、[📷] タブの［撮影の確認］を選び、目的の項目を選びます（🕮38）。
- 戻すときは、上記の操作で［2 秒］を選びます。

クイック	次の撮影ができるようになるまでの間だけ画像を表示します。
2 ～ 10 秒	設定した時間だけ画像を表示します。
ホールド	シャッターボタンを半押しするまで画像を表示します。
切	画像は表示されません。

静止画

撮影直後の画面表示を変える

撮影直後の画像表示を変えることができます。



設定する

- <MENU> ボタンを押して、[📷] タブの［レビュー情報］を選び、目的の項目を選びます（📖38）。
- 戻すときは、上記の操作で［非表示］を選びます。

非表示	撮影した画像だけを表示します。
詳細表示	詳細情報表示（📖190）になります。
ピント確認	AF フレームの位置を拡大表示して、ピントを確認することができます。操作方法は、「ピント位置を確認する（フォーカスチェッカー）」（📖113）と同じです。

- ［撮影の確認］（📖63）で［クイック］または［切］を選んでいるときは、［非表示］に固定されます。

3

いろいろな撮影モード

いろいろなシーンをより効果的に撮ったり、ユニークな効果や特殊な機能で演出された画像を撮る



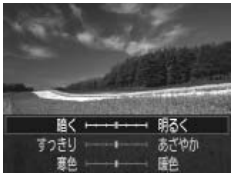
かんたんに明るさ、あざやかさ、色あいを変えて撮る（ライブビューコントロール）

明るさ、あざやかさ、色あいをかんたんな操作で自分好みに設定して撮影できます。



1 <LIVE> モードにする

- モードダイヤルを <**LIVE**> にあわせます。



2 設定する

- <(FUNC SET)> を押して設定画面を表示したあと、<▲> か <▼> を押して項目を選び、画面を見ながら <◀> か <▶> を押すか <(ダイヤル)> を回して値を設定します。
- <(FUNC SET)> を押します。

3 撮影する

明るさ	右側にいくほど明るくなり、左側にいくほど暗くなります。
あざやかさ	右側にいくほどあざやかな画像に、左側にいくほどすっきりとした画像になります。
色あい	右側にいくほど赤みの強い暖色系の画像になり、左側にいくほど青みの強い寒色系の画像になります。

いろいろなシーンで撮る

撮影シーンにあったモードを選ぶと、最適な撮影ができるようにカメラが自動的に設定を行います。



1 <SCN> モードにする

- モードダイヤルを <**SCN**> にあわせます。



2 撮影モードを選ぶ

- <FUNC SET> を押してメニュー項目の［］を選び、撮影モードを選びます（📖37）。

3 撮影する



静止画　動画

人を撮る（ポートレート）

- 人をやわらかい感じで撮影できます。



静止画

暗い場所で撮る（ローライト）

- 暗い場所でも手ブレや被写体ブレをおさえて撮影できます。



静止画 動画

雪景色で撮る（スノー）

- 雪景色を背景に、人を明るく自然な色あいで撮影できます。



静止画 動画

花火を撮る（打上げ花火）

- 打上げ花火を色鮮やかに撮影できます。

- ［ ］モードでは手ブレを防ぐため、三脚などでカメラが動かないように固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときは、［手ブレ補正］を［切］にして撮影することをおすすめします（101）。

- ［ ］モードでは、記録画素数は［ M ］（2304 × 1728 画素）に固定されます。

静止画

人が増えたら撮る（顔セルフタイマー）

シャッターボタンを押した人が構図に入って顔が検出（93）されると、約 2 秒後に撮影されます。集合写真などで撮影する人も一緒に写りたいときにおすすめです。

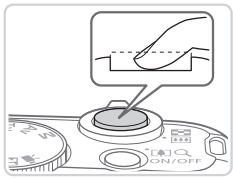


1 [ ] を選ぶ

- 67 の手順 1 ～ 2 の操作で［ ］を選びます。

2 構図を決めてシャッターボタンを半押しする

- ピントが合った顔には緑色、それ以外の顔には白の枠が表示されていることを確認します。



3 シャッターボタンを全押しする

- ▶ 撮影準備に入り［顔が増えたら撮影します］が表示されます。
- ▶ ランプ（前面）が点滅し、電子音が鳴ります。



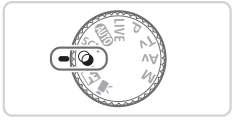
4 一緒に写る人が構図に入り顔をカメラに向ける

- ▶ 新しい顔が検出されると、ランプの点滅（ストロボ発光時は点灯）と電子音が速くなり、約 2 秒後に撮影されます。
- タイマーがはじまったあとに撮影を中止するときは、<MENU> ボタンを押します。

- 一緒に写る人が構図に入っても顔を検出できないときは、約 15 秒後に撮影されます。
- 69 の手順 1 ～ 2 の操作で［ ］を選んだあと、<DISP.> ボタンを押してから、<◀> か <▶> を押すか <◎> を回して枚数を選び、もう一度 <DISP.> ボタンを押すと撮影枚数を変えることができます。

効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）

いろいろな効果をつけて撮影することができます。



1 ＜ ◕ ＞モードにする

- モードダイヤルを＜ ◕ ＞にあわせます。



2 撮影モードを選ぶ

- ＜(FUNC SET)＞を押してメニュー項目の［ ］を選び、撮影モードを選びます（🕮37）。

3 撮影する



静止画　動画

鮮烈な色で撮る（極彩色）

- 色の濃さを強調して、高彩度の鮮烈な色で撮影できます。



静止画　動画

イラスト風の効果をつけて撮る（オールドポスター）

- 古いポスターのようなイラスト風の効果をつけて撮影できます。

- ［ ］［ ］モードでは、撮影シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。

静止画

魚眼レンズのような効果をつけて撮る（魚眼風）

魚眼レンズで撮ったようなデフォルメ効果をつけて撮影します。



1 ［］を選ぶ

- 71の手順1～2の操作で［］を選びます。

2 効果を選ぶ

- <DISP.>ボタンを押したあと、<◀>か<▶>を押すか<◎>を回して効果のレベルを選び、もう一度<DISP.>ボタンを押します。
- ▶設定した効果で画面が表示されます。

3 撮影する

- 撮影シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。

静止画　動画

ミニチュア模型のように撮る（ジオラマ風）

指定した範囲の上下をぼかして撮ることで、ミニチュア模型のような効果をつけて撮影します。
また、「再生時の速さ」を選んで動画を撮影すると、再生時には風景の中の人やものが早送りで動くので、ミニチュア模型のように見えます。なお、音声は録音されません。

1 ［］を選ぶ

- 71の手順1～2の操作で［］を選びます。
- ▶画面に白い枠（ぼかさない範囲）が表示されます。



2 ピントの合う範囲と位置を指定する

- <DISP.> ボタンを押します。
- ズームレバーを動かして枠の大きさを変えたり、<▲> か <▼> を押して枠の位置を変えます。



3 動画を撮るときは再生時の速さを選ぶ

- <MENU> ボタンを押したあと、<◀> か <▶> を押すか <◎> を回して倍速（速さ）を選びます。

4 撮影画面に戻り、撮影する

- <MENU> ボタンを押して撮影画面に戻り、撮影します。

倍速と再生時間の目安（動画を 1 分間撮影したとき）

倍速	再生時間
5x	約 12 秒
10x	約 6 秒
20x	約 3 秒

- 動画の撮影中は、ズームできません。撮影前に倍率を変えてください。
- 撮影シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。

- 手順２の画面で <(SET)> を押すと枠の縦横が変わり、枠を縦にしたときは <◀> か <▶> を押すと枠の位置を変えられます。
- カメラを縦位置で構えると、枠の向きが変わります。
- 動画の画質は、縦横比で［4:3］を選んだときは［640］に、［16:9］を選んだときは［1280］に固定されます（54）。

静止画

トイカメラのような効果をつけて撮る（トイカメラ風）

画像の四隅を暗くぼかして、全体の色調を変えることで、トイカメラで撮影したような効果をつけて撮影できます。

1 ［📷］を選ぶ

- 71 の手順１～２の操作で［📷］を選びます。



2 色調を選ぶ

- <DISP.> ボタンを押したあと、<◀> か <▶> を押すか <◎> を回して色調を選び、もう一度 <DISP.> ボタンを押します。
- ▶ 設定した色調で画面が表示されます。

3 撮影する

標準	トイカメラ風の画像になります。
暖色	［標準］より暖色系のトイカメラ風画像になります。
寒色	［標準］より寒色系のトイカメラ風画像になります。

- 撮影シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。

静止画　動画

単色で撮る（モノクロ）

画像を白黒、セピア調、青白にして撮影できます。



1 [◪] を選ぶ

- 71の手順1～2の操作で［◪］を選びます。

2 色調を選ぶ

- <DISP.> ボタンを押したあと、<◀> か <▶> を押すか <◎> を回して色調を選び、もう一度<DISP.>ボタンを押します。
- ▶ 設定した色調で画面が表示されます。

3 撮影する

白黒	白黒で撮影できます。
セピア	セピア調で撮影できます。
青	青白で撮影できます。

マナーモードで撮る

ストロボやランプ（前面）が光らず、消音の状態で撮影できます。ストロボの光やカメラを操作したときに鳴る音が制限される場所でカメラをお使いになるときにおすすめします。



1 <🚫> モードにする

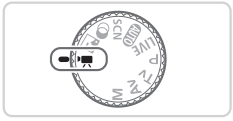
- モードダイヤルを <🚫> にあわせます。

2 撮影する

- <🚫> モードに設定すると、再生モードにしても消音の状態のままです。操作音は鳴らず、動画の再生時にも音声は再生されません。

いろいろな動画を撮る

<🎥> モードで動画を撮る



1 <🎥> モードにする

- モードダイヤルを <🎥> にします。
- ▶ 画面上下に黒い帯が表示されます。この部分は撮影できません。

2 目的に応じて各機能を設定する (📖192 ～ 199)

3 撮影する

- 動画ボタンを押します。
- 動画ボタンをもう一度押すと撮影が終わります。

明るさを固定したり変えて撮る

撮影前に露出を固定したり、露出を 1/3 段ずつ、± 2 段の範囲で変えられます。



1 露出を固定する

- シャッターボタンから指を離したあと、<▲> を押すと露出が固定されて露出シフトバーが表示されます。
- もう一度 <▲> を押すと解除されます。

2 露出を変える

- 画面を見ながら、<◎> を回して露出を変えます。

3 撮影する

動画

iFrame 動画で撮る

iFrame（アイフレーム）に対応したソフトウェアや機器での編集に適した動画が撮影できます。なお、「付属のソフトウェア」（🕮25）を使うと、iFrame 動画の編集や保存などを高速に行うことができます。



1 [🎥] を選ぶ

- モードダイヤルを <🎥> にします。
- <(FUNC SET)> を押してメニュー項目の [🎥] を選び、[🎥] を選びます（🕮37）。

▶ 画面上下に黒い帯が表示されます。この部分は撮影できません。

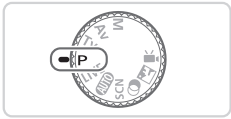
2 撮影する（🕮77）

- 記録画素数は [1280]（🕮57）に固定されます。
- iFrame とは、Apple 社が提唱する動画タイプです。

4

P モード

撮影スタイルにあわせた、ワンランク上の画像を撮る



- モードダイヤルが <**P**> モードになっていることを前提に説明しています。
- <**P**> は、Program AE（プログラムエーイー）の略、AE は、Auto Exposure（オートエクスポージャー）の略で自動露出のことです。
- この章で説明する機能を <**P**> モード以外で使うときは、それぞれの機能がどのモードで使えるか確認してください（192 ～ 199）。

プログラム AE で撮る（<P> モード）

いろいろな機能を自分好みに設定して撮影できます。



1 <P> モードにする

- モードダイヤルを <**P**> にします。

2 目的に応じて各機能を設定（🕮81 ～ 101）し、撮影する

- シャッターボタンを半押ししたときに適正露出が得られないと、シャッタースピードと絞り数値がオレンジ色で表示されます。次の設定で、適正露出が得られることがあります。
  - ストロボを発光させる（🕮98）
  - ISO 感度を変える（🕮82）
- <**P**> モードでも、動画ボタンを押すと動画が撮影できます。ただし、<FUNC.> や <MENU> の一部が動画撮影の設定にあわせて自動的に変わることがあります。
- <**P**> モードでの撮影範囲は、「主な仕様」（🕮203）を参照してください。

明るさ（露出）に関する機能を使う

静止画　動画

明るさを変える（露出補正）

カメラが決めた標準的な露出を 1/3 段ずつ、± 2 段の範囲で補正できます。

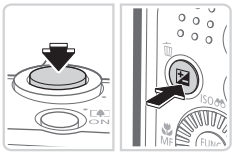


- <⚡> ボタンを押したあと、画面の表示を見ながら <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して明るさを補正し、もう一度 <⚡> ボタンを押します。
- ▶ 設定した補正量が表示されます。

静止画

明るさ（露出）を固定する（AE ロック）

露出を固定して撮影したり、ピントと露出を個別に設定して撮影することもできます。



1 露出を固定する

- 露出を固定したい被写体にカメラを向け、シャッターボタンを半押ししたまま、<⚡> ボタンを押します。
- ▶ [✱] が表示され、露出が固定されます。
- シャッターボタンから指を離してもう一度 <⚡> ボタンを押すと、[✱] が消え解除されます。

2 構図を決めて撮影する

- 1 枚撮影すると、[✱] が消え解除されます。

- AE は、Auto Exposure（オートエクスポージャー）の略で自動露出のことです。
- 露出を固定したあとに <◎> を回すと、シャッタースピードと絞り数値の組みあわせを変えることができます（プログラムシフト）。

静止画

測光方式を変える

撮影シーンにあわせて、測光方式（明るさを測る特性）を変えられます。



- <(FUNC SET)> を押して、メニュー項目の [[⊙]] を選び、目的の項目を選びます（📖37）。
- ▶ 設定した項目が表示されます。

[⊙] 評価測光	逆光撮影を含む一般的な撮影に適しています。撮影シーンに応じて、被写体が常に適正露出になるように自動補正します。
[ ] 中央部重点平均測光	画面中央部に重点をおいて、画面全体を平均的に測光します。
[•] スポット測光	画面中央に表示される［ ］（スポット測光枠）の範囲のみを測光します。

静止画

ISO 感度を変える



- <▲> を押したあと、<▲> か <▼> を押すか <◎> を回して項目を選び、<(FUNC SET)> を押します。
- ▶ 設定した項目が表示されます。

ISO AUTO	撮影モードと撮影シーンに応じて自動設定	
ISO 100 ISO 200	低い ↕ 高い	晴天の屋外
ISO 400 ISO 800		曇り空、夕方
ISO 1600		夜景、暗い室内

- [ISO AUTO] では、シャッターボタンを半押しすると自動設定された ISO 感度が画面に表示されます。
- ISO 感度を低くすると粗さが目立たない画像になりますが、撮影シーンによっては被写体ブレや手ブレがおきやすくなることがあります。
- ISO 感度を高くするとシャッタースピードが速くなるため、被写体ブレや手ブレが軽減されたり、ストロボの光が遠くの被写体まで届くようになりますが、画像が粗くなります。

静止画

明るさを補正して撮る（i- コントラスト）

人の顔や背景など、一部が明るすぎたり暗すぎたりするときは、その部分を検出し、適切な明るさに自動補正して撮影することができます。また、画面全体で明暗差が小さいときは、くっきりした印象となるように自動補正して撮影することができます。



- <MENU> ボタンを押して、[📷] タブの［i- コントラスト］を選び、項目の［自動］を選びます（📖38）。
- ▶ 設定されると［C_i］が表示されます。

- 撮影シーンによっては画像が粗くなったり、正しく補正されないことがあります。

- 撮影した画像を補正することもできます（📖137）。

静止画 動画

色あいを調整する（ホワイトバランス）

ホワイトバランス（WB）は、撮影シーンにあわせて自然な色あいにする機能です。



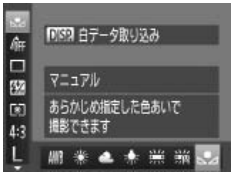
- <(FUNC SET)> を押して、メニュー項目の［AWB］を選び、目的の項目を選びます（📖37）。
- ▶ 設定した項目が表示されます。

AWB	オート	撮影シーンに応じて自動設定
☀	太陽光	晴天の屋外
☁	くもり	曇り空や日陰、薄暮
💡	電球	電球、電球色タイプ（3 波長型）の蛍光灯
蛍光灯	蛍光灯	昼白色蛍光灯、白色蛍光灯、昼白色タイプ（3 波長型）の蛍光灯
蛍光灯 H	蛍光灯 H	昼光色蛍光灯、昼光色タイプ（3 波長型）の蛍光灯
マニュアル	マニュアル	マニュアルホワイトバランス（手動設定）（📖85）

静止画 動画

マニュアルホワイトバランス

撮影場所の光源にあわせてホワイトバランスを変えて、撮影時の光源に適した色あいで撮影できます。撮影場所の光源のもとで設定してください。



- 84 の操作で［］を選びます。
- 画面いっぱいに白い無地の被写体が入るようにして、<DISP.> ボタンを押します。
- ▶ 白データが取り込まれて設定されると、画面の色あいが変わります。

- 白データを取り込んだあとにカメラの設定を変えると、適切な色あいにならないことがあります。

静止画　動画

画像の色調を変える（マイカラー）

通常の撮影画像とは違った印象の画像にしたり、セピア調や白黒画像に変えることができます。



- <(FUNC SET)> を押して、メニュー項目の［マイカラー切］を選び、目的の項目を選びます（📖37）。
- ▶ 設定した項目が表示されます。

マイカラー切	—
くっきりカラー	コントラストと色の濃さを強調し、くっきりした印象の色調になります。
すっきりカラー	コントラストと色の濃さをおさえ、すっきりとした印象の色調になります。
セピア	セピア調になります。
白黒	白黒になります。
ポジフィルムカラー	「あざやかブルー」、「あざやかグリーン」、「あざやかレッド」の効果をあわせたもので、ポジフィルムのように自然で色鮮やかになります。
色白肌	人の肌が色白になります。
褐色肌	人の肌が褐色になります。
あざやかブルー	青色を強調します。空や海などがより鮮やかになります。
あざやかグリーン	緑色を強調します。山や草花などがより鮮やかになります。
あざやかレッド	赤色を強調します。赤い被写体がより鮮やかになります。
カスタムカラー	画像の色調を自分好みに設定できます（📖87）。

- [Se] [BW] では、ホワイトバランス（🕮84）は設定できません。
- [L] [D] では、人の肌の色以外が変わることがあります。また、肌の色によっては、思いどおりの色にならないことがあります。

静止画　動画

カスタムカラー

画像のコントラスト（明暗差）、シャープネス（先鋭度）、色の濃さ、赤、緑、青、肌色を、それぞれ５段階から選んで設定できます。



1 設定画面を表示する

- 🕮86 の操作で［C］を選び、<DISP.> ボタンを押します。

2 設定する

- <▲> か <▼> を押して項目を選び、<◀> か <▶> を押すか <◎> を回して値を設定します。
- 設定値が右側に行くほど強く／濃く／褐色（肌色）になり、左に行くほど弱く／薄く／色白（肌色）になります。
- <DISP.> ボタンを押すと設定されます。

静止画

連続して撮る

シャッターボタンを全押ししたままにすると、連続撮影ができます。
連続撮影の速度は「主な仕様」(🕮203) を参照してください。



1 設定する

- <(FUNC/SET)> を押して、メニュー項目の [□] を選んだあと、目的の項目を選びます (🕮37)。
- ▶ 設定した項目が表示されます。

2 撮影する

- ▶ シャッターボタンを全押ししている間、連続撮影されます。

モード	説明
連続撮影	シャッターボタンを半押ししたときのピント位置と露出で連続撮影されます。
AF 連続撮影	連続撮影中もピント合わせが行われます。 [AF フレーム] は [中央] に固定されます。
LV 連続撮影*	連続撮影中は、マニュアルフォーカスで設定したピント位置に固定されます。[𝄐] モードでは、1 枚目のピント位置で固定されます。

* [𝄐] モード時 (🕮68)、AF ロック撮影時 (🕮97)、マニュアルフォーカス撮影時 (🕮90) は、[AF 連続撮影] が [LV 連続撮影] になります。
* 各モードの連続撮影の速度については、「主な仕様」(🕮203) を参照してください。

- セルフタイマー（📖50）、［目つむり検出］（📖61）とは一緒に使えません。
- 撮影シーン、カメラの設定、ズーム位置によっては、一定の間隔で撮影されなかったり、連続撮影の速度が遅くなることがあります。
- 撮影枚数が多くなると、連続撮影の速度が遅くなることがあります。
- ストロボが発光するときは、連続撮影の速度が遅くなることがあります。

- ［🎆］モード（📖67）では、連続撮影の速度が速くなります。

静止画

近くの被写体を撮る（マクロ撮影）

[🌷] に設定すると、近いものだけにピントを合わせます。ピントが合う範囲は「主な仕様」（📖203）を参照してください。



- <◀> を押したあと、<◀> か <▶> を押すか <◎> を回して [🌷] を選び、<(FUNC SET)> を押します。
- ▶ 設定されると [🌷] が表示されます。

- ズームバーの下にある黄色のバー表示の範囲は、[🌷] が灰色表示になりピントが合いません。

- 手ブレを防ぐため、三脚などでカメラを固定し、[⏲] で撮影することをおすすめします（📖51）。

静止画　動画

マニュアルフォーカスで撮る

オートフォーカスでピントが合わないときは、マニュアルフォーカスを使います。手動でおおよそのピントを合わせてからシャッターボタンを半押しすると、手動で合わせたピント位置の近傍で、もっともピントの合う位置に微調整されます。ピントが合う範囲は「主な仕様」（📖203）を参照してください。



1 [MF] を選ぶ

- <◀> を押したあと、<◀> か <▶> を押すか <◎> を回して [MF] を選び、<(FUNC SET)> を押します。
- ▶ [MF] と MF インジケーターが表示されます。



MF インジケーター

2 おおよそのピントを合わせる

- MF インジケーターの距離表示とピント位置を示すバーを目安にして、拡大表示を見ながら、<▲> か <▼> を押すか <◎> を回しておおよそのピントを合わせ、<(FUNC SET)> を押します。

3 ピントを微調整する

- シャッターボタンを半押しすると、もっともピントが合う位置に微調整されます（セーフティ MF）。

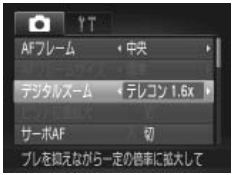
- マニュアルフォーカス中は、AF フレームモードや AF フレームの大きさは変えられません（📖92）。AF フレームモードや AF フレームの大きさを変えるときは、一度マニュアルフォーカスを解除してください。
- デジタルズーム（📖49）、デジタルテレコンバーター（📖92）を使用しているとき、テレビに表示しているとき（📖163）は拡大表示されませんが、ピント合わせはできます。

- 正確なピント合わせを行うには、三脚などでカメラを固定することをおすすめします。
- <MENU> ボタンを押して、[📷] タブの［MF 拡大表示］で［切］を選ぶと、拡大表示されなくなります（📖38）。
- <MENU> ボタンを押して、[📷] タブの［セーフティ MF］で［切］を選ぶと、シャッターボタンを半押ししてもピントが微調整されなくなります（📖38）。

静止画 動画

デジタルテレコンバーターを使う

レンズの焦点距離を 1.6 倍 /2.0 倍にできます。ズーム操作（デジタルズーム含む）で同じ倍率に拡大したときよりも、シャッタースピードが速くなるため手ブレを軽減できます。



- <MENU> ボタンを押して、[📷] タブの［デジタルズーム］を選んだあと、目的の項目を選びます（📖38）。
- ▶ 画面が拡大表示されて、倍率が表示されます。

- デジタルズーム（📖49）、ピント位置の拡大表示（📖60）とは、一緒に使えません。

- 1.6 倍 /2.0 倍時の焦点距離はそれぞれ 44.8 - 716.8 mm / 56.0 - 896.0 mm です（35mm フィルム換算）。
- ズームレバーを <🔍> 側に押してもっとも望遠側にしたときのシャッタースピードは、📖49 の手順 2 の操作で被写体を同じような大きさに拡大したときのシャッタースピードと同じになることがあります。

静止画 動画

AF フレームモードを変える

撮影シーンにあわせて、AF（自動ピント合わせ）フレームモードを変えられます。



- <MENU> ボタンを押して、[📷] タブの［AF フレーム］を選び、目的の項目を選びます（📖38）。

静止画　動画

中央

AF フレームが中央 1 点になります。確実なピント合わせに有効です。

- シャッターボタンを半押ししてピントが合わないときは、黄色の AF フレームと［❗］が表示されます。また、ピント位置の拡大表示（🕮60）はできません。

- AF フレームを小さくしたいときは、<MENU> ボタンを押して、［📷］タブの［AF フレームサイズ］で［小］を選びます（🕮38）。
- デジタルズーム（🕮49）やデジタルテレコンバーター（🕮92）使用時、マニュアルフォーカス（🕮90）時は、［標準］に設定されます。
- 被写体が画像の端や隅にくるよう撮影するときは、被写体に AF フレームを合わせてシャッターボタンを半押しし、この状態で構図を変えてシャッターボタンを全押しして撮影します（フォーカスロック撮影）。

静止画　動画

顔優先 AiAF

- 人の顔を検出して、ピント、露出（評価測光時のみ）、色あい（［AWB］時のみ）を合わせます。
- カメラを被写体に向けると、主被写体と判断した顔に白のフレーム、他の顔には最大 2 つの灰色のフレームが表示されます。
- 検出した顔が動いていると判別したときは、一定の範囲で追尾します。
- シャッターボタンを半押しすると、ピントが合った顔には緑色のフレーム（最大 9 個）が表示されます。

- 顔が検出されないときや、白のフレームが表示されず灰色のフレームのみが表示されたときは、シャッターボタンを半押しすると、ピントの合った位置に緑色のフレーム（最大９個）が表示されます。
- サーボ AF（🕮95）が［入］で顔が検出されないときに、シャッターボタンを半押しすると中央にフレームが表示されます。
- 顔として検出できない例
  - 被写体までの距離が遠い、または極端に近い。
  - 被写体が暗い、または明るい。
  - 顔が横や斜めを向いている、または一部が隠れている。
- 人の顔以外を、誤って検出することがあります。
- シャッターボタンを半押ししてピントが合わないときは、AF フレームは表示されません。

静止画

ピントを合わせたい被写体を選んで撮る（キャッチ AF）

ピントを合わせたい被写体を選んで、撮影できます。

1 ［キャッチ AF］を選ぶ

- 🕮92 の操作で［キャッチ AF］を選びます。
- ▶ 画面中央に［⌖］が表示されます。



2 ピントを合わせたい被写体を選ぶ

- 被写体に［⌖］が重なるようにカメラを動かして <◀> を押します。



- ▶ 被写体が検出されると電子音が鳴り、[ ] が表示されます（動いていても一定の範囲で追い続けます）。
- ▶ 被写体が検出できなくなったときは、［⌖］が表示されます。
- 解除するときは、もう一度 <◀> を押します。

3 撮影する

- シャッターボタンを半押しすると、[ ] が青色の [ ] に変わり、被写体を追い続けながら、ピントと露出を合わせ続けます（サーボ AF）（下記）。
- シャッターボタンを全押しして撮影します。

▶ 撮影後も [ ] が表示され、被写体を追い続けます。

- [サーボ AF]（下記）は［入］に固定されます。
- 被写体が小さすぎる、動きが速い、被写体と背景との明暗差や色の差が小さいときは、追尾できないことがあります。
- メニューの［📷］タブの［ピント位置拡大］は設定できません。
- [MF] は設定できません。

- <◀▶> を押さずにシャッターボタンを半押ししても被写体を検出できます。撮影後は、画面中央に［⊹］が表示されます。
- [MF] に設定するとき（📖90）は、<◀▶> を 1 秒以上押します。

静止画

サーボ AF で撮る

シャッターボタンを半押ししている間は被写体にピントと露出を合わせ続けるため、動いている被写体のシャッターチャンスを逃さずに撮影できます。



1 設定する

- <MENU> ボタンを押して、［📷］タブの［サーボ AF］を選び、［入］を選びます（📖38）。

2 ピントを合わせる

- シャッターボタンを半押ししている間、青色で AF フレームが表示され、ピントと露出を合わせ続けます。

- 撮影シーンによっては、ピントが合わなくなることがあります。
- 暗い場所では、シャッターボタンを半押ししても AF フレームが青色にならないときがあります。そのときは、設定している AF フレームモードでピントと露出を合わせます。
- 適正露出が得られなくなると、シャッタースピードと絞り数値がオレンジ色で表示されます。いったんシャッターボタンから指を離して、もう一度シャッターボタンを半押ししてください。
- AF ロック撮影はできません。
- メニューの［📷］タブの［ピント位置拡大］は設定できません。
- セルフタイマー（📖50）使用時は設定できません。

静止画

フォーカス設定を切り換える

通常は、シャッターボタンを押さなくても、カメラを向けた方向の被写体へ常にピントを合わせますが、シャッターボタンを半押ししたときだけ、ピントを合わせるようにすることができます。



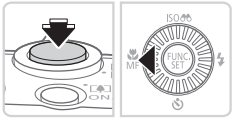
- <MENU> ボタンを押して、［📷］タブの［コンティニュアス AF］を選び、［切］を選びます（📖38）。

入	シャッターボタンを半押しするまで常にピントを合わせ続けるので、とっさのシャッターチャンスを逃さずに撮影できます。
切	通常はピント合わせを行わないため、消費電力を抑えることができます。

静止画 動画

AF ロックで撮る

ピントを固定できます。固定後はシャッターボタンから指を離しても、ピント位置は固定されたままになります。



1 ピントを合わせて固定する

- シャッターボタンを半押ししたまま、<◀> を押します。
- ▶ ピントが固定され、［**MF**］と MF インジケーターが表示されます。
- シャッターボタンから指を離してもう一度シャッターボタンを半押ししたまま、<◀> を押すと解除されます。

2 構図を決めて撮影する

ストロボに関する機能を使う

静止画

ストロボを発光させる

ストロボを常に発光させて撮影できます。ストロボ撮影できる範囲については、「主な仕様」（203）を参照してください。



1 ストロボを上げる

- <ϟ> ボタンを押します。

2 設定する

- <◀▶> を押したあと、<◀▶> か <◀▶> を押すか <◎> を回して［ϟ］を選び、<(FUNC SET)> を押します。
- ▶ 設定されると［ϟ］が表示されます。

- ストロボがカメラに収納されていると、<◀▶> を押しても設定画面は表示されません。<ϟ> ボタンを押してストロボを上げてから操作してください。

静止画

スローシンクロで撮る

人などの主被写体は、ストロボが発光することで明るく撮影され、ストロボの光が届かない背景は、シャッタースピードを遅くすることで暗くなるのを軽減することができます。
なお、ストロボ撮影できる範囲は「主な仕様」（203）を参照してください。



1 ストロボを上げる

- <ϟ> ボタンを押します。

2 設定する

- <◀▶> を押したあと、<◀▶> か <◀▶> を押すか <◎> を回して［ϟ］を選び、<(FUNC SET)> を押します。
- ▶ 設定されると［ϟ］が表示されます。

3 撮影する

- ストロボが光っても、シャッター音が鳴り終わるまでは主被写体が動かないようにしてください。

- 手ブレを防ぐため、三脚などでカメラが動かないように固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときは、［手ブレ補正］を［切］にして撮影することをおすすめします（🕮101）。
- ストロボがカメラに収納されていると、<▶> を押しても設定画面は表示されません。<ϟ> ボタンを押してストロボを上げてから操作してください。

静止画

ストロボの調光量を補正する

ストロボ撮影時の露出を露出補正（🕮81）と同様に、1/3 段ずつ、±2 段の範囲で補正できます。



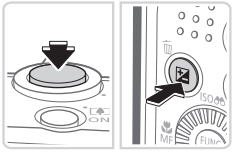
- <(FUNC SET)> を押して、メニュー項目の［ϟ］を選んだあと、<◀> か <▶> を押すか <◎> を回して設定します（🕮37）。
- ▶ 設定されると［ϟ］が表示されます。

- ストロボ発光時に、露出オーバーで適正露出が得られないときは、自動的にシャッタースピードや絞り数値が変わって白トビを軽減し、適正露出で撮影できます。ただし、<MENU>（🕮38）の［📷］タブの［ストロボ設定］で［セーフティ FE］を［切］に設定すると、自動的にシャッタースピードや絞り数値が変わらなくなります。
- ストロボ調光補正は、<MENU>（🕮38）の［📷］タブの［ストロボ設定］にある［調光補正］でも設定することができます。
- <MENU> の［ストロボ設定］画面は、ストロボを上げているときに <▶> を押してからすぐに <MENU> ボタンを押すことでも表示できます。

静止画

FE ロックで撮る

ストロボ撮影時の露出を、AE ロック撮影（🕮81）と同様に固定できます。



1 ストロボを上げて、[ϟ] にする（🕮98）

2 ストロボ露出を固定する

- 露出を固定したい被写体にカメラを向け、シャッターボタンを半押ししたまま、<⚡> ボタンを押します。
- ▶ストロボが発光し、[✳] が表示され、ストロボ発光量が記憶されます。
- シャッターボタンから指を離してもう一度 <⚡> ボタンを押すと、[✳] が消え解除されます。

3 構図を決めて撮影する

- 1 枚撮影すると、[✳] が消え解除されます。

- FE は、Flash Exposure（フラッシュエクスポージャー）の略でストロボ露出のことです。

撮影スタイルにあわせて機能を変える

静止画

圧縮率（画質）を変える

圧縮率を 2 種類から選べます。高画質から順に［S］（スーパーファイン）、［◢］（ファイン）となります。それぞれの圧縮率で 1 枚のカードに撮影できる枚数については「主な仕様」（🕮203）を参照してください。



設定する

- <(FUNC SET)> を押して、メニュー項目の［◢］を選び、目的の項目を選びます（🕮37）。

静止画　動画

手ブレ補正の設定を変える



- <MENU> ボタンを押して、［📷］タブの［手ブレ補正］を選び、<◀> か <▶> を押して目的の項目を選びます（🕮38）。

入	撮影状況に最適な手ブレ補正に自動設定（マルチシーン IS）されます（🕮47）。
撮影時*	撮影される瞬間のみ手ブレを補正します。
切	手ブレ補正を切ります。

＊動画を撮影するときは、［入］の設定に変わります。

- 手ブレを補正しきれないときは、三脚などでカメラを固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときは、［切］にすることをおすすめします。

5

Tv、Av、M モード

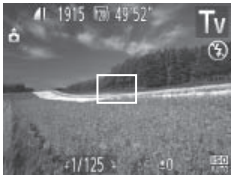
作画を意図したハイレベルな静止画を撮る



・それぞれのモードになっていることを前提に説明しています。

シャッタースピードを決めて撮る（<Tv> モード）

シャッタースピードを目的の値に設定して撮影できます。設定したシャッタースピードに応じて、カメラが自動的に絞り数値を設定します。
設定できるシャッタースピードは「主な仕様」（🕮203）を参照してください。



1 <Tv> モードにする

- モードダイヤルを <**Tv**> にします。

2 シャッタースピードを設定する

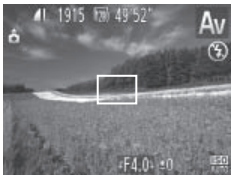
- <◎> を回してシャッタースピードを設定します。

- シャッタースピードが 1.3 秒またはそれより遅いときは、撮影後にノイズ低減処理を行うため、次の撮影までにしばらく時間がかかります。
- シャッタースピードを遅くしたときに三脚などでカメラを固定するときは、［手ブレ補正］を［切］にして撮影することをおすすめします（🕮101）。
- ストロボ発光時のシャッタースピードの上限は 1/2000 秒です。1/2000 秒より速いシャッタースピードに設定しても、1/2000 秒に自動設定されて撮影されます。
- シャッターボタンを半押ししたときに絞り数値がオレンジ色で表示されるときは、適正露出から外れています。絞り数値が白字で表示されるまで、シャッタースピードを変えます（セーフティシフトも使えます（🕮105））。

- <**Tv**> は、Time value（タイムバリュー）の略で時間量のことです。

絞り数値を決めて撮る（<Av> モード）

絞り数値を目的の値に設定して撮影できます。設定した絞り数値に応じて、カメラが自動的にシャッタースピードを設定します。
設定できる絞り数値は「主な仕様」（203）を参照してください。



1 <Av> モードにする

- モードダイヤルを <**Av**> にします。

2 絞り数値を設定する

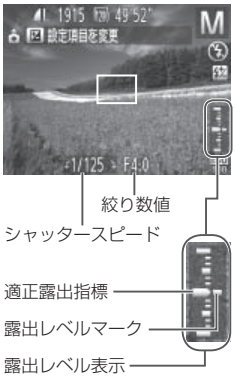
- <◎> を回して絞り数値を設定します。

- シャッターボタンを半押ししたときにシャッタースピードがオレンジ色で表示されるときは、適正露出から外れています。シャッタースピードが白字で表示されるまで、絞り数値を変えます（セーフティシフトも使えます（下記））。

- <**Av**> は、Aperture value（アパーチャーバリュー）の略でレンズの中に入っている「絞り」の開口量のことです。
- <**Tv**>、<**Av**> モードのとき、<**MENU**> ボタンを押して、[📷] タブの［セーフティシフト］を［入］にする（38）と、適正露出が得られないときでも、自動的にシャッタースピードや絞り数値が変更されて、適正露出で撮影できます。
  ただし、ストロボ発光時は機能しません。

シャッタースピードと絞り数値を決めて撮る（<M> モード）

シャッタースピードと絞り数値を個別に設定して、目的の露出で撮影できます。設定できるシャッタースピードや絞り数値は「主な仕様」（🕮203）を参照してください。



1 <M> モードにする

- モードダイヤルを <**M**> にします。

2 設定する

- <⊠> ボタンを押して、シャッタースピードまたは絞り数値を選び、<◎> を回して設定します。
- ▶ 設定した値に連動して、露出レベルマークが移動し、適正露出からの差が確認できます。
- ▶ 適正露出から± 2 段を越えると、露出レベルマークはオレンジ色で表示され、シャッターボタンを半押しすると右下に［+2］または、［− 2］とオレンジ色で表示されます。

- 設定後にズーム操作をしたり構図を変えると、露出レベルマークが移動することがあります。
- シャッタースピードと絞り数値の設定により、画面の明るさが変わります。ただし、ストロボを上げてストロボモードを［ϟ］にすると画面の明るさは変わりません。
- シャッターボタンを半押ししながら <⊠> ボタンを押すと、シャッタースピードまたは絞り数値のうち手順 2 で選んでいない方が自動設定されて適正露出になります（設定によっては適正露出にならないことがあります）。

- <**M**> は、Manual（マニュアル）の略です。
- 適正露出は設定している測光方式（🕮82）で算出されます。

静止画

ストロボ発光量を設定する

<**M**> モードでは、ストロボの発光量を 3 段階から選べます。



1 <M> モードにする

- モードダイヤルを <**M**> にします。

2 設定する

- <(FUNC SET)> を押して、メニュー項目の［ϟ］を選んだあと、<◀> か <▶> を押すか <◎> を回して設定します（🕮37）。
- ▶ 設定されると、［ϟ］が表示されます。

- ストロボ発光量は、<**MENU**>（🕮38）の［📷］タブの［ストロボ設定］にある［発光量］でも設定することができます。
- <**Tv**> モードや <**Av**> モードでは、<**MENU**>（🕮38）の［📷］タブの［ストロボ設定］で［発光モード］を［マニュアル］に設定するとストロボ発光量が設定できます。
- <**MENU**> の［ストロボ設定］画面は、次の方法でも表示できます。
  - ストロボを上げているときに <▶> を押してからすぐに <**MENU**> ボタンを押す。

6

再生モード

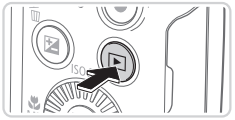
撮った画像を見て楽しんだり、いろいろな機能を使って画像の検索や編集をする

- <▶> ボタンを押して、再生モードにしてから操作してください。

- パソコンで編集した画像やファイル名を変えた画像、このカメラ以外で撮影した画像は、再生や編集ができないことがあります。

見る

撮影した画像を画面で見ることができます。



1 再生モードにする

- <▶> ボタンを押します。
- ▶ 最後に撮影した画像が表示されます。



2 画像を選ぶ

- <◀> を押すか <◎> を反時計方向に回すと前の画像が表示され、<▶> を押すか <◎> を時計方向に回すと次の画像が表示されます。
- <◀> か <▶> を押したままにすると、画像が速く切り換わります。ただし、表示画像は粗くなります。





- <◎> を速く回すと左の画面が表示されます（スクロール再生）。この状態で <◎> を回して画像を選びます。
- <FUNC SET> を押すと 1 枚表示に戻ります。
- スクロール再生中に <▲> か <▼> を押すと、日付ごとにジャンプして画像を探せます。



- 動画では、[SET] が表示されます。動画を再生するときは手順 3 に進みます。



音量

3 動画を再生する

- <(FUNC SET)> を押して動画操作パネルを表示し、<◀> か <▶> を押して［▶］を選び、もう一度 <(FUNC SET)> を押すと再生がはじまります。

4 音量を調整する

- <▲> か <▼> を押して調節します。

5 一時停止する

- <(FUNC SET)> を押すたびに、一時停止／再開できます。

▶ 再生が終わると［SET］が表示されます。

- 再生モードの状態でシャッターボタンを半押しすると撮影モードになります。
- スクロール再生を使わないようにするには、<**MENU**> ボタンを押して［▶］タブの［スクロール再生］を選び、［切］を選びます。
- 再生モードにしたときに表示される画像を最新の撮影画像からにしたいときは、<**MENU**> ボタンを押して［▶］タブの［再生開始位置］を選び、［最新の画像］を選びます。
- 画像を切り換えたときの効果を変えるには、<**MENU**> ボタンを押して［▶］タブの［再生効果］を選び、<◀> か <▶> を押して効果を選びます。

静止画 動画

表示を切り換える

画面表示は、<DISP.> ボタンを押して切り換えます。画面に表示される情報の詳細については、🕮190 を参照してください。



情報表示なし　簡易情報表示　詳細情報表示　ピント位置確認表示（🕮113）※

※ 動画では表示されません。

- 撮影直後の画面表示も、<DISP.> ボタンを押して切り換えられます。ただし、簡易情報表示にはなりません。最初に表示される画面は、<MENU> ボタンを押して［📷］タブの［レビュー情報］で変えられます（🕮64）。

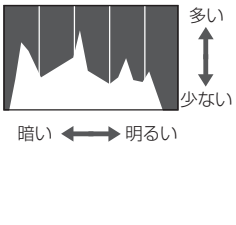
静止画 動画

高輝度（ハイライト）警告

「詳細情報表示」にすると、画像上の白トビした部分が点滅表示されます。

静止画 動画

ヒストグラム



- 「詳細情報表示」のグラフは、画像中の明るさの分布を示したヒストグラムというグラフです。横軸は明るさ、縦軸は明るさごとの量を示していて、露出の傾向を確認できます。

静止画

ピント位置を確認する（フォーカスチェッカー）

撮影時にピント合わせをした AF フレームの位置を、拡大表示することができます。



1 ピント位置確認表示にする

- <DISP.> ボタンを押します（📖112）。
- ▶ピント合わせを行った AF フレームの位置に、白の枠が表示されます。
- ▶再生時に検出された顔の位置には、灰色の枠が表示されます。
- ▶オレンジ色の枠の箇所が拡大表示されます。



2 拡大表示する箇所を変える

- ズームレバーを <Q> 側に一度押します。
- ▶左の画面が表示されます。
- 複数の枠が表示されているときは、<(FUNC SET)> を押すと別の枠に移動します。

3 拡大率や表示位置を変える

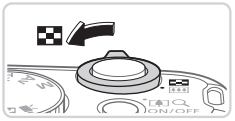
- ズームレバーを操作して表示倍率を変えたり、<▲><▼><◀><▶> を押して表示位置を変えながら確認します。
- <MENU> ボタンを押すと手順 1 に戻ります。

画像を探したり、特定の画像だけを見る

静止画　動画

一覧表示（インデックス表示）で画像を探す

複数の画像を一覧で表示して、目的の画像を素早く探せます。



1 一覧表示にする

- ズームレバーを <▪▪> 側に押すと一覧表示になり、さらに押すと表示される画像の数が増えます。
- ズームレバーを <Q> 側に押すごとに、表示される画像の数が減ります。



2 画像を選ぶ

- <◎> を回して表示画像を切り換えます。
- <▲><▼><◀><▶> を押して画像を選びます。
- ▶ 選ばれている画像にはオレンジ色の枠が表示されます。
- <FUNC SET> を押すと選ばれている画像が 1 枚表示になります。

静止画 動画

指定した条件で画像を探す

カード内に多くの画像があるときは、指定した条件で画像を検索して、目的の画像を素早く探せます。また、検索した画像だけをまとめて保護したり（🕮120）、消したり（🕮124）することもできます。

★ お気に入り	お気に入り設定した画像（🕮129）を表示
日付	指定した撮影日の画像を表示
マイカテゴリー	指定したカテゴリー（🕮130）の画像を表示
静止画／動画	静止画または動画のみを表示



1 1つ目の条件を選ぶ

- 1枚表示の状態で <▲> を押したあと、<▲> か <▼> を押して条件を選びます。
- [★] を選んだときは <◀> か <▶> を押して検索された画像だけを見ることができます。検索した画像だけをまとめて操作したいときは、<(FUNC SET)> を押して、手順3に進みます。

2 2つ目の条件を選んで、検索した画像を見る

- <◀> か <▶> を押して条件を選び、<◎> を回すと検索された画像だけを見ることができます。
- 解除するときは <MENU> ボタンを押します。
- 検索された画像だけの表示に切り替えるときは、<(FUNC SET)> を押して手順3に進みます。



3 検索した画像を見る

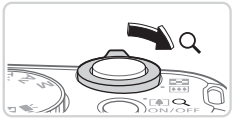
- 検索した画像が黄色の枠付きで表示され、<◀> か <▶> を押すか <◎> を回すと検索した画像だけを見ることができます。
- <▲> を押すと［画像の検索を終了しました］と表示され、<(FUNC SET)> を押すと検索した画像の表示が解除されます。

- 目的の条件と一致する画像がないときは、条件を選ぶことはできません。

- 手順 2 で <DISP.> ボタンを押すと、情報の非表示／表示を切り換えられます。
- 検索した画像を表示しているとき（手順 3）は、「一覧表示（インデックス表示）で画像を探す」（📖114）、「スライドショーで見る」（📖118）、「拡大して見る」（📖117）などの操作で画像を見ることもできます。また、「保護する」（📖120）、「まとめて消す」（📖124）、「印刷指定（DPOF）」（📖173）、「フォトブック指定」（📖177）で［検索したすべての画像を指定］を選ぶと、検索した画像だけをまとめて操作することができます。
- カテゴリーを変えたり（📖130）、画像を編集して新規保存（📖133 ～ 138）などを行うとメッセージが表示されて、検索した画像の表示が解除されます。

静止画

拡大して見る





表示位置の目安

1 拡大する

- ズームレバーを <Q> 側に押すと拡大表示になり、押したままにすると最大約 10 倍まで拡大できます。
- ズームレバーを <▪▪> 側に押すと縮小表示になり、押したままにすると 1 枚表示に戻ります。

2 表示位置を移動したり、画像を切り換える

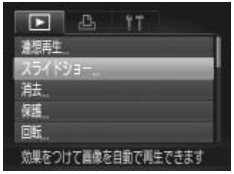
- <▲><▼><◀><▶> を押すと、表示位置が移動します。
- <◎> を回すと拡大したまま画像を切り換えられます。

- 拡大表示のときに <MENU> ボタンを押すと、1 枚表示に戻すことができます。

静止画　動画

スライドショーで見る

カードに記録されている画像を自動的に再生します。



1 設定画面を表示する

- <MENU> ボタンを押して、[▶] タブの［スライドショー］を選びます（🕮38）。



2 設定する

- 設定するメニュー項目を選び、目的の項目を選びます（🕮38）。

3 自動再生をはじめる

- <▲> か <▼> を押すか <◎> を回して［スタート］を選び、<(FUNC SET)> を押します。
- ▶［画像読み込み中］が数秒間表示されたあと、スライドショーがはじまります。
- <MENU> ボタンを押すと終わります。

- スライドショー中に節電機能（🕮34）は働きません。

- 再生中に <(FUNC SET)> を押すと一時停止／再開ができます。
- 再生中に <◀> か <▶> を押すか <◎> を回すと画像を切り換えられ、<◀> か <▶> を押したままにすると早送りできます。
- ［効果］で［バブル］を選んだときは、［再生間隔］は変えられません。

静止画

いろいろな画像を表示する（連想再生）

表示している画像をもとに、4 つの画像をカメラが選んで表示します。その中から 1 つ選ぶとさらに 4 つの画像が表示されるので、思いがけない順番の再生が楽しめます。いろいろなシーンの画像をたくさん撮ったあとなどにおすすめです。



1 連想再生にする

- <MENU> ボタンを押して、[▶] タブの［連想再生］を選び、<(FUNC SET)> を押します（📖38）。
- ▶ 4 枚の画像が候補として表示されます。



2 画像を選ぶ

- <▲><▼><◀><▶> を押して次に見たい画像を選びます。
- ▶ 選んだ画像が画面中央に表示され、次の 4 枚の候補が表示されます。
- <(FUNC SET)> を押すと画面中央の画像が画面いっぱいに表示されます。もう一度 <(FUNC SET)> を押すともとの表示に戻ります。
- <MENU> ボタンを押すと 1 枚表示に戻ります。

- このカメラで撮影した静止画だけが連想再生の対象になります。
- 次のときは連想再生を使えません。
  - このカメラで撮影した静止画が 50 枚に満たないとき
  - 対象の画像以外を表示しているとき
  - 検索した画像を表示しているとき（📖115）

保護する

大切な画像をカメラの消去機能（📖124）で誤って消さないよう、保護することができます。

指定方法を選ぶ



1 設定画面を表示する

- <MENU> ボタンを押して、[▶] タブの［保護］を選びます（📖38）。



2 指定方法を選ぶ

- 目的のメニュー項目を選び、目的の項目を選びます（📖38）。
- <MENU> ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

- カードを初期化（📖146、147）すると、保護された画像も消えます。

- 保護された画像は、カメラの消去機能では消えません。画像を消すときは、保護を解除してください。

1 枚ずつ指定する

1 [画像指定] を選ぶ

- 📖120 の手順 2 の操作で［画像指定］を選び、<(FUNC SET)> を押します。



2 画像を選び指定する

- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して画像を選び、<(FUNC SET)> を押すと［🔑］が表示されます。
- もう一度 <(FUNC SET)> を押すと［🔑］が消え、解除されます。
- 別の画像も指定するときは、上記の操作を繰り返します。



3 保護する

- <MENU> ボタンを押すと確認画面が表示されます。
- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して［OK］を選び、<(FUNC SET)> を押します。

- 手順 3 の操作をする前に、撮影モードに切り換えたり電源を切ったときは、保護されません。

範囲で指定する

1 ［範囲で指定］を選ぶ

- 📖120 の手順 2 の操作で［範囲で指定］を選び、<(FUNC SET)> を押します。

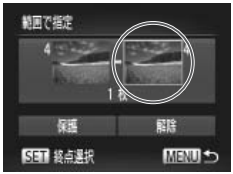


2 始点の画像を指定する

- <(FUNC SET)> を押します。



- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して画像を選び、<(FUNC SET)> を押します。



3 終点の画像を指定する

- <▶> を押して［終点選択］にし、<(FUNC SET)> を押します。



- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して画像を選び、<(FUNC SET)> を押します。
- 始点より前の画像は選べません。



4 保護する

- <▼> を押して［保護］を選び、<(FUNC SET)> を押します。

- 手順 2、3 の上側の画面では、<◎> を回して、始点、終点の画像を選ぶこともできます。

すべての画像を指定する

1 ［すべての画像を指定］を選ぶ

- 🕮120 の手順 2 の操作で［すべての画像を指定］を選び、<(FUNC SET)> を押します。



2 保護する

- <▲> か <▼> を押すか <◎> を回して［保護］を選び、<(FUNC SET)> を押します。

- 「範囲で指定する」の手順 4、「すべての画像を指定する」の手順 2 で［解除］を選ぶと、選んだ画像の保護をまとめて解除することができます。

消す

不要な画像を 1 枚ずつ選んで消せます。消した画像は元に戻せないので十分に確認してから消してください。ただし、保護された画像（📖120）は消えません。

1 消したい画像を選ぶ

- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して画像を選びます。



2 消す

- <🗑> ボタンを押します。
- [消去?] が表示されたら、<◀> か <▶> を押して [消去] を選び、<(FUNC SET)> を押します。
- ▶ 表示していた画像が消えます。
- 中止するときは、<◀> か <▶> を押すか <◎> を回して [キャンセル] を選び、<(FUNC SET)> を押します。

まとめて消す

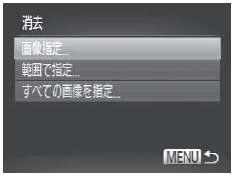
画像を選んでまとめて消すことができます。消した画像は元に戻せないので十分に確認してから消してください。ただし、保護された画像（📖120）は消えません。

指定方法を選ぶ



1 設定画面を表示する

- <MENU> ボタンを押して、[▶] タブの [消去] を選びます（📖38）。



2 指定方法を選ぶ

- 目的のメニュー項目を選び、目的の項目を選びます（📖38）。
- <MENU> ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

1 枚ずつ指定する

1 [画像指定] を選ぶ

- 上記の手順 2 の操作で［画像指定］を選び、<(FUNC SET)> を押します。



2 画像を選ぶ

- 📖121 の手順 2 の操作で画像を選ぶと、［✓］が表示されます。
- もう一度 <(FUNC SET)> を押すと［✓］が消え、解除されます。
- 別の画像も指定するときは、上記の操作を繰り返します。



3 消す

- <MENU> ボタンを押すと確認画面が表示されます。
- <◀> か <▶> を押すか <(◎)> を回して［OK］を選び、<(FUNC SET)> を押します。

範囲で指定する

1 [範囲で指定] を選ぶ

- 「指定方法を選ぶ」（上記）の手順 2 の操作で［範囲で指定］を選び、<(FUNC SET)> を押します。

2 画像を指定する

- 📖122 の手順 2 ～ 3 の操作で指定します。



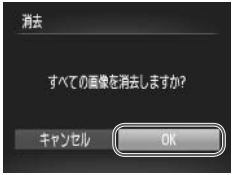
3 消す

- <▼> を押して［消去］を選び、<(FUNC SET)> を押します。

すべての画像を指定する

1 ［すべての画像を指定］を選ぶ

- 「指定方法を選ぶ」（📖125）の手順 2 の操作で［すべての画像を指定］を選び、<(FUNC SET)> を押します。



2 消す

- <◀> か <▶> を押すか <(◎)> を回して［OK］を選び、<(FUNC SET)> を押します。

回転する

画像の向きを変えて保存することができます。



1 ［回転］を選ぶ

- <MENU> ボタンを押して、［▶］タブの［回転］を選びます（🕮38）。



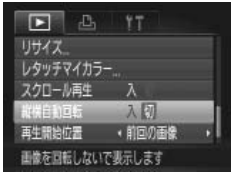
2 回転する

- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して画像を選びます。
- <(FUNC/SET)> を押すたびに 90 度単位で回転します。
- <MENU> ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

- 画質が［RAW］の動画は回転できません。
- ［縦横自動回転］が［切］のときは回転できません（🕮128）。

自動回転機能を切る

縦位置で撮影した画像をカメラで見るときは、自動回転して縦位置で表示されます。この機能を使わないようにできます。



- <**MENU**> ボタンを押して、[▶] タブの［縦横自動回転］を選び、項目の［切］を選びます（🕮38）。

- ［切］にすると、画像の回転（🕮127）はできません。また、すでに回転させていた画像も、もとの向きで表示されます。
- 連想再生（🕮119）では、［切］に設定しても、縦位置で撮影された画像は縦位置で、撮影後に回転させた画像は回転した状態で表示されます。

分類する

お気に入りやマイカテゴリー（🕮130）を設定して、撮影した画像を分類できます。設定した画像だけを検索して、次の操作をすることができます。

- 見る（🕮110）、スライドショーで見る（🕮118）、保護する（🕮120）、消す（🕮124）、印刷指定（DPOF）（🕮173）、フォトブック指定（🕮177）

静止画　動画

お気に入り設定をする



1 ［お気に入り］を選ぶ

- <MENU> ボタンを押して、［▶］タブの［お気に入り］を選びます（🕮38）。



2 画像を選ぶ

- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して画像を選び、<(FUNC SET)> を押すと［★］が表示されます。
- もう一度 <(FUNC SET)> を押すと［★］が消え、解除されます。
- 別の画像も選ぶときは、上記の操作を繰り返します。



3 設定する

- <MENU> ボタンを押すと確認画面が表示されます。
- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して［OK］を選び、<(FUNC SET)> を押します。

- 手順 3 の操作をする前に、撮影モードに切り換えたり電源を切ったときは、お気に入りが設定されません。

- Windows 7 または Windows Vista をお使いのときは、お気に入り設定した画像をパソコンに取り込むと、評価が 3（★★★☆☆）に設定されます（動画を除く）。

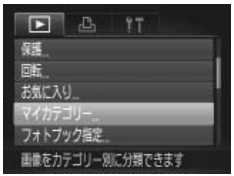
静止画　動画

画像を分類する（マイカテゴリー）

画像を種類別に分類できます。なお、撮影時には、シーンに応じて自動で分類されます。

：顔が検出された画像、または［］モードで撮影した画像
：<AUTO> モード時に［］［］［］と判別された画像
：［］［］モードで撮影した画像

指定方法を選ぶ



1 設定画面を表示する

- <MENU> ボタンを押して、［］タブの［マイカテゴリー］を選びます（📖38）。



2 指定方法を選ぶ

- 目的のメニュー項目を選び、目的の項目を選びます（📖38）。
- <MENU> ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

1 枚ずつ指定する

1 [画像指定] を選ぶ

- 130 の手順 2 の操作で [画像指定] を選び、<(FUNC SET)> を押します。

2 画像を選ぶ

- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して画像を選びます。



3 カテゴリーを選ぶ

- <▲> か <▼> を押してカテゴリーを選び、<(FUNC SET)> を押すと [✓] が表示されます。
- もう一度 <(FUNC SET)> を押すと [✓] が消え、解除されます。
- 別の画像も選ぶときは、上記の操作を繰り返します。



4 設定する

- <MENU> ボタンを押すと確認画面が表示され、<◀> か <▶> を押すか <◎> を回して [OK] を選び、<(FUNC SET)> を押します。

- 手順 4 の操作をする前に、撮影モードに切り換えたり電源を切ったときは、マイカテゴリーが設定されません。

範囲で指定する

1 ［範囲で指定］を選ぶ

- 130の手順2の操作で［範囲で指定］を選び、<(FUNC SET)>を押します。

2 画像を指定する

- 122の手順2～3の操作で指定します。



3 カテゴリーを選ぶ

- <▼>を押して種類の項目を選び、<◀>か<▶>を押すか<◎>を回してカテゴリーを選びます。

4 設定する

- <▼>を押して［設定］を選び、<(FUNC SET)>を押します。

- 手順4で［解除］を選ぶと、［範囲で指定］した画像のカテゴリーを、まとめて解除することができます。

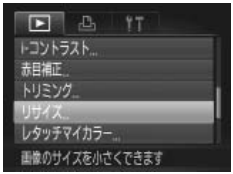
静止画を編集する

- 静止画の編集機能（🕮133 ～ 138）は、カードに空き容量がないと使えません。

静止画

画像を小さくする（リサイズ）

撮影した画像を小さな記録画素数にして、別画像として保存できます。



1 ［リサイズ］を選ぶ

- <MENU> ボタンを押して、［▶］タブの［リサイズ］を選びます（🕮38）。

2 画像を選ぶ

- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して画像を選び、<(FUNC SET)> を押します。



3 大きさを選ぶ

- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して大きさを選び、<(FUNC SET)> を押します。
- ▶［新規保存しますか ?］が表示されます。



4 新規保存する

- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して［OK］を選び、<(FUNC SET)> を押します。
- ▶別画像として保存されます。



5 画像を確認する

- <MENU> ボタンを押すと［保存した画像を表示します］が表示されます。
- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して［はい］を選び、<(FUNC SET)> を押します。

▶ 保存した画像が表示されます。

- 手順３で［XS］にした画像は、編集できません。

- 撮影した画像の記録画素数よりも大きくはできません。

静止画

画像を切り抜く（トリミング）

撮影した画像の必要な部分を切り抜き、別画像として保存できます。



1 ［トリミング］を選ぶ

- <MENU> ボタンを押して、［▶］タブの［トリミング］を選びます（📖38）。

2 画像を選ぶ

- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して画像を選び、<(FUNC SET)> を押します。





3 切り抜く範囲を調整する

- ▶ 画像を切り抜く範囲が枠で表示されます。
- ▶ 左上にもと画像、右下に切り抜き後の画像が表示されます。
- ● ズームレバーを動かすと枠の大きさが変えられます。
- ● <▲><▼><◀><▶> を押すと枠の位置が移動できます。
- ● <DISP.> ボタンを押すと枠の縦横が変えられます。
- ● 顔が検出された画像では、左上の画面の顔の位置に灰色の枠が表示されます。<◎> を回すと別の枠に切り換わり枠を中心にトリミングできます。
- ● <(FUNC SET)> を押します。

4 新規保存して画像を確認する

- ● 🕮133 ～ 134 の手順 4 ～ 5 の操作を行います。



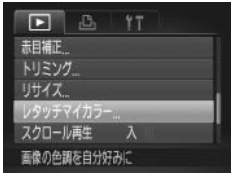
- ● 記録画素数が［S］の画像（🕮55）や、リサイズした［XS］の画像（🕮133）は、編集できません。

- ● トリミングできる画像の縦横比率は編集前と同じです。
- ● トリミングした画像の記録画素数は、トリミング前の画像より小さくなります。

静止画

画像の色調を変える（レタッチマイカラー）

画像の色調を変え、別画像として保存できます。各項目の内容は 86 を参照してください。



1 ［レタッチマイカラー］を選ぶ

- <MENU> ボタンを押して、［▶］タブの［レタッチマイカラー］を選びます（38）。

2 画像を選ぶ

- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して画像を選び、<(FUNC SET)> を押します。



3 項目を選ぶ

- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して項目を選び、<(FUNC SET)> を押します。

4 新規保存して画像を確認する

- 133 ～ 134 の手順 4 ～ 5 の操作を行います。

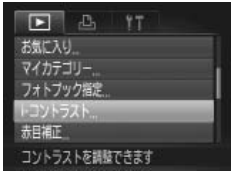
- 同じ画像に対して色調を繰り返し変えると、画質が徐々に低下したり、思いどおりの色にならないことがあります。

- 撮影時のマイカラー（86）と色調が若干異なることがあります。

静止画

明るさを補正する（i- コントラスト）

人の顔や背景など、一部が暗く撮影された画像は、その部分を検出し、最適な明るさに自動補正します。また、画像全体で明暗差が小さい画像は、くっきりした印象となるように自動補正します。補正方法は 4 種類から選べ、別画像として保存できます。



1 [i- コントラスト] を選ぶ

- <MENU> ボタンを押して、[▶] タブの [i- コントラスト] を選びます（📖38）。

2 画像を選ぶ

- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して画像を選び、<(FUNC SET)> を押します。



3 項目を選ぶ

- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して項目を選び、<(FUNC SET)> を押します。

4 新規保存して画像を確認する

- 📖133 ～ 134 の手順 4 ～ 5 の操作を行います。

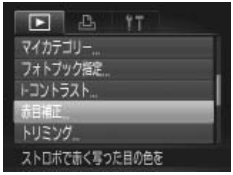
- 画像によっては、画像が粗くなったり、正しく補正されないことがあります。
- 同じ画像に対して補正を繰り返すと、画像が粗くなることがあります。

- [自動] で思いどおりに補正されないときは、[弱] [中] [強] のいずれかを選んで補正します。

静止画

赤目を補正する

目が赤く撮影されてしまった画像の赤目部分を自動的に補正して、別画像として保存できます。



1 ［赤目補正］を選ぶ

- <MENU> ボタンを押して、［▶］タブの［赤目補正］を選びます（📖38）。

2 画像を選ぶ

- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して画像を選びます。

3 補正する

- <(FUNC SET)> を押します。
- ▶ 検出された赤目部分が補正され、補正した部分に枠が表示されます。
- 📖117 の操作で画像を拡大／縮小できます。



4 新規保存して画像を確認する

- <▲><▼><◀><▶> を押すか <◎> を回して［新規保存］を選び、<(FUNC SET)> を押します。
- ▶ 別画像として保存されます。
- 📖134 の手順 5 の操作を行います。

- 画像によっては、正しく補正されないことがあります。
- 手順 4 で［上書き保存］を選んだときは、補正内容で上書きされるため、補正前の画像は残りません。
- 保護されている画像は上書き保存できません。

動画を編集する

撮影した動画の前後を削除できます。



動画編集パネル



動画編集バー

1 [✂] を選ぶ

- 📖110 ～ 111 の手順 1 ～ 5 の操作で [✂] を選び、<(FUNC SET)> を押します。
- ▶ 動画編集パネルと動画編集バーが表示されます。

2 編集範囲を指定する

- <▲> か <▼> を押して [✂前] または [✂後] を選びます。
- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して [▮] を動かすと、編集できるところで [✂] が表示されます。[✂前] を選ぶと [✂] 位置より前部、[✂後] を選ぶと後部が削除されます。
- [▮] を [✂] 以外の位置に指定しても、[✂前] では 1 つ左側の [✂] 位置よりも前部、[✂後] では 1 つ右側の [✂] 位置よりも後部が削除されます。

3 編集した動画を確認する

- <▲> か <▼> を押して [▶] を選び、<(FUNC SET)> を押すと、編集した動画が再生されます。
- もう一度編集するときは手順 2 の操作を行います。
- 編集を中止するときは、<▲> か <▼> を押して [↩] を選び <(FUNC SET)> を押したあと、<◀> か <▶> を押すか <◎> を回して [OK] を選び、もう一度 <(FUNC SET)> を押します。



4 編集した動画を保存する

- <▲> か <▼> を押して［］を選び、<(FUNC SET)> を押します。
- <▲><▼><◀><▶> を押すか <◎> を回して［新規保存］を選び、<(FUNC SET)> を押します。

▶ 別動画として保存されます。

- 手順 4 で［上書き保存］を選んだときは、編集内容が上書きされるため、編集前の動画は残りません。
- カードの空き容量が足りないときは、［上書き保存］しか選べません。
- 動画の保存中に電池がなくなると、保存できないことがあります。
- 編集するときは、残量が十分にある電池かフル充電された単 3 形ニッケル水素電池（別売）（157）または、AC アダプターキットと DC カプラー（別売）（157）を使うことをおすすめします。

7

設定メニュー

カメラの基本機能を変えて使いやすくする

カメラの基本機能を変える

メニューの［🔧］タブで設定します。ふだん使う上での便利な機能を自分好みに設定することができます（📖38）。

音を鳴らさない

カメラの各種動作音や動画再生時の音声を鳴らさないようにできます。



- ［消音］を選び、［する］を選びます。

- <DISP.> ボタンを押したまま電源を入れても、音を鳴らさないようにできます。
- 音を鳴らさないようにしたときは、動画を再生したとき（📖110）の音声も鳴らなくなります。動画再生中に <▲> を押すと音声が鳴り、<▲> か <▼> を押すと音量を調整できます。
- [📷] モード（📖76）では、音の設定は変えられません。

音量を変える

カメラの各種動作音の音量を変えられます。



- ［音量］を選び、<(FUNC SET)> を押します。
- 項目を選び、<◀> か <▶> を押して音量を変えます。

音を変える

カメラの各種動作音を変えられます。



- ［音の選択］を選び、<(FUNC SET)> を押します。
- 項目を選び、<◀> か <▶> を押して内容を選びます。

1	オリジナルの音が登録されています。音は変えられません。
2	オリジナルの音が登録されています。付属のソフトウェアを使って変えられます。

- [SCN] モード（🕮76）では、音の設定は変えられません。

機能の説明を表示しない

FUNC. メニュー（🕮37）やメニュー（🕮38）で項目を選ぶと、機能の説明が表示されます。この説明を表示しないようにすることができます。



- ［機能ガイド］を選び、［切］を選びます。

画面の明るさを変える

画面の明るさを変えられます。



- ［液晶の明るさ］を選び、<◀> か <▶> を押して明るさを変えます。

- 撮影画面や再生モードで 1 枚表示のときに <DISP.> を 1 秒以上押したままにすると、画面が最高の明るさになります（［T1］タブの［液晶の明るさ］設定は無効になります）。もう一度 <DISP.> を 1 秒以上押したままにするか、電源を入れなおすと、もとの明るさに戻ります。

起動画面を変える

電源を入れたときに表示される起動画面を変えられます。



- ［起動画面］を選び、<(FUNC SET)> を押します。
- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して内容を選びます。

OFF	起動画面は表示されません。
1	オリジナルの画像が登録されています。画像は変えられません。
2	オリジナルの画像が登録されています。撮影した画像を登録したり、付属のソフトウェアを使って変えることができます。

撮影した画像を起動画面にする



1 再生モードで［起動画面］画面を表示する

- <▶> ボタンを押します。
- 上記の手順で［2］を選び、<(FUNC SET)> を押します。



2 画像を選んで登録する

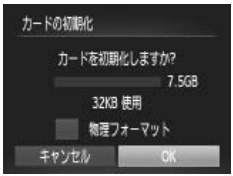
- 画像を選んで <(FUNC SET)> を押すと［登録しますか?］が表示されるので、<◀> か <▶> を押すか <◎> を回して［OK］を選び、<(FUNC SET)> を押します。

- 起動画面を登録すると、以前の登録内容は消えます。

- 付属のソフトウェアに用意されている専用の各種動作音や起動画面を、カメラに登録することができます。詳しくは「ソフトウェアの使用説明書」(🕮25) を参照してください。

カードを初期化する

新しく買ったカードや他のカメラやパソコンで初期化したカードは、このカメラで初期化（フォーマット）することをおすすめします。
初期化するとカード内のすべてのデータは消され、もとに戻すことはできません。カード内の画像をパソコンにコピーするなどしてから初期化をしてください。
また、Eye-Fi カード（179）では、初期化する前にカード内のソフトウェアをパソコンにインストールしてください。



1 ［カードの初期化］画面を表示する

- ［カードの初期化］を選び <(FUNC SET)> を押します。

2 ［OK］を選ぶ

- <▲> か <▼> を押して［キャンセル］を選んで <◀> か <▶> を押すか、<◎> を回して［OK］を選び、<(FUNC SET)> を押します。



3 初期化する

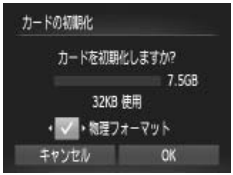
- <▲> か <▼> を押すか <◎> を回して［OK］を選び、<(FUNC SET)> を押すと初期化がはじまります。
- 初期化が終わると［カードの初期化が完了しました］が表示されるので、<(FUNC SET)> を押します。

- カード内のデータは、初期化や消去をしてもファイル管理情報が変わるだけで、完全には消えません。カードを譲渡や廃棄するときは注意してください。廃棄するときはカードを破壊するなどして、個人情報の流出を防いでください。

- 初期化の画面で表示されるカードの総容量は、カードに表記されている容量よりも少なくなることがあります。

カードを物理フォーマット（初期化）する

［カードが異常です］のメッセージが表示されたとき、カメラが正しく動作しない、カードへの画像記録／再生時の読み出しや連続撮影速度が遅くなった、動画撮影が途中で止まるなどのときに行います。物理フォーマットをすると、カード内のすべてのデータは消され、もとに戻すことはできません。カード内の画像をパソコンにコピーするなどしてから物理フォーマットをしてください。



物理フォーマットする

- 146の手順2の画面で、<▲>か<▼>を押すか<◎>を回して［物理フォーマット］を選び、<◀>か<▶>を押して［✓］を表示します。
- 146の手順2～3の操作で、初期化（物理フォーマット）します。

- 物理フォーマットはカード内の全記憶領域を初期化するため、「カードを初期化する」（146）よりも時間がかかります。
- 物理フォーマット中に［中止］を選ぶと、初期化を中止できます。中止してもデータはすべて消去されますが、カードは問題なく使えます。

画像番号のつけかたを変える

撮影した画像には、撮影した順に 0001 ～ 9999 の番号がつけられ、1 つのフォルダに 2000 枚ずつ保存されます。この画像番号のつけかたを変えることができます。



- ［画像番号］を選び、内容を選びます。

通し番号	画像番号 9999 の画像が撮影／保存されるまでは、カードを変えて撮影しても連番になります。
オートリセット	カードを変えたり、フォルダが新しく作られたときは、画像番号が 0001 に戻ります。

- ［通し番号］［オートリセット］とも、変えるカードに画像が入っているときは、その画像番号の続き番号になることがあります。画像番号 0001 の画像から順に保存したいときは、初期化（📖146）したカードをお使いください。
- フォルダ構造や保存される画像については、「ソフトウェアの使用説明書」（📖25）を参照してください。

フォルダを撮影日ごとに作る

撮影した画像を保存するフォルダは月ごとに作成されますが、撮影日ごとに作成することもできます。



- ［フォルダ作成］を選び、［毎日］を選びます。
- ▶ 撮影日ごとに新しいフォルダが作られ、撮影した画像が保存されます。

レンズ収納時間を変える

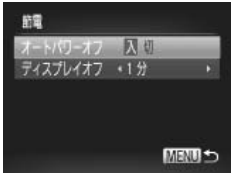
撮影状態から <▶> ボタンを押して約 1 分経過すると、安全のためレンズが収納されます（🕮34）。<▶> ボタンを押すとすぐにレンズが収納されるようにしたいときは、収納時間を［0 秒］に設定します。



- ［レンズ収納時間］を選び、［0 秒］を選びます。

節電機能（オートパワーオフ）の設定を変える

節電機能（オートパワーオフ）を切ったり、画面が消えるまでの時間（ディスプレイオフ）を変えたりできます（🕮34）。



1 ［節電］画面を表示する

- ［節電］を選び <(FUNC/SET)> を押します。

2 設定する

- 項目を選んだあと、<◀> か <▶> を押して設定を変えます。

- 電池の消耗を防ぐため、通常は、［オートパワーオフ］を［入］にし、［ディスプレイオフ］を［1 分］以下にすることをおすすめします。

- ［ディスプレイオフ］は、［オートパワーオフ］が［切］のときも働きます。

世界時計を使う

海外へ旅行するときなど、あらかじめ訪問先（旅行先）のエリアを登録しておくと、エリアを切り換えるだけで、登録したエリアの日時で記録できます。日付／時刻を設定しなおす必要がなく便利です。
なお、世界時計を使うには、あらかじめ「日付／時刻を設定する」（🕮17）で日付／時刻と自宅エリアを設定してください。



1 訪問先のエリアを設定する

- [エリア設定] を選び、<FUNC SET> を押します。
- <▲> か <▼> を押すか <◎> を回して [訪問先] を選び、<FUNC SET> を押します。
- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して訪問先エリアを選びます。
- <▲> か <▼> を押して [☀] にすると、サマータイム（1 時間プラスされます）に設定されます。
- <FUNC SET> を押します。



2 訪問先のエリアに切り換える

- <▲> か <▼> を押すか <◎> を回して [訪問先] を選び、<MENU> ボタンを押します。

▶撮影画面（「画面の表示内容一覧」（🕮188））に [訪問先] が表示されます。

- [訪問先] の状態で日付／時刻を変える（🕮17）と、[自宅] の日時も自動的に変わります。

日付／時刻を変える

日付／時刻を、現在の設定から変えられます。



1 [日付 / 時刻] 画面を表示する

- [日付 / 時刻] を選び <(FUNC SET)> を押します。

2 設定する

- <◀> か <▶> を押して項目を選び、<▲> か <▼> を押すか <◎> を回して設定します。

距離表示の単位を変える

MF インジケーター（🕮91）、ズームバー（🕮42）などの表示単位を、m/cm から ft/in（フィート／インチ）に変えることができます。



- [単位] を選び、[ft/in] を選びます。

認証マークを確認する

このカメラが対応している認証マークの一部は、画面に表示して確認できます。また、その他の認証マークは、本ガイドやカメラ本体、カメラが入っていた箱にも表記されています。



- [認証マーク表示] を選び、<(FUNC SET)> を押します。

表示言語を変える

画面に表示される言語を変えられます。



1 言語画面を表示する

- [言語] を選び <(FUNC SET)> を押します。

2 設定する

- <▲><▼><◀><▶> を押すか <◎> を回して言語を選び、<(FUNC SET)> を押します。

- 再生モードにして、<(FUNC SET)> を押したまま、すぐに <MENU> ボタンを押すことでも言語画面を表示できます。

その他の基本機能を変える

次の機能も [🔧] タブで設定できます。

- [ビデオ出力方式] (📖163)
- [HDMI 機器制御] (📖161)
- [Eye-Fi 設定] (📖179)

カメラの設定を初期状態に戻す

カメラの設定を誤って変えてしまったときは、初期状態に戻せます。



1 [カメラ設定初期化] 画面を表示する

- [カメラ設定初期化] を選び、<(FUNC SET)> を押します。

2 初期状態に戻す

- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して [OK] を選び、<(FUNC SET)> を押します。
- ▶ カメラが初期状態に戻ります。

- 次の機能は初期状態に戻りません。
  - [🔧] タブの［日付 / 時刻］(🕮17)、［言語］(🕮19)、［起動画面］に登録した画像 (🕮144)、［エリア設定］(🕮150)、［ビデオ出力方式］(🕮163)
  - マニュアルホワイトバランスで記憶した白データ (🕮85)
  - <**SCN**> (🕮67)、< > (🕮71) モードで設定した撮影モード
  - 動画モード (🕮77)

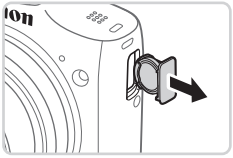
8

アクセサリー

付属のアクセサリーを上手に使ったり、別売アクセサリーや市販の対応機器を使って楽しみかたを広げる

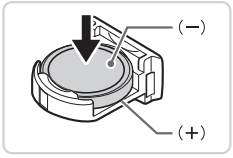
日付／時刻用電池を交換する

日付／時刻用電池（バックアップ電池）の電池寿命は約３年です。電源を入れるたびに、日付／時刻の設定画面が表示されるようになったら、新しい電池（CR1220）に交換します。



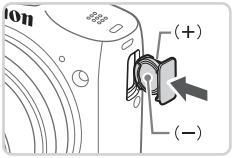
1 カメラの電源を切る

2 電池ホルダーを取り出す



3 電池を入れ換える

- (+) と (−) を正しくあわせて入れます。



4 電池ホルダーを入れる

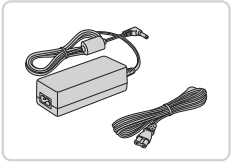
5 電池を入れて、ふたを閉める

6 カメラの電源を入れて、日付／時刻を設定する（📖17）

別売アクセサリー

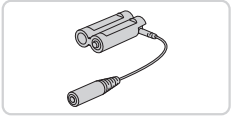
必要に応じてお買い求めの上、ご利用ください。なお、アクセサリーは、諸事情により予告なく販売を終了することがあります。また、地域によってはお取り扱いがないことがあります。

電源



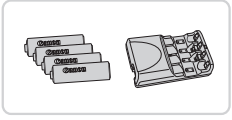
AC アダプターキット ACK800

- 家庭用電源でカメラを使えます。カメラを長時間連続して使うときや、プリンターやパソコンとつなぐときには、この AC アダプターキットをお使いになることをおすすめします（カメラ内の電池は充電できません）。カメラにつなぐには、DC カプラー DR-DC10 が必要です。



DC カプラー DR-DC10

- AC アダプターキットを使うためのカプラーです。



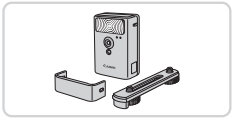
バッテリー／チャージャーキット CBK4-300

- 単３形ニッケル水素電池 NB-3AH(４本)とバッテリーチャージャー CB-5AH のセットです。長時間カメラをお使いになるときにおすすめします。

- 電池だけの「ニッケル水素電池 NB4-300」も用意されています。
- バッテリー／チャージャーキット CBK4-200 もお使いになれます。

- バッテリー／チャージャーキットや AC アダプターキットは、AC 100 - 240 V 50/60 Hz の地域で使えます。
- プラグの形状があわないときは、市販の電源プラグ変換アダプターを使ってください。なお、海外旅行用の電子式変圧器は故障の原因になりますので絶対に使わないでください。

ストロボ



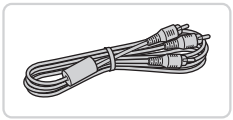
ハイパワーフラッシュ HF-DC2

- 被写体が遠すぎて内蔵ストロボの光が届かないときに使う外付けストロボです。なお、HF-DC1 もお使いになれます。

その他

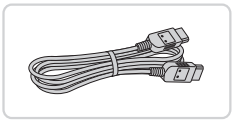
ソフトケース PSC-2460

- カメラをキズやホコリから守ります。



ステレオ AV ケーブル AVC-DC400ST

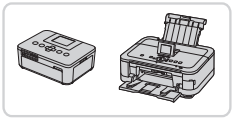
- 撮影した画像をテレビに表示して楽しめます。



HDMI ケーブル HTC-100

- カメラと HD（ハイビジョン）対応テレビの HDMI 端子をつなぐケーブルです。

プリンター



キヤノン製 PictBridge 対応プリンター

- キヤノン製のPictBridge対応プリンターをつなぐと、パソコンを使わずに、撮影した画像を印刷できます。
  製品の詳細については、ホームページやカタログでご確認いただくか、お客様相談センターへお問いあわせください。

別売アクセサリーの使いかた

静止画 動画

テレビで見る

カメラとテレビをつなぐと、撮影した画像をテレビで見ることができます。なお、お使いになるテレビとのつなぎかたや入力の切り換えかたについては、テレビの使用説明書を参照してください。

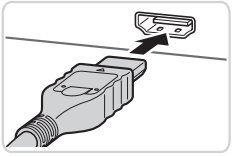
- テレビに表示しているときは、一部の情報が表示されないことがあります（🕮190）。

静止画 動画

HD（ハイビジョン）対応テレビで見る

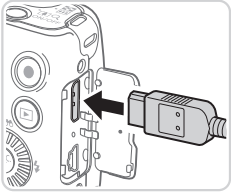
HDMI ケーブル HTC-100（別売）でカメラと HD 対応テレビをつないでカメラを操作すると、撮影した画像をテレビで見ることができます。また、［1280］で撮影した動画は HD（ハイビジョン）画質で見ることができます。

1 カメラとテレビの電源を切る



2 カメラとテレビをつなぐ

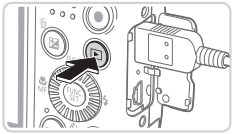
- ケーブルのプラグを、図のようにテレビの HDMI 入力端子へしっかりと差し込みます。



- ふたを開き、ケーブルのプラグをカメラの端子へしっかりと差し込みます。

3 テレビの電源を入れて、外部入力に切り換える

- テレビの入力を、手順 2 の操作でつないだ外部入力に切り換えます。



4 カメラの電源を入れる

- <▶> ボタンを押して電源を入れます。
- ▶ 画像がテレビに表示されます（カメラの画面には何も表示されません）。
- 見終わったらカメラとテレビの電源を切ってから、ケーブルを抜きます。

- HD 対応テレビにつないだときは、操作音は鳴りません。

静止画 動画

テレビのリモコンで操作する

HDMI 機器制御機能（HDMI CEC）対応のテレビとカメラをつなぐと、テレビのリモコンで画像の切り換えや、スライドショーなどの操作ができます。
テレビによっては、テレビ側の設定が必要です。詳しくは、テレビの使用説明書を参照してください。



1 設定する

- <MENU> ボタンを押して、[ ] タブの [HDMI 機器制御] を選び、[入] を選びます（📖38）。

2 テレビとカメラをつなぐ

- 📖159 の手順 1 ～ 2 の操作でテレビとカメラをつなぎます。

3 画像を表示する

- テレビの電源を入れ、カメラの <▶> ボタンを押します。
- ▶ 画像がテレビに表示されます（カメラの画面には何も表示されません）。

4 テレビのリモコンで操作する

- リモコンの <◀> か <▶> で画像を選びます。
- 決定ボタンを押すとテレビに操作パネルが表示されます。<◀> か <▶> で項目を選び、もう一度決定ボタンを押します。

テレビに表示される操作パネル一覧

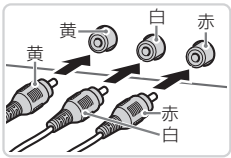
⮌	戻る	メニューが消えます。
▶	動画再生	動画を再生します（動画を選んでいるときのみ表示）。
	スライドショー	画像を自動的に再生します。再生中にリモコンの <◀> か <▶> を押すと画像を切り換えられます。
	インデックス表示	画像を一覧で表示します。
DISP.	情報表示切り換え	画面の表示を切り換えます（🕮36）。

- カメラの <**MENU**> ボタンを押すなど、カメラを操作して表示を変えたときは、テレビのリモコンでの操作ができなくなります。カメラで 1 枚表示に戻してからリモコンで操作してください。
- ズームレバーを操作して表示を変えたときは、テレビのリモコンでの操作ができなくなります。カメラで 1 枚表示に戻してからリモコンで操作してください。
- HDMI 機器制御機能（HDMI CEC）に対応したテレビであっても、正しく動作しないことがあります。

静止画 **動画**

HD（ハイビジョン）非対応テレビで見る

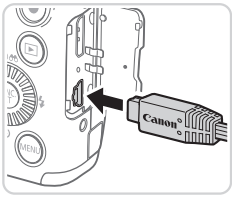
ステレオ AV ケーブル AVC-DC400ST（別売）でカメラとテレビをつないで、カメラを操作すると、撮影した画像をテレビで見ることができます。



1 カメラとテレビの電源を切る

2 カメラとテレビをつなぐ

- ケーブルのプラグを、図のようにテレビの外部入力端子へしっかりと差し込みます。



● ふたを開き、ケーブルのプラグをカメラの端子にしっかりと差し込みます。

3 画像を表示する

● 🕮160 の手順 3 ～ 4 の操作で画像を表示します。

● 出力方式（NTSC/PAL）があわないと、画像が正しく表示されません。<**MENU**> ボタンを押して、[🔧] タブの［ビデオ出力方式］で出力方式を変えてください（日本国内の出力方式は、「NTSC」です）。

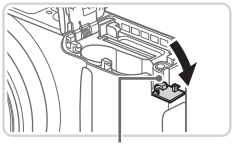
● カメラとテレビをつなぐと、カメラの画面表示をテレビに表示して撮影できます。撮影操作は、カメラの画面を使ったときと同じです。ただし、ピント位置拡大（🕮60）と MF 拡大表示（🕮90）はできません。

静止画 動画

家庭用電源でカメラを使う

AC アダプターキット ACK800（別売）と DC カプラー DR-DC10（別売）を使うと、電池の残量を気にせずにカメラを使うことができます。

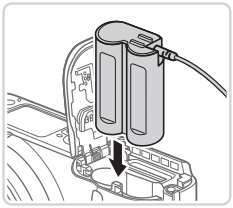
1 カメラの電源を切る



通し部

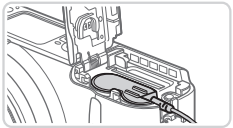
2 ふたを開ける

- 🕮15 の手順 2 の操作でカード／電池収納部のふたを開きます。
- 図のように通し部のふたを開けます。

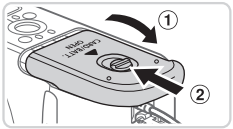


3 カプラーを入れる

- カプラーを図の向きに入れます。

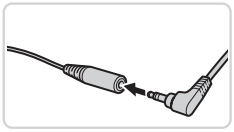


- カプラーのケーブルを通し部に通します。



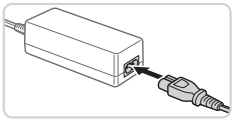
4 ふたを閉める

- ふたを①の方向へたおして押さえたまま、②の方向へ「カチッ」と音がするまで動かして閉めます。



5 電源コードを取り付ける

- カプラーのケーブルの端子にアダプターのプラグを差し込みます。



- 電源コードをアダプターに差し込み、プラグをコンセントに差し込みます。
- カメラの電源を入れると、カメラが使えます。
- 使い終わったら、カメラの電源を切ってからプラグをコンセントから抜いてください。

- カメラの電源を入れたまま、プラグや電源コードを抜かないでください。撮影した画像が消えたり、カメラが故障することがあります。
- 故障の原因となるためアダプターやコードを固定して使わないでください。

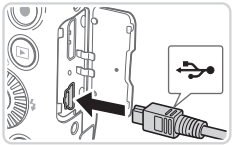
印刷する

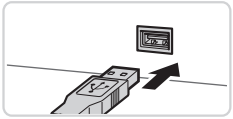
撮影した画像は、カメラとプリンターをつないで印刷することができます。また、カメラで画像を指定しておき、一括印刷、写真店への印刷注文、フォトブックの注文や印刷をすることができます。
なお、ここでは、キヤノン製コンパクトフォトプリンター SELPHY CP シリーズを使って説明しています。プリンターによっては表示される画面やできることが異なります。プリンターの使用説明書もあわせて参照してください。

静止画

かんたん印刷

撮影した画像は、カメラと PictBridge（ピクトブリッジ）対応プリンター（別売）を付属のインターフェースケーブル（🕮2）でつないで、かんたんに印刷できます。





1 カメラとプリンターの電源を切る

2 カメラとプリンターをつなぐ

- ふたを開き、ケーブルの小さい方のプラグを図の向きにして、カメラの端子にしっかりと差し込みます。
- ケーブルの大きい方のプラグをプリンターに差し込みます。プリンターとのつなぎかたについては、プリンターの使用説明書を参照してください。

3 プリンターの電源を入れる



4 カメラの電源を入れる

- <▶> ボタンを押して電源を入れます。



▶ [SET] が表示されます。

5 画像を選ぶ

- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して画像を選びます。

6 印刷画面を表示する

- <(FUNC SET)> を押します。



7 印刷する

- <▲> か <▼> を押すか <◎> を回して［印刷］を選び、<(FUNC SET)> を押します。
- ▶ 印刷がはじまります。
- 別の画像を印刷するときは、印刷が終わったあと、手順５～６の操作を繰り返します。
- 印刷が終わったらカメラとプリンターの電源を切り、ケーブルを抜きます。



- キヤノン製 PictBridge 対応プリンター（別売）については、📖158 を参照してください。

静止画

印刷設定をする



1 印刷画面を表示する

- 166 ～ 167 の手順 1 ～ 6 の操作で左の画面を表示します。

2 設定する

- <▲> か <▼> を押すか <◎> を回して項目を選び、<◀> か <▶> を押して内容を選びます。

	標準設定	プリンターの設定にしたがいます。
	日付	日付を入れて印刷します。
	画像番号	画像番号を入れて印刷します。
	両方	日付と画像番号の両方を印刷します。
	切	–
	標準設定	プリンターの設定にしたがいます。
	切	–
	入	撮影時の情報を使って最適な設定で印刷します。
	赤目 1	赤く写った目を補正します。
	印刷枚数	印刷枚数を指定します。
トリミング	–	印刷する範囲を指定します（169）。
用紙設定	–	用紙サイズやレイアウトなどを指定します（170）。

静止画

画像を切り抜いて印刷する（トリミング）

画像の一部分を切り抜いて印刷することができます。



1 ［トリミング］を選ぶ

- 📖168 の手順 1 の操作で印刷画面を表示したあと、［トリミング］を選び、<FUNC.SET> を押します。
- ▶ 切り抜く範囲を示す枠が表示されます。



2 切り抜く範囲を指定する

- ズームレバーを動かすか <◎> を回して枠の大きさを変えます。
- <▲><▼><◀><▶> を押して枠の位置を変えます。
- <DISP.> ボタンを押すと枠が回転します。
- <FUNC.SET> を押して設定します。

3 印刷する

- 📖167 の手順 7 の操作で印刷します。

- 画像が小さすぎたり、縦横比によっては、トリミングできないことがあります。
- カメラで［日付写し込み］の指定をして撮影した画像をトリミングすると、日付が正しく印刷されないことがあります。

静止画

用紙サイズやレイアウトを選んで印刷する



1 ［用紙設定］を選ぶ

- 🕮168の手順1の操作で印刷画面を表示したあと、［用紙設定］を選び、<(FUNC SET)>を押します。



2 用紙サイズを選ぶ

- <▲>か<▼>を押すか<◎>を回して内容を選び、<(FUNC SET)>を押します。



3 用紙タイプを選ぶ

- <▲>か<▼>を押すか<◎>を回して内容を選び、<(FUNC SET)>を押します。



4 レイアウトを選ぶ

- <▲>か<▼>を押すか<◎>を回して内容を選びます。
- ［複数画像］を選んだときは、<◀>か<▶>を押して印刷枚数を選びます。
- <(FUNC SET)>を押します。

5 印刷する

レイアウトで設定できる項目

標準設定	プリンターの設定にしたがいます。
フチあり	フチをつけて印刷します。
フチなし	フチなしで印刷します。
複数画像	1 枚の用紙に印刷する画像の枚数を選びます。
ID フォト	証明写真用の画像を印刷します。 記録画素数が L で、縦横比が 4:3 の画像にのみ指定できます。
固定サイズ	印刷する大きさを指定します。 L 判、はがき、ワイドサイズでのみ指定できます。

静止画

証明写真を印刷する

1 [ID フォト] を選ぶ

- 📖170 の手順 1 ～ 4 の操作で [ID フォト] を選び、<(FUNC SET)> を押します。



2 長辺と短辺の長さを選ぶ

- <▲> か <▼> を押すか <◎> を回して項目を選んだあと、<◀> か <▶> を押して長さを選び、<(FUNC SET)> を押します。



3 印刷する範囲を選ぶ

- 📖169 の手順 2 の操作で印刷する範囲を選びます。

4 印刷する

動画

動画を印刷する



1 印刷画面を表示する

- 📖166 ～ 167 の手順 1 ～ 5 の操作で動画を選んだあと、<(FUNC SET)> を押します。
- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して［🖨］を選んだあと、<(FUNC SET)> を押して左の画面を表示します。

2 印刷方法を選ぶ

- <▲> か <▼> を押すか <◎> を回して［🖨］を選び、<◀> か <▶> を押して印刷方法を選びます。

3 印刷する

動画の印刷方法

1 コマ	表示されているシーンを静止画として印刷します。
連続コマ	動画から一定の間隔で抜き出したシーンを、1 枚の用紙に並べて印刷します。［キャプション］を［入］にすると、フォルダ番号、画像番号、コマの経過時間を同時に印刷できます。

- 印刷中に <(FUNC SET)> を押すと、印刷を中止します。
- CP720 ／ CP730 以前のキヤノン PictBridge 対応プリンターでは、［ID フォト］や［連続コマ］は指定できません。

静止画

印刷指定（DPOF）

カード内の画像から印刷したい画像や印刷枚数などを指定して、一括印刷（🕮176）や写真店への印刷注文をすることができます（最大 998 画像）。なお、この指定方法は、DPOF（Digital Print Order Format）規格に準拠しています。

静止画

印刷内容を指定する

印刷タイプや日付、画像番号といった印刷内容を設定できます。この設定は、印刷指定したすべての画像に共通して適用されます。



- <MENU> ボタンを押して、[🖶] タブの［印刷の設定］を選んだあと、項目を選び、設定します（🕮38）。

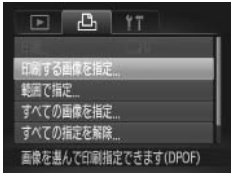
印刷タイプ	スタンダード	1 枚の用紙に 1 枚の画像を印刷
	インデックス	1 枚の用紙に縮小画像を複数印刷
	両方	スタンダードとインデックスの両方を印刷
日付	入	撮影日を入れて印刷
	切	–
画像番号	入	画像番号を入れて印刷
	切	–
印刷後指定解除	入	印刷後、画像の印刷指定をすべて解除
	切	–

- プリンターまたは写真店によっては、設定した内容が反映されないことがあります。
- 他のカメラで設定したカードをこのカメラに入れると、[❗] が表示されることがあります。このカメラで設定を変えると、設定済みの内容がすべて書き換えられることがあります。
- [日付] を [入] に設定すると、お使いのプリンターによっては、日付が重複して印刷されることがあります。

- [インデックス] に設定したときは、[日付] と [画像番号] の両方を [入] にはできません。
- 日付の並びは、<**MENU**> ボタンを押して [🔧] タブの [日付 / 時刻] の設定内容で印刷されます (🕮17)。
- 一部のキヤノン製 PictBridge 対応プリンター (別売) では、インデックス印刷ができないことがあります。

静止画

1 枚ずつ枚数を指定する



1 [印刷する画像を指定] を選ぶ

- <**MENU**> ボタンを押して、[🖨] タブの [印刷する画像を指定] を選び、<(FUNC SET)> を押します。

2 画像を選ぶ

- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して画像を選び、<(FUNC SET)> を押します。
- ▶ 枚数指定ができるようになります。
- [インデックス] では、指定されると [✓] が表示され、もう一度 <(FUNC SET)> を押すと解除されて [✓] が消えます。



3 枚数を設定する

- <▲> か <▼> を押すか <◎> を回して枚数を指定します（最大 99 枚）。
- 手順 2 ～ 3 の操作を繰り返して、画像と枚数を指定します。
- ［インデックス］では枚数の指定ができません。手順 2 の操作で画像のみを選んでください。
- <MENU> ボタンを押すと設定され、メニュー画面に戻ります。

静止画

範囲で指定する



1 ［範囲で指定］を選ぶ

- 📖174 の手順 1 の操作で［範囲で指定］を選び、<(FUNC SET)> を押します。

2 画像を指定する

- 📖122 の手順 2 ～ 3 の操作で指定します。

3 印刷指定する

- <▲> か <▼> を押して［画像指定］を選び、<(FUNC SET)> を押します。

静止画

すべての画像を指定する



1 ［すべての画像を指定］を選ぶ

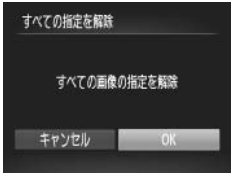
- 📖174 の手順 1 の操作で［すべての画像を指定］を選び、<(FUNC SET)> を押します。

2 印刷指定する

- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して［OK］を選び、<(FUNC SET)> を押します。

静止画

すべての指定を解除する



1 ［すべての指定を解除］を選ぶ

- 📖174 の手順 1 の操作で［すべての指定を解除］を選び、<(FUNC SET)> を押します。

2 指定を解除する

- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して［OK］を選び、<(FUNC SET)> を押します。

静止画

印刷指定（DPOF）した画像を印刷する



- 印刷指定した画像（📖173 ～ 175）があるときは、カメラと PictBridge 対応プリンターをつなぐと左の画面が表示されます。<▲> か <▼> を押して［すぐに印刷］を選び、<(FUNC SET)> を押すと、印刷指定した画像をかんたんに印刷できます。
- 印刷を中断して再開したときは、続きの画像から印刷されます。

静止画

フォトブック指定

カード内の画像からフォトブックに使いたい画像を指定（最大 998 画像）し、付属のソフトウェアを使ってパソコンに取り込むと、指定した画像が専用のフォルダにコピーされて、インターネットでのフォトブック注文や、お使いのプリンターでの印刷をするときに便利です。

指定方法を選ぶ



- <MENU> ボタンを押して、[▶] タブの［フォトブック指定］を選んだあと、指定方法を選びます。

- 他のカメラで設定したカードをこのカメラに入れると、[❗] が表示されることがあります。このカメラで設定を変えると、設定済みの内容がすべて書き換えられることがあります。

- パソコンに取り込んだあとは「ソフトウェアの使用説明書」（📖25）やお使いのプリンターの使用説明書もあわせて参照してください。

静止画

1枚ずつ指定する



1 ［画像指定］を選ぶ

- 上記の操作で［画像指定］を選び、<FUNC SET> を押します。



2 画像を選ぶ

- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して画像を選び、<(FUNC SET)> を押します。
- ▶［✓］が表示されます。
- もう一度 <(FUNC SET)> を押すと解除され、［✓］が消えます。
- 別の画像も指定するときは、上記の操作を繰り返します。
- <**MENU**> ボタンを押すと設定され、メニュー画面に戻ります。

静止画

すべての画像を指定する



1 ［すべての画像を指定］を選ぶ

- 📖177 の操作で［すべての画像を指定］を選び、<(FUNC SET)> を押します。

2 印刷指定する

- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して［OK］を選び、<(FUNC SET)> を押します。

静止画

すべての指定を解除する



1 ［すべての指定を解除］を選ぶ

- 📖177 の操作で［すべての指定を解除］を選び、<(FUNC SET)> を押します。

2 指定を解除する

- <◀> か <▶> を押すか <◎> を回して［OK］を選び、<(FUNC SET)> を押します。

Eye-Fi カードを使う

Eye-Fi カードを使うときは、その国や地域で使用が認められているか、必ず事前にご確認ください（🕮2）。

セットアップした Eye-Fi カードをカメラに入れると、撮影した画像をワイヤレスでパソコンに自動転送したり、オンライン上のサービスにアップロードしたりできます。
画像の転送は Eye-Fi カードの機能です。カードのセットアップ方法、使用方法、転送時の不具合などについては、カードの使用説明書を参照するかカードメーカーにお問いあわせください。

- Eye-Fi カードの使用中は、次のことに注意してください。
  - ［Eye-Fi 通信］を［しない］に設定（🕮180）しても、電波が発信されることがあります。病院や航空機内など電波の発信が禁止されている場所では、事前に Eye-Fi カードを取り出しておいてください。
  - 画像が転送できないときは、カードやパソコンの設定を確認してください。詳しくはカードの使用説明書を参照してください。
  - Eye-Fi 通信の接続状態によっては、画像の転送に時間がかかったり、転送が中断したりすることがあります。
  - Eye-Fi カードは、通信機能があるため、熱くなることがあります。
  - 電池の消耗が早くなります。
  - カメラの動作が遅くなります。［Eye-Fi 通信］を［しない］に設定すると解決することがあります。

Eye-Fi カードをカメラに入れると、撮影画面（情報表示時）や再生画面（簡易情報表示時）で通信状態を確認できます。

（灰色点灯）	未接続		中断	
（白点滅）	接続中		通信中止	
（白点灯）	転送待機		Eye-Fi カード 情報取得エラー*2	
（アニメーション）	転送中*1			

*1 画像の転送中は、節電機能が働きません（🕮34）。
*2 電源を入れなおしてください。繰り返し表示されるときは、カードの異常が考えられます。

転送された画像には、［ ］が表示されます。

通信情報を確認する

接続先 SSID や通信状態を確認できます。



- <MENU> ボタンを押して、[🔧] タブの [Eye-Fi 設定] を選び、<(FUNC SET)> を押します。
- [通信情報一覧] を選び、<(FUNC SET)> を押します。

▶ 通信情報一覧が表示されます。

Eye-Fi 通信をしない

Eye-Fi 通信をしない設定にできます。



[Eye-Fi 通信] で [しない] を選ぶ

- <MENU> ボタンを押して、[🔧] タブの [Eye-Fi 設定] を選び、<(FUNC SET)> を押します。
- [Eye-Fi 通信] を選び、[しない] を選びます。

- Eye-Fi カードを入れていないときや、ライトプロテクトスイッチがある Eye-Fi カードのスイッチを「LOCK」側にして入れているときは、[Eye-Fi 設定] が表示されません。そのため、ライトプロテクトスイッチがある Eye-Fi カードのスイッチを「LOCK」側にして入れているときは、設定を変えることができませんので注意してください。

9

付録

カメラを使うときに役立つ情報

故障かな？と思ったら

「カメラが故障したのかな？」と考える前に、次の例を参考に確認してください。ただし、問題が解決しないときは、別紙の修理受付センターへご相談ください。

電源

電源ボタンを押してもカメラが動作しない

- 指定の新しい電池を入れてください（📖15、16）。
- 電池が正しい向きで入っているか確認してください（📖15）。
- カード／電池収納部ふたが閉じているか確認してください（📖16）。
- 電池の電極が汚れていると電池性能が低下します。綿棒などで電極を拭き、電池を数回入れなおしてください。

電池の消耗が早い

- 低温下では電池性能が低下します。電極が金属と接触しないようにして、ポケットなどで電池を温めてからお使いください。

レンズが出たままで収納されない

- 電源を入れたまま、カード／電池収納部ふたを開けないでください。ふたを閉じたあと、電源を入れてからもう一度切ってください（📖16）。

テレビ表示

テレビに表示できない／画面が乱れる（📖163）

撮影

撮影できない

- 再生モードのとき（📖 19）は、シャッターボタンを半押ししてください（📖 35）。

暗い場所での画面表示がおかしい（📖36）

撮影中の画面表示がおかしい

次のときは、静止画には記録されませんが、動画には記録されます。注意してください。

- カメラに強い光があたると、表示が黒くなることがあります。
- 蛍光灯やLEDなどの照明下で撮影すると、画面がちらつくことがあります。
- 明るい光源を撮影すると、画面に赤紫色の帯が表示されることがあります。

画像に日付が写し込まれない

- ［日付 / 時刻］の設定（📖17）だけでは写し込まれませんので、［日付写し込み］を設定してください（📖52）。
- ［日付写し込み］が設定（📖52）できない撮影モード（📖198 ～ 199）では、写し込みはされません。

シャッターボタンを押したら、［ストロボ充電中です］が表示されて撮影できない（📖45）

シャッターボタンを半押ししたときに、［🤳］が表示される（📖45）

- ［手ブレ補正］を［入］にしてください（📖101）。
- ストロボを上げて、ストロボモードを［ϟ］にしてください（📖98）。
- ISO 感度を高くしてください（📖82）。
- 三脚などでカメラを固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときは、［手ブレ補正］を［切］にして撮影することをおすすめします（📖101）。

画像がボケて撮影される

- シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてから、撮影してください（📖35）。
- 撮影距離範囲内に被写体をおさめて撮影してください（📖205）。
- ［AF 補助光］を［入］にしてください（📖62）。
- 意図しない機能（マクロ撮影など）が設定されていないか確認してください。
- フォーカスロック、AF ロックで撮影してください（📖93、97）。

シャッターボタンを半押ししても、AF フレームが表示されずピントが合わない

- 被写体の明暗差がある部分を画面中央にしてシャッターボタンを半押しするか、半押しを何度か繰り返すと AF フレームが表示され、ピントが合うことがあります。

被写体が暗すぎる

- ストロボを上げて、ストロボモードを［ϟ］にしてください（📖98）。
- 露出補正で明るさを補正してください（📖81）。
- i- コントラストで補正してください（📖83、137）。
- AE ロックまたはスポット測光で撮影してください（📖81、82）。

被写体が明るすぎる（白トビする）

- ストロボを下げて、ストロボモードを［⊘］にしてください（📖43）。
- 露出補正で明るさを補正してください（📖81）。
- AE ロックまたはスポット測光で撮影してください（📖81、82）。
- 被写体にあたっている照明を弱めてください。

ストロボが光ったのに暗い画像になる（📖45）

- ストロボ撮影に適した距離で撮影してください（📖205）。
- 調光補正量や発光量で明るさを補正してください（📖99、107）。
- ISO 感度を高くしてください（📖82）。

ストロボ撮影した画像の被写体が明るすぎる（白トビする）

- ストロボ撮影に適した距離で撮影してください（📖205）。
- ストロボを下げて、ストロボモードを［⊘］にしてください（📖43）。
- 調光補正量や発光量で明るさを補正してしてください（📖99、107）。

ストロボ撮影時、画像に白い点などが写る

- 空気中のちりなどにストロボ光が反射しました。

画像が粗い感じになる

- ISO 感度を低くして撮影してください（🕮82）。

目が赤く写る（🕮56）

- ［赤目緩和ランプ］を［入］に設定してください（🕮62）。ストロボ撮影のときは、ランプ（前面）（🕮4）が点灯して、約 1 秒間は赤目現象を緩和するため撮影できません。また、写される人がランプを見ているときに効果があります。「室内を明るくする」、「写したい人に近づく」と効果が上がります。
- 赤目補正で補正してください（🕮138）。

カードへの画像の記録時間が長い、または連続撮影速度が遅くなった

- カードをこのカメラで物理フォーマットしてください（🕮147）。

撮影機能や FUNC. メニューの設定ができない

- 設定できる項目は撮影モードによって変わります。「撮影機能一覧」、「FUNC. メニュー一覧」、「撮影タブメニュー 一覧」（🕮192 ～ 196）で確認してください。

動画撮影

正しい撮影時間が表示されない、または中断される

- カードをこのカメラで初期化するか、書き込み速度の速いカードを使ってください。撮影時間が正しく表示されないときも、カードには実際に撮影した時間の動画が記録されています（🕮146、204）。

画面に［❗］が表示され、撮影が自動的に終わった

カメラの内部メモリーが少なくなりました。次の方法を試してください。

- カードをこのカメラで物理フォーマットする（🕮147）。
- 画質を変える（🕮57）。
- 書き込み速度の速いカードを使う（🕮204）。

ズームできない

- ［🎥］モードでは、動画撮影中にズームできません。

再生

再生できない

- パソコンでファイル名やフォルダ構造を変えると再生できないことがあります。ファイル名やフォルダ構造については、「ソフトウェアの使用説明書」（🕮25）を参照してください。

再生が中断する、または音声が途切れる

- このカメラで物理フォーマットしたカードを使ってください（📖147）。
- 動画を、読み込み速度の遅いカードにコピーして再生すると、再生が一瞬中断することがあります。
- パソコンで動画を再生するとき、パソコンの性能によっては、画像がフレーム（コマ）落ちしたり、音声が途切れたりすることがあります。

動画を再生したときに音声が聞こえない

- ［消音］を［する］に設定（📖142）しているときや、音声が小さいときは、音量を調整してください（📖24、111）。
- ［🖨］（📖72）では、動画撮影中に音声が録音されていないため、音は出ません。

パソコン

画像をパソコンに取り込めない

カメラとパソコンをケーブルでつないで取り込むときは、次の操作で画像の取り込み速度を遅くすることで、問題が解決できることがあります。

- <▶> ボタンを押して再生モードにしたあと、<MENU> ボタンを押したまま、<▲> と <FUNC SET> を同時に押します。表示された画面で <◀> か <▶> を押して［B］を選び、<FUNC SET> を押します。

Eye-Fi カード

画像が転送できない（📖179）

画面に表示されるメッセージ一覧

画面にメッセージが表示されたときは、次のように対応してください。

カードがありません

- カードが正しい向きで入っていません。カードを正しい向きで入れます（🕮15）。

カードがロックされています

- カードのスイッチが「LOCK」側（書き込み禁止）になっています。スイッチを書き込みできる方へ切り換えます（🕮15、180）。

記録できません

- カードが入っていない状態で撮影しました。撮影するときは、カードを正しい向きで入れます（🕮15）。

カードが異常です（🕮147）

- 初期化したカードを正しい向きで入れても同じ表示が出るときは、別紙の修理受付センターへご相談ください（🕮15）。

カード残量が足りません

- カードの空き容量がないため、撮影（🕮41、65、79、103）や編集（🕮133～138）はできません。画像を消して（🕮124）空き容量を作るか、空き容量のあるカードに交換します（🕮15）。

バッテリーを交換してください（🕮15）

画像がありません

- カードに表示できる画像が入っていません。

保護されています（🕮120）

認識できない画像です／互換性のない JPEG です／画像が大きすぎます／再生できません（AVI）／ RAW

- 非対応の画像やデータが壊れている画像は表示できません。
- パソコンで加工したり、ファイル名を変えたりした画像や、このカメラ以外で撮影した画像は、表示できないことがあります。

拡大できない画像です／連想再生できない画像です／回転できない画像です／処理できない画像です／登録できない画像です／処理できません／指定できない画像です

- パソコンで編集した画像やファイル名を変えた画像、このカメラ以外で撮影した画像は、以下の機能が使えないことがあります。また、動画では、*の機能が使えません。拡大（🕮117）*、連想再生（🕮119）*、分類（🕮130）、回転（🕮127）、編集（🕮133～138）*、起動画面への登録（🕮144）*、印刷指定（🕮173）*、フォトブック指定（🕮177）*

指定範囲が正しくありません

- 画像を範囲指定（🕮122、125、132、175）するとき、始点に終点より遅い番号の画像、または終点に始点より早い番号の画像を指定しようとしました。

指定枚数の上限を超えています

- 印刷指定（📖173）やフォトブック指定（📖177）の画像を 998 枚より多く指定しました。指定する画像を 998 枚以下にします。
- 印刷指定（📖173）やフォトブック指定（📖177）を正しく保存できませんでした。指定枚数を減らして、もう一度指定します。
- 保護（📖120）、消去（📖124）、お気に入り（📖129）、マイカテゴリー（📖130）、印刷指定（📖173）、フォトブック指定（📖177）で、501 枚以上の画像を指定しようとしました。

通信エラー

- カードに大量の画像（1000 枚程度）があるため、パソコンに画像を取り込んだり印刷したりできません。パソコンへ取り込むときは、カードリーダー（市販品）を使います。印刷するときは、プリンターのカードスロットにカードを差して印刷します。

ファイル名が作成できません

- カード内の画像を保存するフォルダの番号が最大（999）になっていて、各フォルダに保存されている画像の番号も最大（9999）になっているため、フォルダの作成や撮影した画像の記録ができません。[🔧] メニューで [画像番号] を [オートリセット] に変えるか（📖148）、カードを初期化します（📖146）。

レンズエラーを検知しました

- レンズ動作中にレンズを押さえたり、ホコリや砂ボコリの立つ場所などでカメラを使うと表示されることがあります。
- 頻繁に表示されるときは故障が考えられますので、別紙の修理受付センターへご相談ください。

カメラがエラーを検知しました（エラー番号）

- 撮影直後に表示されたときは、撮影されていないことがあります。再生して画像を確認してください。
- 頻繁に表示されるときは故障が考えられますので、エラー番号（Exx）を控えて、別紙の修理受付センターへご相談ください。

ファイルエラー

- パソコンで加工したり、このカメラ以外で撮影した画像は、プリンターにつないでも正しく印刷（📖166）できないことがあります。

印刷エラー

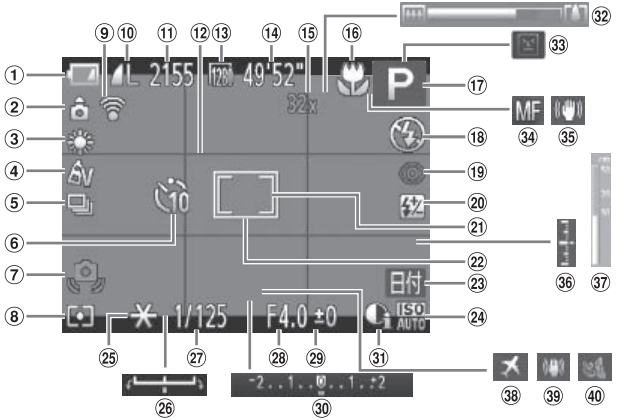
- 用紙サイズの設定を確認してください（📖170）。正しく設定されていてもこのエラーが表示されるときは、プリンターの電源を入れなおして、もう一度設定してください。

インク吸収体が満杯です

- お使いのキヤノン製インクジェットプリンターに付属のパーソナル機器修理受付センター、またはお近くの修理受付窓口にインク吸収体の交換を依頼してください。

画面の表示内容一覧

撮影時（情報表示あり）



① 電池残量表示（📖189）
② カメラ位置*
③ ホワイトバランス（📖84）
④ マイカラー（📖86）
⑤ ドライブモード（📖88）
⑥ セルフタイマー（📖50）
⑦ 手ブレ警告（📖45）
⑧ 測光方式（📖82）
⑨ Eye-Fi 通信状態（📖179）
⑩ 静止画の圧縮率（📖101）、記録画素数（📖55）
⑪ 静止画：撮影可能枚数（📖204）
⑫ グリッドライン（📖59）
⑬ 動画の記録画素数（📖57）
⑭ 動画：撮影可能時間（📖204）
⑮ ズーム倍率（📖49）、デジタルテレコンバーター（📖92）
⑯ フォーカスゾーン（📖90）
⑰ 撮影モード（📖192）、シーンアイコン（📖46）
⑱ ストロボモード（📖98）
⑲ 赤目自動補正（📖56）
⑳ ストロボ調光補正／発光量（📖99、107）
㉑ スポット測光枠（📖82）
㉒ AF フレーム（📖92）
㉓ 日付写し込み（📖52）
㉔ ISO 感度（📖82）
㉕ AE ロック（📖81）、FE ロック（📖100）
㉖ 露出シフトバー
㉗ シャッタースピード（📖104、106）
㉘ 絞り数値（📖105、106）

㉙ 露出補正量（📖81）
㉚ 露出補正バー（📖81）
㉛ i- コントラスト（📖83）
㉜ ズームバー（📖42）
㉝ 目つむり検出（📖61）
㉞ AF ロック（📖97）、マニュアルフォーカス（📖90）
㉟ 手ブレ補正アイコン（📖47）
㊱ 露出レベル（📖106）
㊲ MF インジケーター（📖91）
㊳ エリア設定（📖150）
㊴ 手ブレ補正（📖101）
㊵ ウィンドカット（📖58）

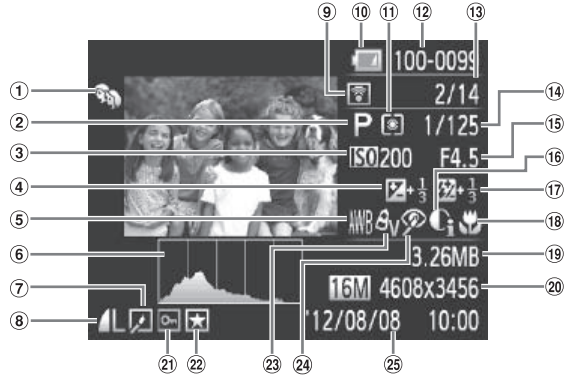
＊ 📷：通常、📷 📷：カメラを縦位置に構えたとき
撮影時にカメラの向きを検知して最適な撮影ができるよう制御され、再生時には、カメラが縦向きでも横向きでも、画像が自動的に回転して正位置で見ることができます。
ただし、カメラを真上や真下に向けると正しく検出できないことがあります。

電池の残量表示

電池の残量が少なくなると、画面にマークやメッセージが表示されます。電池の残量があるときは表示されません。

画面表示	内容
🔋	残量が少なくなってきました。代わりの電池を用意してください。
バッテリーを交換してください	残量がありません。電池を交換してください。

再生時（詳細情報表示）



① マイカテゴリー（📖130）
② 撮影モード（📖192）
③ ISO 感度（📖82）、倍速（📖73）
④ 露出補正量（📖81）、露出シフト量（📖77）
⑤ ホワイトバランス（📖84）
⑥ ヒストグラム（📖112）
⑦ 画像編集（📖133 ～ 138）
⑧ 圧縮率（画質）（📖101）／記録画素数（📖55、57）、MOV（動画）
⑨ Eye-Fi 転送済み画像（📖179）
⑩ 電池残量表示（📖189）
⑪ 測光方式（📖82）
⑫ フォルダ番号－画像番号（📖148）
⑬ 再生画像番号／総画像数
⑭ シャッタースピード（静止画）（📖104）、画質 / フレーム数（動画）（📖57）
⑮ 絞り数値（📖105、106）、画質（動画）（📖57）
⑯ i- コントラスト（📖83、137）
⑰ ストロボ発光（📖98）、ストロボ調光補正量（📖99）
⑱ フォーカスゾーン（📖90）
⑲ ファイルサイズ
⑳ 静止画：記録画素数（📖204）
動画：再生時間（📖204）
㉑ 保護（📖120）
㉒ お気に入り（📖129）
㉓ マイカラー（📖86、136）
㉔ 赤目補正（📖56、138）
㉕ 撮影日時（📖17）

- テレビに表示しているときは、一部の情報が表示されないことがあります（📖159）。

「見る」（📖110）で表示される動画操作パネル一覧

⮌	終了
▶	再生
▶|	スロー再生（<◀> か <▶> を押すか <◎> を回して再生速度を変更）（音声は再生されません）
|◀◀	前スキップ*（<(FUNC SET)> を押したままにすると連続してスキップ）
◀‖	フレーム戻し（<(FUNC SET)> を押したままにすると早戻し）
‖▶	フレーム送り（<(FUNC SET)> を押したままにすると早送り）
▶▶|	次スキップ*（<(FUNC SET)> を押したままにすると連続してスキップ）
✂	編集（📖139）
🖨	PictBridge 対応プリンターとつないだとき（📖166）に表示

＊約 4 秒前または後のフレームを表示

- 動画再生中に <◀> か <▶> を押すと、前スキップ、次スキップができます。

機能／メニュー 一覧

撮影機能一覧

機能＼撮影モード	M	Av	Tv	P	LIVE	AUTO
露出補正（📖81）	–	O	O	O	*1	–
ISO 感度（📖82）						
ISO AUTO	–	O	O	O	O	O
ISO 100 ISO 200 ISO 400 ISO 800 ISO 1600	O	O	O	O	–	–
セルフタイマー（📖50）						
10	O	O	O	O	O	O
10 2	O	O	O	O	O	O
セルフタイマー設定（📖51）						
時間*2	O	O	O	O	O	O
枚数*3	O	O	O	O	O	O
ストロボ（📖98）						
⚡A	–	–	–	O	O	O
⚡	O	O	O	O	O	–
⚡	–	O	–	O	O	*4
⊘	–	–	–	–	–	–
AvTv 設定（📖104、105）						
絞り数値	O	O	–	–	–	–
シャッタースピード	O	–	O	–	–	–
プログラムシフト（📖81）	–	O	O	O	–	–
AE ロック / FE ロック（📖81、100）*5	–	O	O	O	–	–
AE ロック（動画）/ 露出シフト（📖77）	–	–	–	–	–	–
フォーカスゾーン（📖90）						
AF	O	O	O	O	O	O
MF（📖90）	O	O	O	O	O	–
キャッチ AF（📖53）	O	O	O	O	O	O
画面の表示（📖36）						
情報表示あり / なし	O	O	O	O	O	O

＊1［暗く－明るく］で設定
＊2 枚数設定不可のモードでは 0 秒設定不可
＊3 枚数設定不可のモードでは 1 枚固定
＊4 選択不可。ただし状況に応じて［⚡］
＊5 FE ロックは［⊘］では不可

SCN													
O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	–	O	–	–
O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O
–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O
O	–	O	O	O	O	O	O	O	O	O	–	O	O
O	–	O	O	O	O	O	O	O	O	O	–	–	–
O	O	O	O	–	O	O	O	O	O	O	–	–	–
O	O	–	O	–	O	O	O	O	O	O	–	–	–
–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
–	–	–	–	O	–	–	–	–	–	–	O	O	O
–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	O	O
O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O
O	–	O	O	–	O	O	O	O	O	O	O	O	O
O	–	O	O	–	–	–	–	O	O	O	O	–	–
O	–	O	O	O	–	–	–	–	O	O	O	O	O

O 選択可能または自動設定 – 選択不可

FUNC. メニュー 一覧

機能＼撮影モード	M	Av	Tv	P	LIVE	AUTO
ホワイトバランス（📖84）						
AWB	O	O	O	O	O	O
☀ ☁ 🌓 💡 📺	O	O	O	O	–	–
マイカラー（📖86）						
OFF	O	O	O	O	O	O
V N Se*1 BW*1 P L D B G R C*2	O	O	O	O	–	–
ドライブモード（📖88）						
□	O	O	O	O	O	O
▣ AF▣*3	O	O	O	O	–	–
ストロボ調光補正（📖99）	–	O	O	O	–	–
ストロボ発光量（📖107）	O	O	O	–	–	–
測光方式（📖82）						
◉	O	O	O	O	O	O
[ ] [•]	O	O	O	O	–	–
静止画アスペクト比（📖54）						
16:9 3:2 4:3 1:1	O	O	O	O	–	O
記録画素数（📖55）						
L	O	O	O	O	O	O
M1 M2	O	O	O	O	–	O
M	–	–	–	–	–	–
S	O	O	O	O	–	O
圧縮率（📖101）						
S	O	O	O	O	–	–
◢	O	O	O	O	O	O
動画の画質（📖57）						
1280	O	O	O	O	O	O
640	O	O	O	O	–	O

＊1 ホワイトバランスは選択不可　＊2 コントラスト、シャープネス、色の濃さ、赤・緑・青・肌色を5段設定　＊3 [MF]時、AFロック時、[𝄐]時は[▣]
＊4 [4:3] [16:9] のみ選択可　＊5 縦横比の設定に連動して自動設定（📖74）

SCN													
O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O
–	O	O	–	–	–	–	–	–	–	–	O	O	O
O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O
–	O	–	–	–	–	–	–	–	–	–	O	O	O
O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O
O	–	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	–	–
–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O
–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
O	O	–	O	O	–	*4	–	O	O	O	O	–	–
O	O	–	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O
O	O	–	O	O	–	–	–	–	–	–	O	O	O
–	–	O	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
O	O	–	O	O	–	–	–	–	–	–	O	O	O
–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O
O	O	O	O	O	O	*5	O	O	O	O	O	O	O
O	O	O	O	O	O	*5	O	O	O	O	O	O	–

O 選択可能または自動設定 – 選択不可

撮影タブメニュー 一覧

機能＼撮影モード	M	Av	Tv	P	LIVE	AUTO
AF フレーム（📖92）						
中央	O	O	O	O	O	–
顔優先 AiAF＊1	O	O	O	O	O	O
キャッチ AF	O	O	O	O	O	＊2
AF フレームサイズ＊3						
標準	O	O	O	O	O	–
小	O	O	O	O	O	–
デジタルズーム（📖49）						
入	O	O	O	O	O	O
切	O	O	O	O	O	O
テレコン 1.6x / テレコン 2.0x	O	O	O	O	O	–
ピント位置拡大（📖60）						
入	O	O	O	O	O	O
切	O	O	O	O	O	O
サーボ AF（📖95）						
入	O	O	O	O	O	–
切＊4	O	O	O	O	O	O
コンティニュアス AF（📖96）						
入	O	O	O	O	O	O
切	O	O	O	O	O	–
AF 補助光（📖62）						
入	O	O	O	O	O	O
切	O	O	O	O	O	O
MF 拡大表示（📖90）						
入	O	O	O	O	O	–
切	O	O	O	O	O	O
セーフティ MF（📖90）						
入	O	O	O	O	O	–
切	O	O	O	O	O	O

＊1 顔が検出されないときの動作は撮影モードによって異なる
＊2 選択不可。ただし <▲> で可能（📖53）
＊3 AF フレームで［中央］選択時に可
＊4 <AUTO> モードでは動きを検出したときは［入］

SCN													
O	–	O	O	O	O	–	O	O	O	O	O	O	O
O	O	O	O	–	–	–	O	O	O	O	O	O	O
O	–	O	O	–	–	–	–	O	O	O	O	–	–
O	–	O	O	O	O	–	O	O	O	O	O	O	O
O	–	O	O	–	–	–	O	O	O	O	O	O	O
O	O	–	O	O	–	–	–	–	–	–	O	O	O
O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O
–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
O	O	O	O	–	–	–	–	O	O	O	O	–	–
O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O
O	–	O	O	–	–	–	–	O	O	O	O	–	–
O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O
O	O	–	O	–	O	O	O	O	O	O	O	O	O
O	–	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	–	–
O	O	O	O	–	O	O	O	O	O	O	–	O	O
O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O
O	–	O	O	–	–	–	–	O	O	O	O	–	–
O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O
O	–	O	O	–	O	O	O	O	O	O	O	O	O
O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O

O 選択可能または自動設定 – 選択不可

機能＼撮影モード		M	Av	Tv	P	LIVE	AUTO
ストロボ設定（📖56、62、99、107）							
発光モード	オート	–	O	O	O	O	O
	マニュアル	O	O	O	–	–	–
調光補正		–	O	O	O	–	–
発光量		O	O	O	–	–	–
赤目自動補正	入	O	O	O	O	–	O
	切	O	O	O	O	O	O
赤目緩和ランプ	入 / 切	O	O	O	O	O	O
セーフティ FE	入	–	O	O	O	O	O
	切	O	O	O	O	O	–
i- コントラスト（📖83）							
自動		O	O	O	O	–	O
切		O	O	O	O	O	–
セーフティシフト（📖105）							
入		–	O	O	–	–	–
切		O	O	O	O	O	O
ウィンドカット（📖58）							
入 / 切		O	O	O	O	O	O
撮影の確認（📖63）							
切 / クイック / 2 ～ 10 秒 / ホールド		O	O	O	O	O	O
レビュー情報（📖64）							
非表示 / 詳細表示 / ピント確認		O	O	O	O	O	O
目つむり検出（📖61）							
入		O	O	O	O	O	O
切		O	O	O	O	O	O
グリッドライン（📖59）							
入 / 切		O	O	O	O	O	O
手ブレ補正（📖101）							
切 / 入		O	O	O	O	O	O
撮影時		O	O	O	O	O	–
日付写し込み（📖52）							
切		O	O	O	O	O	O
日付のみ / 日付＋時刻		O	O	O	O	O	O

SCN													
O	O	O	O	–	O	O	O	O	O	O	–	–	–
–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
O	O	O	O	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
O	O	O	O	–	O	O	O	O	O	O	–	–	–
O	O	O	O	–	O	O	O	O	O	O	–	–	–
O	O	O	O	–	O	O	O	O	O	O	–	–	–
–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
–	–	O	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
O	O	–	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O
–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O
O	O	O	O	O	O	–	O	O	O	O	O	O	O
O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	–	–
O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	–	–
O	O	O	O	–	–	–	–	–	O	O	O	–	–
O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O
O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O
O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	–	–
O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O
O	O	–	O	O	–	–	–	–	–	–	O	–	–

O 選択可能または自動設定 – 選択不可

設定タブメニュー 一覧

項目	参照ページ
消音	142
音量	142
音の選択	143
機能ガイド	143
日付 / 時刻	17
エリア設定	150
液晶の明るさ	144
起動画面	144、145
カードの初期化	146、147
画像番号	148

項目	参照ページ
フォルダ作成	148
レンズ収納時間	149
節電	34、149
単位	151
ビデオ出力方式	163
HDMI 機器制御	161
Eye-Fi 設定	179
認証マーク表示	151
言語	19
カメラ設定初期化	152

再生タブメニュー 一覧

項目	参照ページ
連想再生	119
スライドショー	118
消去	124
保護	120
回転	127
お気に入り	129
マイカテゴリー	130
フォトブック指定	177
i- コントラスト	137

項目	参照ページ
赤目補正	138
トリミング	134
リサイズ	133
レタッチマイカラー	136
スクロール再生	111
縦横自動回転	128
再生開始位置	111
再生効果	111

印刷タブメニュー 一覧

項目	参照ページ
印刷	–
印刷する画像を指定	🕮174
範囲で指定	🕮175
すべての画像を指定	🕮175
すべての指定を解除	🕮176
印刷の設定	🕮173

日ごろの取り扱いについて

- カメラは精密機器です。落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- カメラを磁石やモーターなどの、強力な磁場を発生させる装置の近くに、絶対に置かないでください。電磁波により、カメラが誤作動したり、記録した画像が消えたりすることがあります。
- カメラや画面に水滴や汚れがついたときは、眼鏡拭きなどのやわらかい布で拭き取ってください。ただし、強くこすったり、押したりしないでください。
- 有機溶剤を含むクリーナーなどでは、絶対にカメラや画面を拭かないでください。
- レンズにゴミがついているときは、市販のブロアーで吹き飛ばすだけにしてください。汚れがひどいときは、別紙の修理受付センターにご相談ください。
- カメラを寒いところから急に暑いところへ移すと、カメラに結露（水滴）が発生することがあります。カメラを寒いところから暑いところへ移すときは結露の発生を防ぐため、カメラをビニール袋に入れて袋の口を閉じ、周囲の温度になじませてから取り出してください。
- 結露が発生したときは、故障の原因となりますのでカメラを使わないでください。電池、カードをカメラから取り出し、水滴が消えてから、カメラを使ってください。

主な仕様

カメラ部有効画素数（最大）	約 1600 万画素
レンズ焦点距離	16 倍ズーム：5.0 (W) – 80.0 (T) mm （35mm フィルム換算：28 (W) – 448 (T) mm）
液晶モニター	3.0 型 TFT カラー液晶 有効画素数：約 23.0 万ドット
ファイルフォーマット	DCF 準拠、DPOF 対応（Version 1.1）
データタイプ	静止画：Exif 2.3（JPEG） 動画：MOV（画像：H.264、音声：リニア PCM（ステレオ））
インターフェース	Hi-Speed USB HDMI 出力 アナログ音声出力（ステレオ） アナログ映像出力（NTSC/PAL）
電源	単 3 形アルカリ電池（単 3 形 NiMH 電池 NB-3AH）× 2 AC アダプターキット ACK800 ・ただし接続には、別売の DC カプラー DR-DC10 が必要
大きさ（CIPA 準拠）	111.0 x 72.5 x 44.1 mm
質量（CIPA 準拠）	約 291 g（電池・メモリーカード含む） 約 243 g（本体のみ）

撮影できる枚数・時間、再生できる時間

電源	アルカリ電池（付属品）	ニッケル水素電池（別売）
撮影枚数	約 140 枚	約 380 枚
動画撮影時間＊1	約 30 分	約 90 分
連続時＊2	約 1 時間 10 分	約 2 時間 40 分
再生時間	約 7 時間	約 10 時間

＊1 カメラの初期状態で、撮影 / 一時停止、電源の入 / 切、ズームなどの操作をしたときの時間です。

＊2「一度に撮影できる時間まで撮影」、「自動停止」を繰り返したときの時間です。

- 撮影枚数は、CIPA（カメラ映像機器工業会）の試験基準によります。
- 撮影枚数・時間は、撮影条件により少なくなることがあります。
- アルカリ電池は銘柄により、撮影枚数や時間が大きく変わることがあります。
- ニッケル水素電池は、フル充電状態での枚数・時間です。

1 枚のカードに撮影できる枚数（縦横比 4:3 のとき）

記録画素数（ピクセル）	圧縮率	1 枚のカードに撮影できる枚数（約・枚）	
		8 GB	32 GB
L（ラージ） 16M/4608x3456	S	1131	4567
	◢	1903	7684
M1（ミドル 1） 8M/3264x2448	S	2252	9094
	◢	3721	15020
M2（ミドル 2） 2M/1600x1200	S	7442	30040
	◢	12927	52176
S（スモール） 0.3M/640x480	S	27291	110150
	◢	40937	165225

- 当社測定条件によるもので、被写体やカードの銘柄、カメラ設定などにより変わります。
- 表内の数値は画像の縦横比が 4:3 のときの値です。縦横比を変えると（🕮54）、4:3 のときよりも 1 画像の容量が小さくなるため、撮影できる枚数は多くなります。ただし、[M2] では 16:9 にすると 1 画像の記録画素数が 1920 × 1080 になるため、4:3 より容量が大きくなります。

1 枚のカードに撮影できる時間

画質	1 枚のカードに撮影できる時間	
	8 GB	32 GB
1280	49 分 18 秒*1	3 時間 19 分 03 秒*2
640	1 時間 28 分 59 秒	5 時間 59 分 10 秒

*1 iFrame 動画（🕮78）では、27 分 28 秒
*2 iFrame 動画（🕮78）では、1 時間 50 分 52 秒

- 当社測定条件によるもので、被写体やカードの銘柄、カメラ設定などにより変わります。
- 一度の撮影で動画の容量が 4 GB になるか、撮影時間が［1280］では約 29 分 59 秒、［640］では約 1 時間になると、自動的に撮影が終わります。
- カードによっては、連続撮影時間に満たなくても、撮影が終わることがあります。SD スピードクラス 6 以上のカードを使用することをおすすめします。

ストロボ調光範囲

もっとも広角側（[WIDE]）にしたとき	50 cm – 3.0 m
もっとも望遠側（[TELE]）にしたとき	60 cm – 2.0 m

撮影距離

撮影モード	フォーカスゾーン	もっとも広角側（[WIDE]）にしたとき	もっとも望遠側（[TELE]）にしたとき
AUTO	–	1 cm – ∞	60 cm – ∞
上記以外		5 cm – ∞	60 cm – ∞
	*	1 cm – 50 cm	–
	MF *	1 cm – ∞	60 cm – ∞

* 撮影モードによっては、選択できません。

連続撮影の速さ

撮影モード	連続撮影モード	速さ
P		約 0.8 枚 / 秒
	AF	約 0.5 枚 / 秒
	LV	約 0.6 枚 / 秒
	–	約 2.8 枚 / 秒

シャッタースピード

<AUTO> モードで自動設定される範囲	1 – 1/3200 秒
すべての撮影モードをあわせた範囲	15 – 1/3200 秒
<Tv> モードで設定できる値（秒）	15、13、10、8、6、5、4、3.2、2.5、2、1.6、1.3、1、0.8、0.6、0.5、0.4、0.3、1/4、1/5、1/6、1/8、1/10、1/13、1/15、1/20、1/25、1/30、1/40、1/50、1/60、1/80、1/100、1/125、1/160、1/200、1/250、1/320、1/400、1/500、1/640、1/800、1/1000、1/1250、1/1600、1/2000、1/2500、1/3200

絞り

F 値	F3.5 - F8.0 (W)、F5.9 - F8.0 (T)
<**Av**> モードで設定できる値*	F3.5、F4.0、F4.5、F5.0、F5.6、F5.9、F6.3、F7.1、F8.0

* ズーム位置によっては、選べない絞り数値があります。

- 記載データはすべて当社試験基準によります。
- 製品の仕様および、外観の一部を予告なく変更することがあります。

索引

【英数字】

AC アダプターキット..... 157, 164
AE ロック 81
AF フレーム..... 92
AF ロック..... 97
AUTO モード
（撮影モード）..... 20, 36, 42
Av（撮影モード）..... 105
DC カプラー..... 157
DIGITAL CAMERA Solution Disk ... 2
DPOF..... 173
Eye-Fi カード..... 2, 179
FE ロック..... 100
FUNC. メニュー
　一覧..... 194
　基本操作 37
iFrame 動画（動画モード）..... 78
ISO 感度..... 82
i- コントラスト..... 83, 137
M（撮影モード）..... 106
PictBridge
（ピクトブリッジ）..... 158, 166
P（撮影モード）..... 80
SD/SDHC/SDXC カード → カード
Tv（撮影モード）..... 104

【あ】

赤目補正 56, 138
アクセサリー 157
圧縮率（画質）..... 101
色あい（ホワイトバランス）..... 84
印刷..... 166
インターフェースケーブル 2, 28
打上げ花火（撮影モード）..... 68
エラー表示 186
オールドポスター（撮影モード）..... 71
お気に入り設定..... 129
音..... 142

【か】

カード..... 2
　撮影できる時間..... 204
海外で使う 150
回転..... 127
顔セルフタイマー（撮影モード）..... 69
顔優先 AiAF（AF フレームモード）... 93
拡大表示 117
画質 → 圧縮率（画質）
画像
　消す 124
　再生 → 見る
　表示時間 63
　保護..... 120
画像番号 148
家庭用電源 164
カメラ
　設定初期化..... 152
画面
　表示一覧 188, 190
　表示言語 19
　メニュー → FUNC. メニュー、メニュー
キャッチ AF..... 53, 94
魚眼風（撮影モード）..... 72
記録画素数（画像の大きさ）..... 55
クリエイティブフィルター
（撮影モード）..... 71
グリッドライン..... 59
消す..... 124
検索..... 115
極彩色（撮影モード）..... 71
故障..... 182

【さ】

サーボ AF..... 95

再生 → 見る
撮影
　撮影情報 188
　撮影日時 → 日付／時刻
ジオラマ風（撮影モード）..... 72
消去 → 消す
初期状態 → 設定初期化
白黒画像 86
ズーム 20, 42, 49
ステレオ AV ケーブル 162
ストラップ 2, 14
ストロボ
　常時発光 98
　スローシンクロ 98
　調光補正 99
スノー（撮影モード）..... 68
スライドショー 118
世界時計 150
設定初期化 152
節電 34
セピア調画像 86
セルフタイマー 50
　2 秒セルフタイマー 51
　顔セルフタイマー
　（撮影モード）..... 69
　タイマー時間と撮影枚数を
　変える 51
測光方式 82
ソフトウェア
　DIGITAL CAMERA Solution
　Disk 2
　インストール 27
　パソコンへの取り込み 27

【た】

縦横比を変える 54
端子 159, 162, 163, 165, 166
中央（AF フレームモード）..... 93
デジタルズーム 49
デジタルテレコンバーター 92
手ブレ 101
テレビで見る 159
電源 → AC アダプターキット
　→ 電池
　→ バッテリー / チャージャーキット
電池 15, 157
　→ 日付／時刻（日付／時刻用電池）
　残量表示 189
　節電 34
　バッテリー /
　チャージャーキット 157
トイカメラ風（撮影モード）..... 74
動画
　画質
　（記録画素数 / フレーム数）..... 57
　撮影時間 204
　編集 139
時計機能 40
ドライブモード 88
トリミング（画像の切り抜き）..... 134

【な】

日時 → 日付／時刻

【は】

バッテリー / チャージャーキット ... 157
花火 → 打上げ花火（撮影モード）
ピクトブリッジ
（PictBridge）..... 158, 166
日付／時刻
　画像への写し込み 52
　世界時計 150
　設定 17
　日付／時刻用電池 156
　変更 18
表示言語 19

ピント合わせ
AF フレーム 92
AF ロック 97
サーボ AF 95
ピント位置拡大 60
フォーカスゾーン
マクロ 90
マニュアルフォーカス 90
フォーカスチェッカー 113
フォーカスロック 93
フォトブック指定 177
付属品 2
プリント → 印刷
プログラム AE 80
編集
i- コントラスト 137
赤目補正 138
トリミング
（画像の切り抜き） 134
リサイズ
（画像を小さくする） 133
レタッチマイカラー 136
ポートレート（撮影モード） 67
保護 120
ホワイトバランス（色あい） 84

【ま】

マイカテゴリー 130
マイカラー 86
マクロ（フォーカスモード） 90
マナーモード（撮影モード） 76
マニュアルフォーカス
（フォーカスモード） 90
マニュアルホワイトバランス 85
見る 23
1 枚表示 23
インデックス表示 114
拡大表示 117
画像の検索 115
スライドショー 118
テレビで見る 159
連想再生 119
目つむり検出 61
メニュー
一覧 192
基本操作 38
メモリーカード → カード
モノクロ（撮影モード） 75

【ら】

ライブビューコントロール
（撮影モード） 66
ランプ 40, 62
リサイズ（画像を小さくする） 133
リストストラップ → ストラップ
レタッチマイカラー 136
連想再生 119
連続撮影（連写） 88
ローライト（撮影モード） 67
露出
AE ロック 81
FE ロック 100
補正 81



- 不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで最寄りの電池リサイクル協力店へお持ちください。
  詳細は、一般社団法人 JBRC のホームページをご参照ください。
  ホームページ：http://www.jbrc.com
- プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
- 被覆をはがさないでください。
- 分解しないでください。

アフターサービス期間について

本製品のアフターサービス期間は、製品の製造打切り後 5 年間です。
なお、弊社の判断によりアフターサービスとして同一機種または同程度の仕様の製品への本体交換を実施させていただく場合があります。同程度の機種との交換の場合、ご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことや、対応 OS が変更になることがあります。

妨害電波自主規制について

この装置は、クラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。カメラユーザーガイド（本書）にしたがって正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

商標、ライセンスについて

- DCF は、（社）電子情報技術産業協会の団体商標で、日本国内における登録商標です。
- SDXC ロゴは SD-3C, LLC. の商標です。
- 本機器は、Microsoft からライセンスされた exFAT 技術を搭載しています。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing,LLC の商標または登録商標です。
- iFrame ロゴおよび iFrame シンボルは Apple Inc. の商標です。
- This product is licensed under AT&T patents for the MPEG-4 standard and may be used for encoding MPEG-4 compliant video and/or decoding MPEG-4 compliant video that was encoded only (1) for a personal and non-commercial purpose or (2) by a video provider licensed under the AT&T patents to provide MPEG-4 compliant video. No license is granted or implied for any other use for MPEG-4 standard.
＊ 規定により英語で表記しています。

このガイドについて

- 内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
- 内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
- イラストや画面表示は、実際と一部異なることがあります。
- このカメラを運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

Canon

キヤノン株式会社
キヤノンマーケティングジャパン株式会社
〒 108-8011 東京都港区港南 2-16-6

製品取り扱い方法に関するご相談窓口

お客様相談センター

050-555-90005

受付時間：平日 9：00 ～ 20：00
土・日・祝日 10：00 ～ 17：00
（1 月 1 日～ 1 月 3 日は休ませていただきます）

※ 上記番号をご利用いただけない方は、043-211-9630 をご利用ください。
※ IP 電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

修理受付窓口

別紙でご確認ください。

キヤノンデジタルカメラホームページのご案内

キヤノンデジタルカメラのホームページを開設しています。最新の情報が掲載されていますので、インターネットをご利用の方は、ぜひお立ち寄りください。

キヤノンデジタルカメラ製品情報
http://canon.jp/cdc

キヤノンサポートページ
http://canon.jp/support

CANON iMAGE GATEWAY
http://www.imagegateway.net

リチウムイオン・バッテリーパック、チャージャーの「模倣品」にご注意下さい

国内･国外を問わず、ネットオークションでリチウムイオン･バッテリーパック、チャージャーの「模倣品」が頻繁に出回っておりますので十分にご注意ください。詳細は以下のURLよりご覧ください。
http://cweb.canon.jp/e-support/info/battery-anno.html

CDP-J494-010

©CANON INC. 2012